

第三十七回衆議院議事速記録第二十二號

大正五年二月八日(火曜日)午後一時十八分開議

議事日程 第二十一號 大正五年二月八日

午後一時開議

質問

- 一 露領沿海州漁業權ノ侵害ニ關スル質問(小西和君提出)
- 二 對米及對支外交ニ關スル質問(石橋爲之助君提出)
- 三 岡陸軍大臣ニ關スル質問(伊東知也君提出)

明治三十九年法律第三十一號中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會

第三 簡易生命保險法案(政府提出) 第一讀會

第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會

第五 北海道會法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第六 砂鑛法中改正法律案(戶叶葉雄君提出) 第一讀會

第七 實用新案法中改正法律案(津末良介君提出) 第一讀會

第八 軍人恩給法中改正法律案(高木正年君提出) 第一讀會

第九 軍人恩給法中改正法律案(水津太郎平君提出) 第一讀會

第十 軍人恩給法中改正法律案(柏原文太郎君提出) 第一讀會

第十一 市制中改正法律案(小橋藻三君提出) 第一讀會

第十二 町村制中改正法律案(衛君提出) 第一讀會

第十三 府縣制中改正法律案(衛君提出) 第一讀會

第十四 大阪臨港鐵道速成ニ關スル建議案(金澤權次郎君提出) 第一讀會

第十五 海洋調査及研究機關整備ニ關スル建議案(小西出提) 第一讀會

第十六 大阪堀川兩監獄移轉ニ關スル建議案(石橋爲之助提) 第一讀會

第十七 京都監獄移轉ニ關スル建議案(森田茂君提出) 第一讀會

第十八 (特別報告第二十九號)日露戰役ニ於ケル豐沈(委員長報告)

第十九 (特別報告第三十號)在外國賣淫婦取締法制定(委員長報告)

第二十 (特別報告第三十一號)按摩業ヲ盲人ノ專業ト爲スノ請願(委員長報告)

第二十一 (特別報告第三十二號)蠶種検査手数料廢止ノ請願(委員長報告)

第二十二 (特別報告第三十三號)森林法改正ノ請願(委員長報告)

第二十三 (特別報告第三十五號)小坂鑛山鑛毒ニ關スル請願(委員長報告)

第二十四 (特別報告第四十號)鳥取地方裁判所元米子支部復舊ノ請願(委員長報告)

第二十五 (特別報告第四十八號)稻垣村ニ登記所設置ノ請願(委員長報告)

第二十六 (特別報告第四十九號)浦幌村ニ登記所設置ノ請願(委員長報告)

第二十七 (特別報告第五十號)萬生町ニ登記所設置ノ請願(委員長報告)

第二十八 (特別報告第五十一號)土別村ニ旭川區裁判所出張所設置ノ請願(委員長報告)

第二十九 (特別報告第五十二號)小學校教員ニ衆議院議員被選舉權附與ノ請願(委員長報告)

第三十 (特別報告第五十四號)田島町若松驛間ニ輕便鐵道敷設ノ請願(委員長報告)

第三十一 (特別報告第五十五號)川之江西條間鐵道速成ノ請願(委員長報告)

第三十二 (特別報告第五十六號)益田萩間及萩下關間鐵道敷設ノ請願(委員長報告)

第三十三 (特別報告第五十七號)山形縣下長井町西村山郡間輕便鐵道延長並速成ノ請願(委員長報告)

第三十四 (特別報告第五十八號)舊步入會社誤納金還付ノ請願(委員長報告)

○議長(島田三郎君) 諸般ノ報告ヲ致サセマス

(書記朗讀) 一新潟縣郡部選出議員ノ補充トシテ中野貫一君當選セラレタリ

一政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ 明治三十九年法律第三十一號中改正法律案 簡易生命保險法案

一政府ヨリ受領シタル答辯書左ノ如シ 大正五年二月五日 衆議院議長島田三郎殿 內閣總理大臣伯爵大隈重信

衆議院議員根本正君提出陸軍豫備役後備役並補充兵役ニ在ル者ノ召集日ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候
(別紙)

衆議院議員根本正君提出陸軍豫備役後備役並補充兵役ニ在ル者ノ召集日ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書

豫備役後備役並補充兵役ニ在ル者ノ演習召集及教育召集ノ時期ノ決定ニハ努メテ應召者ノ生業上ニ受クル影響ヲ輕減スルコトヲ考慮シアルモ軍隊ニ於ケル教育ノ關係上五月二十日ヨリ六月二十日迄ノ間ヲ全然右召集期間ヨリ除外スルコト困難ナリト認ムルモ尙ホ成ルヘク希望ニ應スル如ク研究スヘシ
右及答辯候也

大正五年二月四日

陸軍大臣岡市之助

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

罹災救助基金法中改正法律案

提出者 伊藤 義平君

西谷 金藏君

大久保 弁太郎君

辻 寛君

松本 恆之助君

柳田 清兵衛君

早川 龍介君

區裁判所復舊ニ關スル建議案

提出者 福井 三郎君

福田 民平君

元屯田步兵扶助ニ關スル法律案

提出者 請願委員長

蠶絲業振興發達ニ關スル建議案

提出者 今西 林三郎君

裁判所構成法及辯護士法ヲ臺灣ニ施行スル法律案

提出者 廣岡 宇一郎君

加瀬 禧逸君

高柳 覺太郎君

望月 長夫君

行政裁判及訴願ニ關スル法律ヲ臺灣ニ施行スル法律案

提出者 廣岡 宇一郎君

加瀬 禧逸君

高柳 覺太郎君

望月 長夫君

明治三十九年法律第三十一號中改正法律案

提出者 廣岡 宇一郎君

松田 源治君

野添 宗三君

市川 文藏君

西英 太郎君

川井 爲巳君

武藤 金吉君

護得 久朝惟君

鹽川 幸太君

小林 嘉平治君

米田 實君

森 正君

武内 作平君

織田 了君

高野 金重君

濱田 國松君

高木 益太郎君

尾越 辰雄君

松田 源治君

野添 宗三君

尾越 辰雄君

松田 源治君

野添 宗三君

高野 金重君

濱田 國松君

高木 益太郎君

高野 金重君

濱田 國松君

高木 益太郎君

高野 金重君

濱田 國松君

高木 益太郎君

一 去五日大隈内閣總理大臣ヨリ左ノ通り發令相成タル旨ノ通牒ヲ受領セリ
大藏省所管事務政府委員被仰付
大藏書記官 今村 次吉

一 議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ
在外同胞迫害事件續出ニ關スル質問主意書
提出者 佐々木安五郎君

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)
一 去五日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ
紛争仲裁法案

大岩 勇夫君

久須美 東馬君

岩崎 彦雄君

秦 豐助君

松田 源治君

增田 次郎君

愛知縣三重縣境界變更ニ關スル法律案

早川 龍介君

織田 了君

大島 久滿次君

醫師法中改正法律案

清水 隆德君

加治 壽衛吉君

河野 庄太郎君

濠洲及南洋ノ排日除去ニ關スル建議案

井手 三郎君

初見 八郎君

小林 勝民君

木津 太郎平君

西村 正則君

今西 林三郎君

南太平洋航路開始ニ關スル建議案

大原 義剛君

川村 惇君

松浦 五兵衛君

財團法人同仁會事業國庫補助ニ關スル建議案

山田 珠一君

目黒 孝平君

南里 琢一君

酒造稅納期繰下ニ關スル建議案

山宮 藤吉君

山田 正年君

野尻 岩次郎君

關戸 寅松君

三浦 倫吉君

高木 益太郎君

工藤 吉次君

齋藤 喜十郎君

川崎 克君

磯貝 浩君

濱田 國松君

重盛 信近君

小池 仁郎君

犬飼 源太郎君

金澤 種次郎君

川井 考策君

雜賀 信三郎君

伊東 知也君

平井 六右衛門君

九鬼 紋七君

川崎 克君

護得 久朝惟君

前川 虎造君

的野 半介君

山根 正次君

佐々木 安五郎君

林 平四郎君

野村 嘉六君

大堀 孝君

木村 平右衛門君

市原 又次郎君

川上 榮太郎君

有田 溫三君

村松 山壽君

初見 八郎君

鵜澤 總明君

望月 圭介君

岸本 賀昌君

高野 金重君

加賀 卯之吉君

三輪 市太郎君

森田 小六郎君

鈴木 萬次郎君

杉山 四五郎君

森田 小六郎君

平山 午介君

三津家 傳之君

友常 毅三郎君

武滿 義雄君

多木 久米次郎君

森田 小六郎君

榎本 次郎右衛門君

名村 忠治君

森田 小六郎君

加藤 小太郎君

玉井 權右衛門君

森田 小六郎君

市原 又次郎君

川上 榮太郎君

有田 溫三君

岐阜多治見間鐵道速成ニ關スル建議案外二件

岡崎 久次郎君 大場 竹次郎君
岩崎 彦雄君 高柳 覺太郎君
谷 欽太郎君 古屋 慶隆君
國籍撰擇ニ關スル建議案

中村 尙武君 河野 正義君
大岩 勇夫君 田淵 貞四郎君
政尾 藤吉君 野添 宗三君
慢性傳染病豫防ニ關スル建議案

山根 正次君 小林 勝民君
飯塚 彌一郎君 萬代 嘉平治君
兒玉 好熊君 青木 磐雄君
田畑地價修正ニ關スル建議案

半谷 清壽君 小泉 又次郎君
福田 民平君 山道 襄一君
齋藤 宇一郎君 中山 梅治郎君
阿部 德三郎君 奧田 榮之進君
池田 猪三郎君 須見 千次郎君
渡邊 新太郎君 島田 保之助君

淀川水利ニ關スル建議案
山口 俊一君 西田 爲之君
田中 喜太郎君 藤井 善助君
植場 平君 金澤 種次郎君
敦鸛鐵道速成ニ關スル建議案

山口 嘉七君 西川 太治郎君
高田 嘉平君 渡邊 昭君
野尻 岩次郎君 今村 七平君
有栖川神社建立ニ關スル建議案

鹿島 秀磨君 川井 考策君
倉光 藤太君 野添 宗三君
井上 敬之助君 丸山 芳介君
神戸港設備完成急施ニ關スル建議案

横田 孝史君 森 環君
浦瀨 濟之君 西村 丹治郎君
高島 順作君 田村 新吉君
委員異動 銀行條例中改正法律案外一件委員三隅哲雄君 辭任ニ付其補闕ト

シテ西英太郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ
一委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ
紛争仲裁法案委員會

委員長 増田 次郎君 理事

岩崎 彦雄君
高野 金重君
關戸 寅松君

愛知縣三重縣境界變更ニ關スル法律案委員會
委員長 重盛 信近君 理事 織田 了君

醫師法中改正法律案(小池仁郎君外二名提出)委員會
委員長 清水 隆德君 理事 金澤 種次郎君
濠洲及南洋ノ排日除去ニ關スル建議案委員會

委員長 今西 林三郎君 理事 (井手 三郎君
南太平洋航路開始ニ關スル建議案委員會
委員長 森田 小六郎君 理事 榎本 次郎右衛門君

財團法人同仁會事業國庫補助ニ關スル建議案委員會
委員長 山田 珠一君 理事 林 平四郎君
酒造稅納期繰下ニ關スル建議案委員會

委員長 山宮 藤吉君 理事 有田 溫三君
岐阜多治見間鐵道速成ニ關スル建議案外二件委員會
委員長 岡崎 久次郎君 理事 古屋 慶隆君

國籍撰擇ニ關スル建議案委員會
委員長 田淵 貞四郎君 理事 河野 正義君
淀川水利ニ關スル建議案委員會

委員長 川崎 安之助君 理事 西田 爲之君
有栖川神社建立ニ關スル建議案委員會
委員長 鹿島 秀磨君 理事 川崎 安之助君

慢性傳染病豫防ニ關スル建議案委員會
委員長 山根 正次郎君 理事 高野 金重君
田畑地價修正ニ關スル建議案委員會

委員長 有田 溫三君 理事 (半谷 清壽君
敦鸛鐵道速成ニ關スル建議案委員會
委員長 山口 嘉七君 理事 今村 七平君

神戸港設備完成急施ニ關スル建議案委員會
委員長 横田 孝史君 理事 田村 新吉君
理事補闕選舉 銀行條例中改正法律案外一件委員會理事補闕選舉ノ結果左ノ如シ

銀行條例中改正法律案外一件
理事 井原喜代太郎君(理事三隅哲雄君補闕)
露領沿海州漁業權ノ侵害ニ關スル質問主意書
右成規ニ據リ提出候也
大正五年一月二十二日
提出者 小西 和 贊成者 安田伊左衛門
外三十一人
露領沿海州漁業權ノ侵害ニ關スル質問主意書
一 今回露國政府(ハバロフスク)國有財産廳ノ發表シタル露領沿海州漁區表

附則中ニハ「ボーツマウス」講和條約及日露漁業協約ニ基ケル本邦人既得ノ漁業權ヲ侵害スルノ頗ル甚キモノアリト認ム之ニ對スル政府ノ所見如何

二

該附則中鯨漁區ニ於ケル漁具取拂期日ヲ露曆六月七日ト改訂シ普通網ノ構造及其ノ大サヲ制限シ紅魚族ノ漁業ニ對シ一切ノ網袋類ノ使用及引揚機械(漁網並魚類ニ對スル)ノ應用ヲ禁止シタルハ當ニ本邦人ノ漁業經營ヲ苦シムル止ラス事實ニ於テ之ヲ不可能ナラシメ延テ本邦人ノ海外及海洋ニ對スル經濟的發展ヲ阻害スルモノ決シテ渺少ニ非スト認ム之ニ對スル政府ノ所見如何

三

該事件解決ノ目的ヲ以テ政府ハ浦鹽斯德駐在ノ領事ニ命シ露國當局者ニ對シ交渉ヲ開始セシメタリト聞ク果シテ然ラハ政府ハ當該領事ニ對シ如何ナル命令ヲ與ヘタル乎政府ハ當該領事能力能ク右事件ヲ解決シテ遺漏ナキヲ得ルモノト認ムル乎又政府ハ該事件ニ付直接露國政府ニ交渉ヲ開始スルノ意ナキ乎日露漁業協約ハ當ニ三箇年半ノ後ヲ以テ更新セサルヘカサル時期ニ際會セリ之カ更新ニ付テハ紅魚族及鯨ノミナラス鱈蟹其ノ他各種魚介ニ對シテモ亦甚シキ制裁ヲ受クルコトナク隨意ニ漁獲採取及製造ヲ營ミ得ルノ權利ヲ確保スヘク又漁場相互間ニ於ケル船舶廻航ノ公認ヲ得サルヘカラス而シテ更ニ漁場借區期間ノ延長及開放漁場ノ増加ヲ要スルカ如キ諸般權利ノ伸張ヲ期スルコト頗ル肝要ナリト信ス政府ハ是等ノ權利ヲ伸張スル決心ト自信アル乎

四

現今ニ於ケル日露兩國間交渉ノ親善ハ從來未ダ曾テ見サル所ナリ從テ日露漁業協約ヲ積極的ニ改訂シテ露領沿海州ニ於ケル漁業權ヲ伸張スルハ實ニ刻下ヲ以テ絶好ノ時期ナリト認ム政府ハ露國政府ニ對シテ之カ改訂ニ付交渉ヲ開始シタルカ或ハ他ノ國家ノ利權及國民ノ發展ニ資スヘキ何等カノ問題ニ就テ外交上ノ接衝ヲ試ミツアルカ又ハ之カ交渉接衝ヲ開始スルノ意思ナキ乎

五

右及質問候也

對米及對支外交ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正五年一月二十九日

提出者 石橋爲之助

贊成者 森田茂

外三十二人

對米及對支外交ニ關スル質問主意書

一

對米外交ニ關スル質問

目下米國代議院ノ問題トナレル日本移民排斥法案ニ關シ政府ノ受取リタル情報並法案ノ内容如何

若未タ情報ニ接セストハ直ニ電報ヲ以テ駐米大使ニ照會シ國民ノ誤解ヲ防ク爲其ノ真相ヲ公表セムコトヲ望ム

若又既ニ其ノ情報ニ接シタルトセハ之ニ對シ如何ナル措置ヲ採ルヘク大使ニ訓令シタルヤ或ハセムトスルヤ

日米ノ親交ヲ害スヘキ此ノ種ノ排日行爲ヲ防止スルニ於テ將來ニ向テ如何ナル方法ヲ採ルヤ

二

對支外交ニ關スル質問

政府ハ對支警告ノ主旨ヲ飽迄貫徹スルノ決心ナリヤ

ロ 對支警告ニ關スル今日迄ノ經過如何
右ハ別ニ極旨辯明ヲ爲ササルヲ以テ速ニ答辯アラムコトヲ望ム
右及質問候也

岡陸軍大臣ニ關スル質問主意書
右成規ニ據リ提出候也

大正五年二月三日

提出者 伊東知也

贊成者 古島一雄

岡陸軍大臣ニ關スル質問主意書

一岡陸軍大臣ハ乃木家再興ニ關シテ毛利元智氏ヲ相續者ニ推薦シ又乃木將軍ノ神靈遺物ノ引渡ヲ將軍ノ親族ニ要求シタル此レ陸軍大臣一箇ノ意ニ出タルカ總理大臣若ハ宮内大臣ノ意ヲ受ケテ之ヲ爲シタルカ
一毛利元智氏ハ伯爵ト爲リシ故ヲ以テ乃木ト改姓シ以テ其ノ祭祀ヲ行フコトヲ得ス若之ヲ行ハハ國家ノ法律ヲ犯スナリ又乃木家ノ親族ハ濫リニ乃木將軍ノ神靈家寶ヲ他人ニ與ヘテ其ノ祭祀ヲ廢スヘカラス若之ヲ廢セハ人倫ノ常道ヲ敗ルナリ陸軍大臣ハ國法違反人倫敗壞ノ行爲ヲ人ニ要求シテ自ラ可ナリト思惟スルカ
一波多野宮内大臣ハ曩ニ政教社社員ニ對シ絶家再興ニ非シテ家名再興ナリト明言シ尾崎司法大臣ハ過日衆議院豫算委員會ニ於テ新乃木家ハ故伯爵乃木希典ノ家トハ無關係ナリト答辯シタル岡陸軍大臣ハ此ノ二大臣ト同一ノ意見ナリヤ否若同一ノ意見ナリトセハ相續者ニ非サル新乃木家ハ乃木將軍ノ神靈家寶等ヲ受取ルヘカサルコト益明白ナルニ非スヤ政府ノ意見果シテ如何

右ハ軍人ノ教化ニ關シ國法ヲ犯シ人倫ヲ敗ルノ弊害ヲ生セシムルハ勿論一般風致上惡影響ヲ遺スコト甚大ナリトス政府ノ明亮ナル答辯ヲ求ム
右及質問候也

○議長(島田三郎君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、御諮リヲ致スコトガアリマス、病氣ニ付今八日ヨリ向フ十二日間小山東助君ヨリ請暇ノ申出ガアリマス、同ク今八日ヨリ向フ二週間阿部勇治君、同ク今八日ヨリ向フ二週間翠川鐵三君請暇ノ申出デガアリマス、許可シテ御異議ハアリマセヌカ
(「異議ナシ」呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 許可スルコトニ決シマス、次ニ第五部選出決算委員木津太郎平君、常任委員辭任ノ申出ガアリマス、許可シテ御異議ハアリマセヌカ
(「異議ナシ」呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 御異議ガナケレバ許可致シマス、其部ノ諸君ハ補缺選舉ヲ行ヒ御報告アラシコトヲ望ミマス、次ニ日支銀行法案外一件ノ委員會ヲ開キタイツフ委員長小寺謙吉君ノ申出ガアリマス、御異議ハアリマセヌカ
(「異議ナシ」呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 許スコトニ決シマス、議事進行ニ付テ前川虎造君ノ通告ガアリマス
○前川虎造君 私ハ曩ニ火曜日ニ露國關稅ノコトニ付テ外務大臣及農商務大臣ニ質問ヲ致シタルアリマス、當時兩大臣ノ出席ヲ促シタルアリマスガ、兩大臣ハ已ムナキ用件ノ爲メニ御出席ガナカッタ、ソレデ政府委員ニ御取次ヲ願フテ、只管大臣自ラ出ラレテ御答辯ヲ願ヒタイツフコトヲ申シタルアリマスガ、今日迄御答辯下サル事アラウト期待致シテ居リマシタルコトコガ、何等ノ御答辯ガナイノデアリマス、是ハ極メテ重大デ

アリマス、其外ニ最近大連ヨリ接手シタル電報ニ依リマス、内容ハ此處デ明カニ申シ
マセヌガ、露國ニ對シテヨリ以上ノ好意ヲ表スルコト云フ事實モアルデアリマス、斯ル露西
亞トノ交誼ガ親密ニナツテ來ル今日ニ於テ、彼ノ稅關ト云ヒ或ハ沿海州ノ漁業ニ關シテ
モ非常ニ壓迫ヲ加ヘラレテ、是ニ對シテ何等ノ措置ヲ帝國政府ガシナイト云フコトハ、
吾々甚ダ不審ニ存スルデアリマス、一日モ早ク之等ノ答辯ヲ得テ安心シタイと思フ、
政府ノ御都合今日デモ御答辯下サレバ、誠ニ仕合デアリマス、宜ク政府ノ方ヘ相當ノ
御紹介ヲ願ヒタイと思ヒマス

○議長(島田三郎君) 柴政府委員

〔政府委員柴四朗君登壇〕

○政府委員(柴四朗君) 前川君ニ御答致シマス、唯今調査中デゴザイマシテ、アレハ
農商務省其他ノ省ニモ關係シマシテ、不日御答辯ヲ致シマスカラ一兩日ノ御猶豫ヲ願
ヒマス

○議長(島田三郎君) 第一質問、露領沿海州漁業權ノ侵害ニ關スル質問、提出者
小西和君

一 露領沿海州漁業權ノ侵害ニ關スル質問(小西和君提出)

(小西和君登壇)

○小西和君 此ノ露領沿海州漁業權ノ侵害ニ關スル質問ノ趣旨ハ、早ク辯明ヲ致
シマス積リテ居マシタガ、御承知ノ如ク日露兩國ノ交誼ハ非常ニ親善ニ赴イテ居リマス
ル、殊ニ露國ノ太公殿下ガ渡航セラレマシテ間モナキ折柄デゴザイマシテ、兩國ノ親善ナ
コトハ未ダ會テ見ザル程度ニアリマス、此時ニ際シテ斯様ナ問題ヲ提出致シマス
ルノハ、甚ダ遺憾ニ存スルデアリマス、故ニ、出來ルコトアレバ單ニ質問ノ趣意書ヲ
提出致シマシテ、ソレニ依テ政府ノ反省ヲ促シ、同時ニ答辯ヲ得タイと思フテ居タノデ
アリマス、然ルニ不幸ニシテ一週間主官ノ辯明ヲ延期致シマシタニ拘ラズ、今尙政府ヨ
リ御答辯ヲ得マセヌ爲メニ、餘儀ナク此壇上ニ立ッテ次第デアリマス、此質問ハ五箇條ニ
亙ッテ居リマス、其趣意ハ大體此趣意書ニ盡キテ居ルデアリマス、故ニ此壇上ニ於
テ長イ辯明ヲ致ス必要ハナイ、是ヨリ極メテ簡單ニ此質問趣意書ノ中ニ掲ゲテアリ
マセヌ要點ヲ一二三申上ゲテ壇ヲ降ラウト思ヒマス、露西亞ノ外相「サゾフ」氏ガ最近ニ
或人ニ語ラレタコトニ依リマスレバ、今度ノ戰爭ガ始リマシテ以來、我日本ガ露西
亞ニ對スル情誼ノ厚イコトハ、誠ニ感謝ニ堪ヘナイ、而シテ日露兩國ノ間ニ於テ毫末モ
利益ノ衝突ヲ生ジテ居ルヤウナ事柄ハナイ、兩國ノ間ノ親密ナル國交ハ之ヲ中外ニ發
揚スルニ十分デアルト云フヤウナコトヲ述ベテ居ルデアリマス、如何ニモ大體ニ於テ露西
亞ノ外相ノ申サル、通りニ相違アリマスガ、此折ニ當ッテ極東ノ經濟的政策ノ上ニ、露
西亞ハ種々日本ニ向ッテ、壓迫ヲ加ヘルカノ如キ道方ガ見エルノハ甚ダ遺憾トスルコト
デアリマス、曩ニ輸入稅ヲ高メマシテ、我日本カ露西亞ニ對スル輸出品ニ非常ナ阻害
ヲ與ヘルコトニ致シマシタシ、又引續イテハ此質問ノ趣意ニ書イテアリマス、コトコロノ此漁
業權ノ侵害スルコト云フヤウナ行爲ニ出タルコトハ、誠ニ心外至極ニ存スルデアリマス、
申スモデモナク沿海州ノ漁業權我日本ガ明治三十七八年ノ戰爭ニ於テ多大ノ犧牲ヲ
拂フテ、ソレヲ獲得シマシタコトコロノ權利ノ一デアリマシテ、「ボ——」ツマウス「條約」並ニ之
ニ附屬セル日露漁業協約ニ依ッテ、國際ノ規定セラレテ居ルデアリマス、然ルニ露
西亞ノ政府ガ國內法ヲ發布致シテ恣ニ之ニ制限ヲ加ヘ壓迫ヲ加ヘルコト云フコトハ、是
ハ條理ニ於テ素ヨリ不都合ナ譯デアラウト思フデアリマス、而シテ是ガ爲メニ我日本ノ
既得權ヲ侵害スルコト極メテ甚ダシイデアリマスガ、政府ハ之ニ對シテ如何ナル態度ヲ

執ルノデアルカト云フコトガ、此質問ノ骨子デアリマス、又ソレニ關聯致シマシテ、網ノ目ヲ
制限致シ、又漁業ニ機械類ヲ使用スルコトヲ禁止致スト云フコトハ、是ハ我日本ノ出
漁者ヲシテ、合理的ノ經營ヲスルコトヲ不可能ナラシムルデアリマシテ、之ヲ大ニ致シ
テハ我日本人ノ海外ニ於ケル發展、海上ニ向ッテノ雄飛ニ大ナル阻害ヲ來スモデアリマ
ス、政府ハ此點ヲ露西亞ニ交渉シテ斯カル不條理ナ法規ヲ取除クコトニ努メテ實ヒタ
イ、果シテ此ノコトヲヤッテ居ルヤウヤト云フノガ質問ノ第二デアリマスガ、之ニ就テハ特ニ
一言シナケレバナラスコトガアリマス、聞クガ如クンバ、我外務省ノ當局者ハ網目ノ制限デア
ルトカ、或ハ機械ノ使用禁止デアルガ如キ事柄ハ、是ハ露西亞ガ沿海州ニ於ケル漁族
ヲ保護スル上ニ於テ極メテ必要ナルコトデアル、ソレデアルカラ日本ハ是ガ事ハ忍バ
ケレバナラス、又是ガケノ制限並ニ禁止ヲ受ケテモ、我日本ノ漁業者ニ取ッテハ多大ノ
迷惑ト云フ程デモナイ、斯様ニ我外務省當局者ハ考ヘテ居ルカノ如クニ聞エテ居リマス、
果シテ然ラバ是ハ我外務省當局者ニ向ッテ飽迄モ反省ヲ促サナケレバナラスノデアリマス、
成程漁族ノ保護ハ必要デアル、必要デアルケレドモ露西亞ガ規定シテアルガ如キ、極端ナ
ル制限ヲ設クル程ノ必要アリヤ否ヤト云フコトハ、是ハ我北海道並ニ樺太ニ於ケル漁業
ノ多年ノ實績ニ徴シマスレバ、決シテ是程ノ必要ガナイト云フコトヲ證明シテ居ルデア
リマス、又此禁止並ニ制限ガ我日本ノ漁業者ニ迷惑ヲ與ヘル程度ハ差シタルモナイ
ト考ヘルガ如キモ、是亦實際ノ狀況ヲ知ラナイ結果ニ外ナラスデアリマス、私ハ外務省
當局者ガ何故ニ農商務ノ當局者ト打合セラシテ、漁族ノ保護ハドウ云フ風ニスレバ宜イ
デアルカ、露西亞ガ漁族ノ保護ナル美名ノ下ニ斯カル壓迫ヲ我漁業者ニ加フルノハ、果
シテ正當デアルヤ否ヤト云フコト、並ニ是等ノ技術ニ關スル諸般ノ事柄ニ付テ、十分ニ農
商務省ノ意見ヲ聽キ、我日本ノ權利ヲ擁護シ、更ニ之ヲ伸張スル上ニ遺憾ノナイ手段
ヲ執ラナイノハ、甚ダ遺憾ニ思フデアリマス、ソレカラ聞ク處ニ依レバ我政府ハ浦鹽ノ領
事ヲ「ハバロフスク」ニ出張セシメテ、同地ノ國有財產廳ト交渉サセテ居ルコトデア
リマス、此漁業權侵害ノ問題ハ、成程露西亞ノ國有財產廳ニ於テ發布致シマシタニハ
相違アリマセヌケレドモ、露西亞ノ中央政府ノ決裁ヲ經テ發布致シテ居ルコト云フコトハ
疑ノナイ事由ガアルデアリマス、我政府ガ此重大ナル問題ニ對シテ、一領事ヲ「ハバロ
フスク」ヘ派遣致シタノヲ以テ、優ニ此問題ヲ解決シ得ルモノト信ズルデアリマスガ、私
共ハ斷シテ是デハ十分デアルト明言ヲシナケレバナラスノデアリマス、又我政府ハ何故
ニ直接ニ露西亞ノ中央政府ニ對シテ交渉ヲ致シ談判ヲ開イテ、此問題ヲ根本的ニ解
決スルコトニ努メナイノデアルカ、私ハ我政府ガ之ニ對シテ露西亞ノ中央政府ト直接ニ
交渉致シテ、遺憾ナキ解決ヲ希望致シマスノデアリマスガ、未ダ其手順ヲ運シテ居マセヌ
カノ如ク聞イテ居マスルガ故ニ、此點ニ就テモ亦政府ニ伺ヒタイデアル、此條約ハ今ヨ
リ三箇年半ヲ經レバ、更ニ更新シナケレバナラス時期ニナツテ居ルデアリマス、而シテ其
更新ノ時期ニ當リマシテハ、更ニ此沿海州ニ於テ漁獲スベキ魚ノ種類ヲ増加スル必要ガ
アル、又漁場ノ借區ノ期間ヲ延長スル必要モアリ、漁場ノ數ヲ殖ヤス必要モアルノデ、是
等ノ點ニ於テ更ニ我權利ヲ伸バシテ行ク必要ガアルデアリマス、併シ之ニ先立ッテ是非
共解決ヲ希望シナケレバナラスコトハ、沿海州ノ漁場ニ於ケル共同通航ノ問題デアリマ
ス、諸君共同通航ノ問題ニ付テハ、沿海州ノ出漁者ヲ舉テ非常ニ苦シテ居ルコトデアリ
マシテ、是ガ爲メニ斷ニ請願モ出テ居ルデアリマス、今ヤ船舶ノ缺乏ト運賃ノ騰貴ノ爲メ
ニ、沿海州ノ出漁者ハ露西亞政府カラ漁權ノ侵害ヲサレナイト致シマシテモ、非常ナ經
濟上ノ困難ニ遭遇致シテ居ル場合デアリマス、而シテ露西亞ノ中央政府ニ於テハ、沿海州
ニ於テ共同通航ヲ許シテナイト云フヤウナコトナドハ、知ラナイカノ如キ有様デアルデア

○議長(島田三郎君) 質問第三、岡陸軍大臣三關スル質問、伊東知也君

三 岡陸軍大臣ニ關スル質問(伊東知也君提出)

(伊東知也君登壇)

(拍手起ル)

○伊東知也君 私ハ岡陸軍大臣ニ對シテ質問ヲ試ミタイノデアリマス、ソレハ乃木家再興問題ニ關スルコトデアリマス、乃木家再興ニ關シテハ是マデ度々本議場ニ質問ガ出テ秘密會ニマデモサレマシタガ、此問題タルヤ幾ラ質問シテモ幾度之ヲ繰返シテモ、政府當局者ノ徹底セル返答否寧ロ其責任ヲ明カニスルマデハ止マントシテ止ム能ハザル問題デアリマス、政府當局者ノ人々ノ如キハ乃木將軍ノ遺言書ト云フモノヲ以テ、單ナ乃木家一家ノ遺言狀ト見テ居ラルラシ、又岡陸軍大臣ノ初メ其他ノ當局者ノ如キハ、乃木將軍ノ殉死ト云フモノヲ以テ單純ナル殉死トモ見テ居ラレルカモ知レナイ、私ハ斷言致シマス、乃木將軍ノ殉死セラレタノハ、六千萬ノ國民ニ向テ熱血ヲ洗禮シ與ヘラレタルモノデアルト私ハ信ズルノデアリマス、道義日ニ衰ヘ風教月ニ紊レテ、物質的向上心ハ眼前ノ利慾ニ迷ハサレテ、如何ナルコトヲモ爲シ兼ねナイト云フヤウナ我國ノ現在ノ有様ニナリテ居ル、之ヲ救フニハドウシテ宜イカ、竝ニ一教育其他ノ事ヲハ到底之ヲ救フコトハ出來ナイ、自ラ潔キ鮮血ヲ注イテ六千萬ノ國民ニ警告ヲ與ヘタナラバ、多少救フコトハ出來ハシナイカト考ヘテ、乃木將軍ハ自盡シテ 先帝ノ御迹ヲ追ハレタノデアリマス、是ガ分ラナイイデ大臣ナリテ得意ガタリ、砂利ノ鐘詰ヲ軍隊ニ食ハセテモ、金錢ヲ以テ胡麻化シテ男爵デモ貰フデ、自ラ國家ニ功勞デモアル如ク得タシテ世ノ中ニ跋扈スル人間ノ殖エル世ノ中デアルカラ、サウ云フコトハ分ラヌデアル、即チ現ニ陸軍大臣岡市ノ助其人ノ如キガ、或ハサウ云フコトハ分ラヌラシト私ハ信ズル、現ニ岡陸軍大臣ハ乃木家再興ニ關シテ毛利元智ト云フ人ヲ相續者ニ推薦シタノデアル、又乃木將軍ノ位牌デアルカ、神靈遺物ノ引渡ヲ乃木將軍ノ親族ニ向テ要求シタノデアリマス、是ハ新聞其他ニ依テ明カナル事實デアル、此ノ如キ事ヲシタノハ岡陸軍大臣一個ノ意見ヲ致シタノデアルカ、又ハ總理大臣若クハ宮内大臣ノ意ヲ承ケテ之ヲシタノデアルカ、是ガ第一ノ私ノ質問デアリマス、第二ハ毛利元智ト云フ人ハ單ニ伯爵ヲ賞タカラト云フデモ、得手勝手ニ乃木ニ改姓シテ、サウシテ其祭事、乃木家、乃木將軍ノ御先祖ヲ初メ祭ラスルコトノ出來ナイト云フコトハ、是ハ法律上明カニ規定ガアテ、現在ニ於テモ之ガ決定シテ居ラヌ、否決定スルコトハ出來ナイノミナラヌ、當然法律上ノ見解ヨリ出來ナイコトハ、幾多ノ法學博士其他ノ人々ノ説明ニ依テ出來ナイノハ明カナルコトデアリマス、若シ之ヲ強イテヤラウトスルナラバ 國家ノ法律ヲ犯スモノデアル、又乃木家ノ親族乃木將軍ノ親族ノ人々ハ、濫ニ將軍ノ神靈或ハ其家寶ト云フモノヲ、亦ノ他人ニ與ヘテ其祭ヲサセルコトハ出來ナイノデアル、親族タル者ハ當然其祭祀ヲ自カラ引受ケテヤラネバナラヌ、其祭ヲ廢スルコトハ出來ナイノデアリマス、若シ亦ノ他人ニ位牌ヲ渡シ寶物ヲ渡シテシマツテ、自分ニ關係ハナイト云フテ祖先ノ祭ヲ廢シタナラバ、是即チ人倫ノ常道ヲ破ルモノデアル、岡陸軍大臣ハ之ヲ勸メテ居ル、乃木家ノ遺族ニ向テ今度新シク出來タ乃木元智ト云フ何處カラ飛出シタカ分ラヌ所ノ伯爵ニ向テ、乃木將軍ノ御位牌ヲ渡スガ宜イ、寶物ヲ渡スガ宜イト云フテ、乃木將軍ノ遺族ニ向テ之ヲ盛ニ勸メタノデアリマス、是ハドウ云フ趣旨デアル、岡陸軍大臣ハ此乃木家ノ親族ヲシテ國家ノ法律ヲ破壞セシメル積リデ之ヲ勸メタノデアルカ、又ハ乃木將軍ノ親族親戚ヲシテ人倫ノ大道ヲ破ラシメル爲ニ岡陸軍大臣ハ斯ウ云フ勸メヲシタノデアルカ、一ツニ一ツ法律ヲ破ル積リデアルカ、然ラズンバ人倫ノ大道ヲ破ルカ、何方ニカ抵觸スル問題ヲ岡陸軍大臣ガ公然ト勸メタニ至ラハ、何處カ據ガアルト云フコトハ明カデアル、斯ウ

云フコトヲシテモ宜イノデアルカ、惡ルイノデアルカ、是ハ何方ヲスル積リデアッタカト云フコトヲ、私ハ陸軍大臣ニ向テ聞キタイノデアル、又波多野宮内大臣ハ、曩ニ改教社ノ社員ニ對シテ居ル、乃木家ノ再興ト云フコトヲ、絶家ノ再興ハナイ家名ノ再興デアルト明言シテ居ル、又尾崎司法大臣ハ曩ニ衆議院ノ豫算委員會ニ於テ、新乃木家ト云フモノハ舊ノ伯爵乃木希典ノ家トハ無關係ノモノデアルト答辯シタノデアリマス、岡陸軍大臣ハ此宮内大臣及司法大臣ト同一ノ意見デアルカドウカ、若シ同一ノ意見デアルトシタナラバ相續者ニアラザル新乃木家ト云フモノハ、乃木將軍ノ神靈家寶等ヲ受取ルコトハ出來ナイコトハ益々明白ナ譯デアリマス、是等ノ點ニ付テ岡陸軍大臣及政府當局者ト云フモノハ、ドウ云フ考ヘテ持テ居ラルラシ、或ハ岡陸軍大臣ハ自分ハサウ云フコトハ知ラヌ、自分ハ關係ハナイト云フヤウナコトヲ言フカモ知レヌガ、現ニ其乃木家ノ再興シタ當事者ノ毛利元智、即チ乃木元智ト云フ人ガ大正四年ノ十月二十七日、門守新報ノ記者ニ直接ニ答ヘラレタ其問答ニ依テ明カニナリテ居ル、即チ此新聞記者ガ問フテ言フニハ貴君ガ御辭退セラレタニモ拘ラズ貴君ノ意志マデモ押附ケテ奏請サレタモノデスネ」斯ウ聞イテ居ル、所ガ元智ガ云フニハ「マアサウデス最初岡陸軍大臣カラ人傳テ元智ニ話ガアッタ時兄ハ斷ツタノデス、ソレカラ上原將軍ガ來ラレマシタニ云々」斯ウ答ヘテ居ル、其毛利元智ガ言フニハ「神靈ノコトニ付テ長谷川元帥岡陸軍大臣カラ引渡シテ受ルガ宜カラウトノ交渉ガアリマシタ」ト答ヘテ居ル、ソレデ新聞記者ガ又問フテ言フニハ「神靈其他ノ引渡ハ如何ナル手續ニ依テ御受取ニナリマスカ」元智答ヘテ曰ク「未ダ一向考モアリマセヌ唯々今月三四日頃長谷川元帥岡陸軍大臣カラノ御通知ニ對シテ兩氏ヘ宛テ御厚意ヲ御受ケシマス」ト返答シタハカリデス「新聞記者ガ問フテ曰ク「貴君ノ方カラ引渡ヲ御請求ニナッタノデスカ」又ハ舊乃木家側カラ渡サウト申サレタノデスカ」元智答ヘテ曰ク「元帥及陸軍大臣ガ取計ハレタノデスカ」元智曰ク「私ノ方カラ請求ハシマセヌ元帥及陸軍大臣ガ仲ニ立テ御取次下サッタノデス」ト云フハ何方カラノ計ヒカハ存ジマセヌ」又「今回再興ニ付テハ波多野宮相カラ岡陸軍大臣ニ對シテ後繼者ノ人選方ヲ御相談サレタト云フ話ヲ聞イテ居リマス」又「何故宮内大臣カラ陸軍大臣ニ相談サレタカ」又誰ガ宮内大臣ニ相談シタカ知レマセヌガ免ニ角陸軍大臣ニ關係ノアル人カラ發意サレタト思フテ居リマス」ソコデ記者ガ問テ曰ク「奏請セシメタ責任者ハ親族側デスカ仲介タル長谷川元帥陸軍大臣デスカ」元智曰ク「ソレハ今申サレマセヌガ雙方トモ非常ニ苦シイ事情ガアルドラウト思ヒマス」記者曰ク「議會デハ政府ノ答辯者ハ誰デセウカ」元智曰ク「岡陸軍大臣ヨリ外ハアリマスマイ」ト今ノ元智伯ガ明確ニ議會ニ於テ答辯スル人ハ岡陸軍大臣ヨリ外ハアリマスマイト云フコトヲ言明シテ居ル、先刻來申上ケマシタ通り此乃木家再興問題ト云フモノハ、單ニ一箇ノ伯爵家ノ再興デアルトカ、サウ云フ單純ナ問題ハナイノデアリマス、乃木將軍ノ殉死ハ先刻申シタ通り、將軍ノ碧血ヲ以テ我ハ六千萬ノ同胞ニ洗禮シ與ヘラレタルモノデアル、然ルニ其大趣意大精神ヲモ解釋スルコトハ出來ヌ、漫然トシテ單ニ伯爵家ノ再興スレバ將軍ノ遺志ニ副ブラウトカ、ツマナヌ目前ノ己レノ下界タル心カラシテ考ヘテ、風教上社會ノ教育上ニ實ニ絶大ナル瑕疵ヲ付ケタト云フコトハ、現内閣ノ失政上私ハ最モ重大ナル怨ミベカラザル所ノ大缺點デアルト斷言スルノデアリマス、而モ陸軍ハ最モ風教ヲ尊ビ最モ精神的教育ヲ尊バクチャナラヌ所ノ陸軍大臣其人ガ、此事ノ仲介人ニナッタコトハ、實ニ我國全體ノ軍隊精神教育ノ上ニ於テ如何ナル影響ガアッタカト思ヒマスレバ、實ニ肌ニ汗スルヲ感ゼザルヲ得ナイノデアリマス、延イテ以テ六千萬ノ同胞ノ風教上教育上其他ニ影響スルコトハ多大デアラウト思フ、此問題ハ實ニ私ハツマナヌ小サナ問題ト比較ニナラヌト考ヘマスカラ、過日來度々質問モ出シ質問ノ演說モシマシタガ、政府

ハ何ト心得テ居ルカ知ラヌガ、少シク事機密ニ互ラントスルト直ク祕密會ヲ開ク、彼モ祕密是モ祕密ト言ツテ、此ノ如キ明々白々タル大問題ヲ耳ヲ掩フテ鈴ヲ盗ムヤウナコトヲヤツテ居ル、サウシテ答辯スルカト思フト殆ド質問シテ以來一箇月ニナルニ拘ラズ、殆ド答辯ヲシナイ、固ヨリスルコトガ出来ナイノデアリマセウ、答辯ガ出来ナイナラバ之ニ對スル責任ヲ負フガ宜イ、答辯モ出来ズ、責任モ負ハズ、恬然トシテ其位ヲ竊ムト云フコトハ國家ノ大罪人ト言フデモ宜イノデアル(「ヒヤ」ト呼フ者アリ)陸軍大臣ガ病氣デアルナラバ誰デモ宜シイ、總理大臣デモ宜イカラ、是等ノ問題ニ對シテ明白ナル答辯ヲ望ミマス

○議長(島田三郎君) 日程第一、明治二十九年法律第三十一號中改正法律案
第一讀會ヲ開キマス

第一
明治三十九年法律第三十一號中改正法律案
（政府提出）
第一讀會

(正) 原提出

明治二十九年法律第三十一號中改正法律案

附則ヲ左ノ如ク改ム

本法ハ大正十年十二月三十一日迄其ノ效力ヲ有ス

〔内務大臣法學博士一木喜德郎君登壇〕

○内務大臣(法學博士)木喜徳郎君) 明治三十九年法律第三十一號ハ、御承知ノ如ク今年ノ十二月末日ヲ以テ其效力ヲ失フコトニナツテ居リマス、然ルニ臺灣ノ實況ハ此ノ如キ特別制度ノ存續ヲ必要ト致ス 狀況アゴザイマスルカラシテ、尙五箇年本法ノ效力ヲ存續致シタイ希望ヲ以テ本案ヲ提出致シマス、何卒御審議ノ上御協賛アラムコトヲ希望致シマス

○前川虎造君 議長——議長

○議長(島田三郎君) 通告ガアリマス——松田源治君

〔松田源治君登壇〕

○松田源治君臺灣律令權ヲ繼續スル法案ガ出マシタ、此法律案ハ本期議會ニ於テモ餘程重大ナル法律案ト本員ハ考ヘルノデアリマス、然ルニ國務大臣ノ説明ハ實ニ簡單、吾々ハ臺灣ノ今日ノ現狀デ、六二法案ヲ繼續スル必要ガ有ルカ否ヤニ向ッテ大ニ疑ヲ持テ居ルノデアリマス、國務ヲ親切ニ議スル誠意ガアルナラバモウ少シ詳細ナル説明ヲ致シマシテ、吾々國民ヲシテ繼續スルト云フコトニ付テ安心シテ協賛セシムルコトガ當局大臣ノ努ムベキ事ナリト本員ハ考ヘルノデアリマス、尤モ委員會モアリマセウケレドモ、委員會ノ事ハ國民ニ訴ヘル譯ニイカヌノデアリマス、ウレデ亦壇上ニ於キマシテ臺灣ノ律令權ヲ總督ニ委任シテ居ル事ガ適當ナリトスルナラバ、詳細ニ説明スルコト、國務大臣ノ努メナケレバナラヌ事ト思ヒマス、依テ私ハ種々ノ點ニ付テ疑ヲ有シテ居ルノデアリマスカラ、當局大臣ニ叮嚀ニ親切ニ、詳細ナル説明ヲ求メタイノデアリマス、第一ハ此立法事項ヲ臺灣總督ニ委任スルコトハ、憲法違反ナリヤ否ヤニ付テハ是ハ議論ガアルコトデアリマス、學理上ニ付テハ憲法違反デアリマセウケレドモ、實際問題トシテハ今日解決サレテ居ルノデアリマスカラ、私ハ此壇上ニ於テ臺灣ノ律令ナルモノガ憲法違反ト云フコトハ申シマセヌ、即チ實際ニ於テ解決セラレテ居リマスカラ、ウレハ此壇上ニ於テ言フ必要ハ無イノデアリマス、唯此律令權ト云フモノガ憲法ノ常道デナイト云フコトハ、政府ニ於テモ認ムルデアラウ、議員諸君ニ於テモ認ムルデアリマセウ、即チ憲法上常道デ無イ、委任立法ト云フコトハ憲法上常道デナイ、變例デアアル、是ハ議論無イコトデアラウト思フ、然ラバ憲法上變例ニ屬スルコトデアアル、已ムヲ得ズシテ委任統治ヲ今ヨリ二十有餘年前ニ本議會

ニ於テ臺灣總督ニ許シテ居ル、然ラバ此變例ハ必要無クナリタナラバ之ヲ議會ガ取上ケテ、成ルベク立法ヲ統一スルコト云フコトハ、政府及吾々が大ニ努メナケレバナラスコトデアラウ、然ラバ今日臺灣ノ現狀ニ於キマシテ、此委任立法ト云フモノハ果シテ必要ガアルカドウカ、本員ノ考ニ於キマシテハ、必要ガナイト考ヘル、臺灣ハ民情風俗等ハ異ル、同ジ法律ノ下ニ統治スルコトハ出來ヌト云フコトヲ申シマスケレドモ、民情風俗ノ異ルコトハ臺灣ノミデアリマセヌ、琉球モ然リデアアル、樺太モ然リデアアル、北海道モ然リデアリマス、此特別ナル民情風俗ガ縱令アリマシテモ、帝國議會ニ於テ立法スルコトニ付テ毫モ私ハ差支ナイト考ヘル、而シテ臺灣ハ總督ガ律令權ヲ掌握シテ以來二十有餘年、今日現存シテ居ル律令ハ、私ノ調べタル所ニ依リマスレバ百二十有餘件アルノデアリマス、既ニ特別ナル統治ヲナス所ノ律令ハ完備シテ居ルノデアアル、今日ニ於テモ臺灣ニ於ケル律令ハ百二十有餘件アリ、特別ナル事情ニ於テ統治スルコトハ備テ居ルノデアアル、例ヘバ臺灣統治ノ必要ノ上カヲ言論ヲ制限シナケレバナラヌ時ハ、是ハ新聞紙條例ガアッテ——内地ト異ナル新聞紙條例ガアリマシテ、新聞紙ヲ發行スルニ付テハ許可ヲ得ナケレバナラヌ、必要アル時ハ臺灣總督ハ此許可ヲ取消スコトガ出來、又發行停止權モ握テ居ル、斯ル特別ナル立法ガ備テ居ル、其次ニ臺灣ノ保安規則ガアリマス、是ハ地方長官ノ認定ニ依テハ、内地人及外國人ニ向テ二年間之ニ居住ヲ禁ジテ、臺灣ノ外ニ放逐スルコトガ出來ル律令モアルノデアリマス、又臺灣浮浪者取締規則ガアリマシテ、地方長官ノ認定ニ依テハ臺灣人ヲ或ル一定ノ處ニ收容シテ、臺東廳ノ或ル一定ナル處ニ收容シテ、強制労働ニ終身間服セシムル法モ備テ居ル、又暴動ガ起ル陰謀事件ガ起ツタ時ハ、匪徒刑罰令ガアッテ死刑ヲ以テ罰スルコトモ出來ルシ、其他重刑ヲ以テ日本ノ刑法ヲ適用セシテ特別ナル刑法ヲ施行シ、而シテ匪徒刑罰令ヲ以テ處罰スルニ臺灣臨時法院ト云フモノガアリマス、相當ノ必要ナル時ハ何レノ地方ニモ臨時法院ヲ開キマシテ、而シテ裁判ノ管轄ニ拘ラズ、一審シテ終審——控訴ヲ許サナイ、上告ヲ許サナイ、一審ニ終審ノ裁判ヲスルコトモ出來ルノデアリマス、其他衛生ノ事、警察ノ事、土地ノ事、財務ノ事、民事ノ事、學事ノ事、産業ノ事、運輸ノ事、通信ノ事、蕃地ノ事、百二十何件デ、今日ハ特別ニ臺灣ヲ統治スル所ノ法令ハ備テ居ルノデアリマス、吾々ハ今日臺灣總督ニ委任シテアル所ノ立法權ヲ議會ニ取上ケテ、斯ル多數ナル特別ノ下ニ統治シテ居ル律令百二十有餘件ヲ審查シテ、適當ナルモノハ其儘ニシテ置クモ、不適當ナルモノハ改廢ヲ加ヘ、今日ハ臺灣總督ノ發セントスル律令ヲ寧ロ本院ニ取上ゲテ、即チ帝國議會ニ取上ゲテ之ヲ改廢スル時機ニ達シテ居ルト私ハ確信スルノデアリマス、又臺灣總督府ニ今日マデ委任シテ居ル所ノ律令權ヲ取上ゲマシテ、毎年帝國議會ヲ開ク、此議會ニ於テ立法ニセバ宜イ、臺灣ガ特別ナル事情ガアルナラバ吾々臺灣ノ事情ヲ審查シテ、而シテ臺灣ニ適當ナル法制ヲ議會ニ立案スレバツレデ足リルト思フノデアリマス、帝國議會ニ於テハ臺灣ノ智識ノ無イ人ノミデアルカラ、帝國議會ニ於テハ臺灣ニ關スル特別ノ立法ガ出來ナイト云フヤウナ愚説モアルケレドモ、是ハ帝國議會ヲ侮ジテ居ル論デアラウト思フ、今日デモ臺灣ノ豫算ハ、即チ臺灣ノ豫算ナルモノハ此帝國議會ニ審議スルノデアリマセヌカ、豫算ハ法律案ヨリモ細カイ所ニ這入ツテ居ル、即チ款項ニ這入ツテ行政ノ細カイ所ヘ這入ツテ吾々が審査スル、臺灣總督府ノ豫算ヲ削ルモノハ削リ、適當ナルモノハ是認シテ居ルデアリマセヌカ、今日臺灣總督ガ律令權ヲ持ッテ居ルカラ、臺灣ノ事情ハ此議會ニ分ラナイ、疏通サレナイ、即チ今日臺灣ヲ治メテ居ルノハ官吏ガ治メテ居ル、即チ官僚的ニ治メテ居ル、若シ此帝國議會ニ於テ立法權ヲ取上ゲテ帝國議會ヲシテ立案セシムルコトニナツテ、臺灣ノ事情ハ此議會ニ現ハレ、今迄官僚

テ立法シテ居ル所ガ國民的ニナッテ益、臺灣ノ統治ヲ完全ニ有益ニ進行スルコトガ出來ルト本員ハ斷ズルノデアリマス、帝國議會ガ臺灣ニ向テ立法ノ能力ガ無イト云フコトハ、私ハ實ニ取ルニ足ラザル論デアッテ、帝國議會ヲ侮ッテ居ル論ナリト斷定シナケレバナラヌ、又緊急ナル事件ガアッタラドウスルカ、緊急ナル事件ガアッタ時分ハ憲法第八條ニ依テ、政府ガ緊急勅令ヲ發スルコトガ出來ルノデアリ、既ニ匪徒刑罰令ニ依テ臨時法院條令其他凡ニル規則ハ備ッテ居ルケレドモ、是ヨリ他ニ緊急ナル事件ガ起ッた時分ハ、憲法第八條ニ依テ政府ハ緊急命令ヲ發スルコトガ出來ルノデアリマス、毫モ臺灣ヲ統治スルニ付テ差支ヲ生シナイト私ハ考ヘルノデアリマス、又臺灣ノ立法ニ付テ餘程特別ナモノガアッテ、細カイ點ヲ規定シナケレバナラヌ時分ニ於テハ、本院テ立法シテ其細則ハ其事件々々ヲ限ッテ臺灣總督ニ委任シテ私ハ差支ナイト考ヘルノデアリマス、又政府ノ律令權ヲ維持スルコトノ理由トシテ聞クトコロニ依リマス、臺灣ニ於テ特別ナ法令ヲ拵ヘル必要ガアル、例ヘバ民事ニ關シ、商事ニ關シ、相續、親族、商法ニ關スル特別ナル立法ヲ編成シテ居ル、是ハ何ト名付ケルカ分リマセヌ、ケレドモ本員ハ便宜上民事令、商事令ト唱ヘテ居リマス、臺灣ニ特別ノ法律ヲ拵ヘッ、アル、依ッテ此律令權ヲ繼續シナケレバナラヌト云フ論ガアリマス、是ハ大變ナ間違テ、臺灣ニ特別ナ商法民法ハ必要デナイ、臺灣人ハ寧ロ日本ノ商法民法ニ服從セシコトヲ今日希望シテ居ル、裁判所ニ於テモ臺灣ノ習慣ヲ採用シテ、判決セシメテ、成ルベク日本ノ民法商法ニ適シテ居ル判決ヲ致シテ居ルノデアリマス、裁判所ニ於テモ日本ノ慣習、日本ノ慣例、日本ノ法令ヲ以テ判決シ、臺灣ノ土人ハ日本ノ商法、日本ノ民法ノ施行サレルコトヲ希望シテ居ルニ拘ラス、臺灣ノ昔カラノ慣習ヲ採ッテ、日本ノ商法民法ニ違フ特別法令ヲ作ルコトハ、臺灣人ノ同化ヲ妨ゲル政治デアッテ、臺灣ノ統治上ニ於テ是ハ禍根ヲ貽スモノナリト云フコトヲ本員ハ斷ズルノデアリマス、斯ノ如ク如何ナル方面カラ見マシテモ、臺灣總督ニ委任立法ヲ今日ハ爲シテ置ク必要ハナインデアリマス、又臺灣ハ十何萬ノ内地人ガ這入ッテ居リマス、此委任立法ノ統治ハ内地人ニ及ンデ居リマス、此點カラ云ッテモ早ク臺灣ノ委任立法ノ權利ヲ取上ルノ必要ト思ヒマス、何レノ方面カラ觀察致シマシテモ、今日臺灣總督府ガ律令權ヲ發布スル力ヲ持ッテ居ルノハ、今迄持ッテ居ルツカラ、之ヲ議會ニ返上スルコトガ厭ヤアルト云フコトハ、私ハ出來ナイト思フ、其他理由ハ無イデアリマス、却テ今日デハ先程申シタヤウニ臺灣總督律令ノ今日ニ現存スル百二十餘件ト云フ律令ニ向ッテ吾等ガ適當ニ改廢ヲ爲スコソ吾等ノ職分デアルト云フコトヲ私ハ斷定シテ差支ナイト思フデアリマス、此點ニ付キマシテ私ノ說ニ反對アル意見ガアルナラバ、謹シテ政府ノ教ヲ受ケタイト思フ、ドウカ詳細ナル說明ヲ望ムノデアリマス、本案ハ彈劾案デモ何デモナイ、臺灣ノ統治ニ付テ吾等ハ臺灣統治ノ方針ヲ確立シタイト云フ誠意誠心カラ政府ニ質問シテ居ルノデアリマス、政府ガ此意ヲ諒承シナイデ、簡單ナ説明ヲ以テ本案ヲ通過サセヤウト云フコトハ、私ハ大ニ政府ノ態度ニ向ッテ非難セザルヲ得ナイデアリマス、ドウカ此點ニ向ッテ詳細ナル答辯ヲ求メルノデアリマス、第二點ハ臺灣ノ司法制度デアリマス、臺灣ノ司法制度ハ今日名ハ裁判官デアルケレドモ、其實行政官ガ裁判シテ居ル、行政官ノ性質ヲ帶ビテ居ルコトノ司法官ガ裁判シテ居ル、即チ律令ニ依ッテ臺灣法院條例ガ制定サレテ居リマシテ、臺灣ノ判官——裁判官ハ總督府ニ直屬シテ居ル、總督ガ指揮監督權ヲ持ッテ居ル、或ル場合ニハ裁判ニ干渉スルコトガ出來ル、即チ臺灣總督ニ直屬シテ居ル必要ナ時ニハ理由ガナクテモ、臺灣總督ハ判官ニ向ッテ休職ヲ命ズルコトガ出來ル、斯ル權利ヲ持ッテ居リマスカ、名ハ司法官デアルケレドモ獨立ノ保障ガナイデアル、臺灣總督ニ直屬シテ臺灣總

督ノ必要ナ場合ニ於テハ、何時デモ之ニ休職ヲ命ズルコトガ出來マスカ、是ハ行政官デアル其性質ヲ變更シ憲法ノ條章ヲ臺灣ニ行ハシメテ、獨立ノ保障アル憲法ヲ行ハシメテ、眞ノ獨立ノ司法官トシテ裁判所構成法ヲ臺灣ニ施行シテ、獨立ノ司法官ヲシテ臺灣ノ裁判ヲ司ラシメルト云フコトハ、今日ノ臺灣ノ狀態ニ於テ最モ必要ナリト本員ハ考ヘルノデアリマス、臺灣ニ於テ暴動事件陰謀事件等ガ屢起リマシテ、之ニ付テ内地人土人及外國人ノ疑獄ヲ招クト云フコトハ、一ニ臺灣總督ガ指揮命令權ヲ握ッテ居リ、臺灣總督ニ直屬シテ居ル、何時ニテモ休職ヲ命ジ得ル行政官ヲ以テ裁判シシムルカラ、内外人ノ疑獄ヲ招ク原因ニナッテ居ルト思ヒマス、今日臺灣ノ狀態ハ斯ル制度ヲ變更シテ日本ノ裁判所構成法ヲ直ニ施行シテ、獨立ノ司法官ヲ以テ裁判ヲ爲サシメルト云フコトガ、臺灣ヲ領有シテ二十有餘年、今日最モ適當ナ時機ト思ヒマス、之ニ對スル政府ノ所見果シテ如何、是ガ第二ノ質問デアリマス、第三ノ質問ハ臺灣ニ於キマシテハ、行政官吏ガ内地ノ人民及臺灣ノ土人ノ權利ヲ蹂躪致シマシテモ、行政權ヲ以テ蹂躪致シマシテモ、行政訴訟ヲ起スコトモ出來ナケレバ行政訴訟ヲ起スコトモ出來ナイデアリマス、臺灣ハ隨分間違ガアル、事實下ノ小役人ガ土地ノ處分ヲシ、強制賦課ヲ命ズルコトニ於テ隨分不法不當ナ處分ガ多イ、是ヲ訴ヘル所ガナイ、其爲メニ却テ臺灣ノ統治ヲ害シテ居ル、法律ノ威信ヲ損シテ居ル、失ッテ居ル、官ノ威嚴ヲ失ッテ居ル、是ガ日本内地ト同ジク租稅ニ付テ強制賦課ノコトアレ、土地ノ處分デアレ、日本ノ訴訟法、日本ノ行政訴訟法ガ其通り適用出來ナイシテモ——本員ハ其適用ヲ望シテ居リマス——適用ガ出來ナイシテモ、或ル制限ノ下ニ臺灣ニ住スル内地人、臺灣ノ土人ガ行政權ニ蹂躪サレ權利ヲ傷害サレタ時分ニ、行政訴訟ヲ訴願ヲ許スノ途ヲ開クガ今日臺灣ノ統治ヲスル上ニ於テ、最モ適當ナ道デアリカト思ヒマス、此點ニ對スル當局大臣ノ所見ハ如何デアリマス、其次ハ第四デアリマス、第四ハ臺灣ハ今日武官總督ヲ以テ統治シテ居ル、臺灣總督府ノ官制ニ依レバ、陸海軍ノ大將中將ヲナケレバ總督ニナル資格ハナイデアリマス、臺灣ヲ領有シタ後當時ハ是ハ武力ヲ以テ統治スル必要ガアリマシタ、臺灣ヲ領有シテ二十有餘年、一介ノ武官ヲ以テ今日統治サレテ居ルト云フコトハ、統治ノ方法宜シキヲ得ナイト本員ハ斷ズルノデアリマス、是ハ却テ文官ニシテ經綸ノアル抱負ノアル政治家ヲ以テ、即チ文官總督ヲ以テ今日ノ臺灣ヲ統治スルコトガ臺灣開發ノ上カラ云ッテモ、臺灣統治ノ上カラ云ッテモ、本員ハ最モ必要ナルコトナリト斷ズルノデアリマス、兒玉總督ノ如キ一介ノ武官ト雖モ一ノ政治家デアル、斯ル人ハ武官ニ餘リ無イ、兒玉總督ノ如キ者デアルナレバ宜シイ、故ニ本員ハ決シテ武官ヲ排斥スルノデアリマス、今日武官政治ニシテ文官ヲ排斥スルノ宜クナイ、文官ハ總督ニナルコトガ出來ル、武官トシテ政治家トシテ兒玉總督ノ如キ適當ノ人ガアレバ武官デモ宜シイ、私ハ武官ハ臺灣總督ニナルコトガ出來ヌト云フヤウニシヤウト云フコトナイ、今日ノ官制ヲ改正致シテ、日本臣民ナラバ文武對等武官デナケレバ臺灣總督ニ任官スルコトハ出來ナイト云フ此資格ヲ撤廢シテ、政治的眼孔ヲ有シ一大抱負ヲ有スル政治家ヲシテ臺灣ヲ統治サセルト云フコトガ、臺灣統治ノ上ニ最モ必要ナリト本員ハ信ズルノデアリマス(拍手起ル)之ニ對シテ政府ノ所見如何、此點ニ付テ言責問題トシテ尾崎君ニ聞キタイコトガアル、尾崎君ハ野ニ於テ此植民地ノ總督ハ武官ニ限ルト云フコトヲ非難サレタ人デアル、是ハ尾崎君ノ政治上ノ一ノ生命デアル、政治上ノ生命ト云ッテモ宜シイデアル、然ルニ内閣ニ入ッテ既ニ二年、尾崎君ガ内閣ニテ武官總督ハ非ナリ、是ハ文武對等ニシナケレバナラヌト云フコトヲ主張シタカ古ヤハ知リマセヌ、内閣ハ秘密ニ屬

シテ居ルカラ私ハ知リマセウガ、二年間香トシテ消息ガ無イ、何等之ニ改正ヲ企テラレタ
ト云フコトヲ聞カナイノデアリマス、尾崎君ハ如何ナル抱負ヲ持テ内閣大臣ニ爲ラレタ
デアルカ、尾崎君ノ言責ハ今日敵愾ノ如ク棄テラルノデアリカ、ヤハリ持テ居ルノデアリカ、
持テ居ルノナラバ斯ル重大ナル問題、尾崎君ノ生命トシテモ差支ナイ位ノ問題デアルカ
ラ、職ヲ賭シテモ此植民地ノ總督ハ文武對等ニシテ、武官總督ハ非ナリト云フ目的ヲ以
テ、臺灣總督其他ノ官制ヲ改正スルコトニ當ラレタカドウカ、之ヲ特ニ尾崎君ニ聽キタ
イノデアリ、其次ハ第五ニナリマスガ、第五ハ臺灣統治ノ方針デアリマス、臺灣ノ統治ナ
ルモノハ歐米各國ノ植民地ト違フト私ハ考ヘル、歐米各國ノ植民地ハ二万里モ數万
里モ隔テ居ルノデアリカ、日本ノ臺灣ハ最モ近イノデアリカ、而シテ英國ノ植民地ニ於ケル
統治ノ方針ハ加奈陀或ハ濠洲ニ對シテ自治制度ヲ許シテ、其國ニ限ッテ憲法モ有シ政
府モ有リ議會モ持ッテ居ルノデアリカ、此統治方針ヲ以テ臺灣ニ臨ムノデアリマス、
又英國ノ印度ニ對シテ特別ナル統治方針ヲ以テ臨ムノデアリマス、臺灣ヲ植
民地ト云フテハ却テ語弊ガアル、植民地デナリカモ知レナイ、本員ハ植民地デナリト思
フ即チ日本ノ領土ノ一トシテ臺灣ノ土人ヲ同化セシメテ、日本ノ忠良ナル臣民トシテ行
クノハ日本ノ内地府縣ノ如キ制度ヲ布クニ至ラデアラウト思フ、即チ臺灣領有ノ當
時ハ日本ノ憲法モ行ハレテ居ルノデアリカ、日本ノ憲法モ行ハレテ居ル、而シテ日本ノ
内地ト同ジク日本ノ領地ノ一トシテ居ルノデアリカ、是ハ歐米各國ノ植民地ノ
例ヲ援用シテ統治ノ方針ヲ議論スルハ當ラヌト思フ、一ニ同化同治ノ方針ヲ執ッテ、
臺灣土民ヲ忠良ナル臣民トシテ之ヲ指導スルコト云フコトガ、是ガ臺灣統治ノ方針デナ
カレバナラヌト本員ハ考ヘルノデアリマス、然ルニ同化ノ方針ヲ妨ゲテ居ルコトガアル、教
育ノコトガ第一デアリマスガ、教育ハ小學校カラ臺灣人ト内地人ト別ニシテ居ル、教
育モ一ニシナイ、義務教育モ今日行ハレテ居ラス、國語モ政府ハ普及スル方法ヲ執ッテ
居ルケレドモ普ク行ハレテ居ラス、此教育ノ方法モ内地人ト臺灣人ト別ノ振ヒヲシテ
居ル、即チ臺灣人ハ臺灣ノ中學ニ入ルコトガ出來ナイ、ウレデ臺灣人ガ寄付金ヲ出シテ
政府ノ許可ヲ得テ臺中ニ中學校ヲ拵ヘタ、即チ其中學校ハ臺灣人ノミ往ク中學校デ
アッテ、臺中人ハ之ニ臺灣人ハ中學校ト名ヲ付ケテ中學校モ別ニシテ居ルノデアリカ、斯ノ
如ク小學教育モ別ニシ、中學教育モ別ニシテ、是デ果シテ同化ノ目的ヲ達スルコトガ出
來ルカドウカ、之ヲ同ヒタイ、第二ハ臺灣人ノ同化ヲ圖ルニ付テハ、血族關係ヲ作ルコ
トガ最モ必要デアリカ、然ルニ日本ノ戸籍法ガ臺灣ニ行ハレテ居ラス、今日未ダ臺灣ト日
本内地ト共通ノ戸籍法ガ無イ、臺灣人ト日本人ト結婚シテモ公ニ之ヲ居出ルコトガ出
來ナイ、其子ハ私生兒デアリカ、日本人ハ外國人ト結婚ガ出來ル、然ルニ公然臺灣人
ト結婚ガ出來ナイ、是等ハ大ニ同化ヲ妨ゲル所ノモノデアリカ、故ニ日本内地ノ戸籍法ヲ
臺灣ニ施行スルカ、又ハ臺灣ト日本内地ト共通ナル戸籍法ヲ制定シテ、血族關係ヲ
公然作シテ、同化ノ方針ヲ示シテハドウデアリカ、之ニ對シテ政府ノ所見如何、第三ハ
先程申シタ通り、臺灣ニ特別法制ヲ制定シテ、民事令商事令ノ如キモノヲ施行スルコト云
フコトハ失當デアリト思フ、臺灣ノ土民ハ日本ノ法律習慣ニ服從スルコトヲ希望シテ居
ルノデアリカ、臺灣人ハ日本ノ法律ニ服從スルコト云フコトヲ言ッテ居ルノニ、特別ナル法律
ヲ拵ヘテ、而シテ同化ヲ妨ゲルコト云フコトハ、私ハ由ヤシキ大事デアリト思フ、之ニ對シテ
政府ノ所見如何、之ヲ要スルニ臺灣總督ハ立法權ヲ握リ司法權ヲ握リ、行政權ヲ掌
握シテ居ル、此立法權ヲ今日帝國議會ニ取上ゲテシマフ、司法權ハ獨立ノ裁判官ガ之
ヲ施行スル、行政權モ行政ノ非違ガアッタナラバ行政訴訟願等ヲ起シテ之ヲ匡救スル

方法ヲ執ラシムル、而シテ武官總督ヲ否認シテ文武對等ニスル、又臺灣ノ同化政策
ヲ妨ゲルコトニ向ッテハ、教育ヲ共通ニシ或ハ婚姻ヲ認メ或ハ特別法制ト云フモノヲ廢棄
シテ、臺灣ノ根本方針ヲ樹テルコトガ最モ必要ナリト私ハ考ヘルノデアリマス、ドウカ詳細
ニ吾人ノ満足スルヤウニ國務大臣ハ御説明アラントラ本員ハ希望スル、尾崎君ニ向ッ
テハ武官總督ノ言責問題、及今日裁判所構成法ヲ臺灣ニ施行スルコトニ付テ最モ適
當ナル時機ト本員ハ考ヘルガ、尾崎君ノ意見如何、此二點ヲ尾崎君ニ尋ネテ私ハ此質
問ヲ止メルノデアリマス（拍手起ル）

○議長（島田三郎君） 一本內務大臣

（內務大臣法學博士一本喜德郎君登壇）

○內務大臣（法學博士一本喜德郎君） 松田君ニ御答ヲ致シマスガ、第一ニ今日
ハ最早臺灣ニ於テ委任立法ノ必要ハ無イデハナイカト云フ御意見ノヤウデアリマスガ、
松田君ノ御セラル、如ク、委任立法ナルモノハ憲法上如何ナル關係ノモノデアリカト云フ
問題ハ、既ニ解決セラレテ居ルコト云フ御説デアリマス、私モ其通りニ考ヘテ居リマス、
レト同様ニ委任立法ノ必要デアルト云フコトモ亦既ニ解決シテ居ルノデハナイカト思フ
デアリマス、即チ明治四十四年ニ於キマシテハ、期限ヲ付ケズシテ此委任立法ヲ與ヘ
ウト云フ案ガ本院ヲ通過シテ居リマス、松田君モ其賛成者デアッタト記憶シテ居リマス（松
田源治君「ウレハ朝鮮デス」ト呼ブ）イヤ原案ハ其通りニナッテ居リマス、貴族院ニ於テ修
正ヲ加ヘテ期限ヲ附ケルコトニナッテデアリマス（松田源治君「ウレハ其時ノコトダ」ト呼
ビ笑聲起ル）ウレデ今日ノ場合ハ本年迄ハ委任立法ガ必要ニシテ、來年以後ハ委任立
法ガ必要ナイト云フ際デス、變化ガ此間ニアルヤ否云フ問題デアリト思フノデアリマ
ス、政府ノ見ル所ヲ以テシマスレバ、本年迄必要アルガ如ク、來年以降ニ於テモ將來少ク
トモ五年ノ間ハ此必要ガアルト認メテ居ルノデアリマス（「明瞭」ト呼フ者アリ）ウレカラ其
委任立法ノ必要ノナイ理由トシテ、是迄ヤハリ百有餘ノ律令ガ出テ居ルカラ、之ヲ以テ
足レリトスルノデアリト云フ御意見ガアツタヤウデアリマスガ、斯ノ如ク特別ノ立法ガ出
來テ居ルカラ、必要ガナイト云フコトハ、即チ將來斯ノ如キ特別ノ制度ノ改廢ヲ要スル
場合ニモ、ヤハリ從來ノ如ク特別ナル方法ニ依ルカ方適當デアリト云フコトヲ意味スル
モノデアラウト思ヒマス、他ニ新ナル律令ヲ制定スルノ必要ノアルコトハ勿論デアリマス
ガ、其事ハ暫ク別ニ致シマス、臺灣ニ要スルコト、特別ノ制度ヲ改廢スルノニハ、
少クモヤハリ從來同ジ方法ニ依ルカ方適當デアリト云フコトニナルト思ヒマス、ウレ
故ニ松田君ガ今日ニ於テ委任立法ノ必要ナイト云フ理由トシテ御述ベニナッタコト
ハ、私ハ十分了解ガ出來ナイ、成程臺灣領有以來二十有餘年ヲ經過致シテ居リマ
スガ、二十年ノ歲月ハ一個人ニ取ッテハ長イノデアリマスガ、二百萬ノ異人種ヲ包含シ
テ居ル臺灣ヲ我が領土ニスルニ付テハ、決シテ長イ年限デナイ、將來尙我國ハ新ナル
領土ヲ如何ニシテ國ニ増加セシメテ行クカト云フ此大問題ヲ決シテ行カレバナラヌ、
是ハ獨リ臺灣ニ關スルコトノミデアリマス、朝鮮モ然リ、又將來我國ガ如何ナル方
面ニ國力ヲ伸シテ行クカト云フコトモ分ラス、此大問題ヲ決スルニ付テハ決シテ二十
年ノ歲月ハサウ長イ歲月デナイト思ヒマス、要スルニ本年ノ終迄ハ委任立法ガ必要ト
シテ、其後ハ必要ガナイト云フコトハ私ニ於テハ認メルコトガ出來ヌノデアリマス、次ニ司
法制度ニ付テハ御尋ガアリマシタガ、臺灣ノ司法制度素ヨリ今後改良發達ヲシテ行カ
カレバナラヌト云フコトハ申シ迄モアリマセウ、併シ臺灣ニ於テ權力ヲ集中シテ、一面ニ於
テハ行政ヲ施スト共ニ、一面ニ於テハ強イ權力ヲ以テ臨ムナケレバナラヌト云フコトモ、
是亦松田君ハ御認メニナッテ居ルト思ヒマス、而シテ又斯ノ如ク内地ト制度ヲ異ニシテ居
ル理由ノ一ツハ其處ニ在ルト思ヒマス、ウレ故ニ此司法制度ヲ改良致スト云フコトハ素

ヨリ常ニ政究致サナケレハナラヌケレドモ、直ニ内地ノ裁判所構成法ヲ之ニ行テ宜イカ
否カト云フコトハ、大ニ考慮ヲ要スル問題ナル、今日ニ於キマシテ私ハ直ニ然リト云フ
コトハ決シテ御答ガ出来ナイ、寧ロ司法制度ノ改良ヲ圖ルノ他ノ方法ニ依ラナケレバ
ナラヌト思フ居ル、ソレカラ訴願及行政訴訟ノコトニ付テノ御質問モアリマシタガ、是亦
前ニ申シマスル如ク總督ノ權力ヲ強クシ、サウシテ統治上十分威信ヲ立テ、行カナケレ
ハナラヌト云フ必要カラ考ヘマス、強ク個人ノ權利ト云フコトノミニ重キヲ措ク譯ニ參
ラス、行政訴訟行政訴訟ノ途ヲ開クガ如キハ、一ノ利益ハアリマスケレドモ、又他ノ方面ニ
於テ統治上隨分有害ナル結果ガ無イトモ限ラヌ、是ハ熟慮ヲ要スル問題デアリマシテ、
輕々ニ然リト御答申スコトハ出来ナイデアリマス、ソレカラ第四ノ問題ハ……

○松田源治君 武官總督ノコトデス

○内務大臣(法學博士一木喜徳郎君) 此武官總督ノコトデアリマスガ、是ハ隨分前
カラ議論ノアルコトデアリマス、此點ニ付キマシテハ前ノ經驗ヲモ御話申シテ見ナケ
レハナラヌト思ヒマス、朝鮮ニ於キマシテ會テ此行政ノ方ト武官ノ方トガ相對立シテ居
タ時ガアリマス、此時ニハ國家ノ權力ノ働キガ統一ヲ缺イテ、極メテ國家ニ對シテ不利
益ナル結果ヲ生ジタヤウナ狀況ヲ認メタデアリマス、ソレデ又文武ノ權ヲ統一スルコト云フ
トハ、新ナル領土等ニ臨ム場合ニ於テハ往々必要ナルコトデアリ、而シテ此守備隊ヲ
總括ヲ致シテ、サウシテ文武ノ權ヲ兼テ行クト云フコトニ付テハ、統率權ノ關係上武
官ニアラサレバ之ニ當ラシムルノ不適當デアリト云フコトガ現行法ノ趣旨デアリト思ヒマ
ス、併ナガラ此點ハ大ニ政究ヲ要スルコトデアリ、政究ヲ要スルコトデアリケレドモ、ソレニ
付テハ其文武ノ兩權ヲ如何ナル關係ニ立タシムルカト云フコトヲ十分ニ考慮シナケレハ
ラス、ソレ故ニ此文官ヲ以テ總督トスルコト云フコトハ、成程松田君ノ御説ノ如キ利益モ
アリマスケレドモ、之ヲ改メニ付キマシテハ餘程慎重ナル政究ヲ致サナケレハナラヌデア
リマス、今日迄左様ナ議ガ行ハレテ居リマセヌト云フノハ、畢竟斯ノ如キ重大ナル問題
アルガ爲メデアリマス、ソレカラ……

○松田源治君 統治ノ方針デス

○内務大臣(法學博士一木喜徳郎君) 統治ノ方針ニ付キマシテハ、是ハ極メテ重
大ナル問題デアリマシテ、獨リ臺灣ニ就テノミ申スコトデアリマセヌ、ソレデ歐羅巴諸國
ニ於キマシテモ成ベク同化セシメテ、本國ト同シヤウニ統治シタイト云フコトハ、一般ニ希
望スル所デアリト思ヒマス、併ナガラ新ナル領土ノ種々様々ナ事情ガアルモノデアリマシテ、
必ズシモ之ヲ内地ト同シ方針ヲ以テ統治スルコトガ出来ナイ、ソレ故ニ特別ノ立法機關
マデヲモ設ケルト云フヤウナコトニナツテ居ルノデ、目的トスル所ハ終局統一スルコト云フコト
ニナルニ相違ナイケレドモ、其統一ニ至ルマデノ道行ニ於テハ、其地方ノ狀況ニ依ツテ特
別ノ制度ヲ布イテ行クト云フコトハ是レ已ムヲ得ナイコトデアリ、ソレデ先刻御話ニナリマ
シタ教育ノ如キコトデモ、内地人ノ兒童ト同シ學校ニ入レテ教育スルコトハ、事實不可
能デアリ、即チ第一ニ言語ガ違フ、臺灣ノ兒童ニ對シテハ先ツ言葉ノ教育ヲシテ行カナ
ケレハナラヌ、言葉ノ教育ニ多クノ力ヲ要スル、ソレト同シヤウナ教育ヲ内地人ノ兒童
ニ施シタナラバ、内地人ノ兒童ニ取ツテハ非常ニ迷惑ナコトデアリマス、ソレ故ニ兒童ノ
教育ノ如キデモ同ジニ致シタイコトハ山ニテアルケレドモ、事實之ヲ同ジニスル譯ニイカ
ナ、故ニ別ニ教育スルケレドモ成ルベク、同化セシムル目的ヲ以テ教育シテ行ク、斯様ナ
方法ヲ執ル外ハナイト思ヒマス、ソレカラ又婚姻ノコトデアリマス、ソレハ至極御尤ナ御
意見ト思フ、成程成ベク血族關係ニ依リテ同化シテ行クト云フコトハ是ハ同化ノ一ノ
方法デアリ、唯今御話ノ如クニ戶籍法ノ如キモ何等カ定ムル必要ガアル、是亦委任立

法ノ必要ナル一ツノ理由ニナリマス、此事ハ目下研究中デアリマス、何トカ適當ナ
方法ヲ設ケタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ此民事令商事令ノコトデアリマスガ、是ハ唯
今審議中デアリマス、此内容ノ如何ニスルカト云フコトハ今日申上兼ネマス、詳細
ノコトハ委員會ニ於テ申述ベヤウト思ヒマスガ、要スルニ同ジニシテ差支ナイコトハ同ジニ
シテ宜シ、但シ民事ノ關係ニ於テハ全部之ヲ同ジニスルコトハ到底出来ナイ、或ル範
圍ニ於テハ特別ノ制度ヲ定ムルコトガ必要デアリト考ヘマス、其詳細ハ委員會ニ於テ、
私ナリ政府委員ナリカラ精シク申上ゲヤウト思ヒマス

○松田源治君 一木内務大臣ニ向ツテ質問ガアリマス、一木内務大臣ハ大臣ニ

ナラレテ以テ詔辯ヲ弄スルコトガ大變上手デアリマス、私ノ問ハント欲スル所ハ期限ヲ附
ケテ答ヘハ協賛シタ、又期限ガ附ケテ答ヘナクテモ宜シ、朝鮮ノ如ク期限ガナクテモ宜シ、
永久ニ與ヘタノデナイ、何時デモ必要無クナレバ却テ期限ヲ附ケタヨリモ容易ニ之ヲ取
上ケラレル、是非大正五年十二月何日迄ハ必要デアタカラ十一月迄ト云フ期限ヲ
切ツテアルノデアリマス、永久ニ與ヘル必要ガアレバ永久ニ與ヘル法案ヲ出ス、期限ガ無
イト雖モ立法ノ常道ニ復ルコトハ憲法ノ原則デアリコトハ一木君モ異議ハナイト思フ、之
ヲ立法權ヲ有スルコトノ帝國議會ニ取上ゲテ差支ナイ、私ノ質問ニ答ヘテ居ナイ、學
者トシテハ尊敬シテ居ルガ、大臣ニナツテ以來變説改論、乃本問題ト云フコトニ付テ
モ「アナタガ協賛シテ居ルハ何デアルカ、些ト御慎重ニサ、吾々ハ期限ヲ切ツテ協賛
シテ居ル、縱令期限ヲ切ラナクテモ與ヘタル必要ガ無クナレバ憲法ノ條項ニ復ルコト
ハ、吾々ノ此衆議院貴族院臺灣ニ向ツテ特別ナル立法ヲ要スルコト云フコトハ、其立法ヲ
爲スコロノ智識ガナイト云フデアリマス、特別ナル立法ヲ——限地的ノ特別ナル立
法ヲ要スルナラバ帝國議會ニ於テ立法スレバ宜シ、此點ニ對スル一木内務大臣ノ答
辯ハナイト思フ、又今日ハ以前トハ違フテ百何十餘件ト云フコトノ律令ガアツテ、臺灣
ハ特別ニ統治スルコトガ備ハツテ居ル、寧ロ帝國議會ニ臺灣總督ノ有テ居ルトコロノ律
令權ヲ取上ゲ、其律令ノ善惡ヲ見テ適當ニ適當ヲ見テ改廢スル時代ニ達シテ居ルト
云フコトヲ本員ハ言フ、此點ニ向ツテモ説明ハ無イデアリ、唯私ノ言葉ノ末ヲ捉ヘテ、
國務大臣ノ爲スベカラザル屬官的ノ答辯ヲシ、官僚的ノ答辯ヲ致シテ居ルコトハ何事デ
アルカ、即チ官僚的ニ臺灣ヲ統治シテ居ル、之ヲ國民的ニ吾々ガ統治シタイト云フノガ
質問ノ趣意デアリマス、帝國議會ニ取上ゲテ、帝國議會ノ吾々ノ是ダケノ人間ガ臺灣
ノ異ナルトコロノ立法ヲ爲スコト云フコトガ、政府ガ爲シ總督ガ爲スヨリモ尚以上ノ適當ナ
ル立法ガ出来ルト云フコトヲ本員ハ斷言スルデアリ、之ニ向ツテ答辯ヲ致サズ、吾々ノ
言葉ノ末ヲ捉ヘテ松田君ガ協賛シテ居ル、期限ハ貴族院ニ於テ制限シテアル、是ハ堂々
タル國務大臣ノ議論デハナカラウト思フ、此帝國議會ニ於テ臺灣ノ特別立法ヲ爲ス能
力ガ無イト云フコトヲ言フノデアリカ、又臨時緊急ノ場合ニ於テハ憲法八條ニ依ツテ緊
急命令ヲ發布スルコトガ出来ルデハナイカ、近來數年出シタ律令ニ於テ、臨時緊急ノ場
合ニ刺戟ヲ經ナイトコロノ第三條ノ律令ヲ出シタコトハ極ク少ナイト思フ、臺灣ノ統治
ハ總督カラ律令權ヲ取上ゲテシマツテモ、優ニ臺灣ヲ統治スルコトハ差支ナイト今日時
機ニ達シテ居ル、今マデハ時機ニ達シテ居ナイケレドモ、此大正五年ノ吾々ガ協賛シタ
期限ガ盡キルト同時ニ、臺灣ハ立法權ヲ帝國議會ニ取上ゲテ差支ナイ、此點ニ向ツテ
明瞭ナル答辯アランコトヲ望ムデアリマス

○議長(島田三郎君) 一木内務大臣

○内務大臣(法學博士一木喜徳郎君) 一木内務大臣
(内務大臣法學博士一木喜徳郎君登壇)
私ハ決シテ松田君ノ言葉尻ヲ取ツテ彼是申

スノアハナイノデアリマス、ツマリ從來臺灣ノ特別立法或ハ委任立法ヲ必要ナリトシタノハ、此帝國議會ニ立法ノ能力ガナイト云フヤウニ趣旨デハナカラウ、新ナル領土ヲ統治スルノニハ如何ナル方法ニ依テ立法ヲシタラバ、其土地ノ事情ニ最モ適切ナル法ヲ得ラレルデアラウト云フ考カラ起ツタモノデアラウト思フ、今日政府ノ見ル所モ亦其通り其見地カラヤハリ從來ノ通り、今後モ之ヲ存続スルガ必要ナリ、其方ガ適當ナリト斯ウ考ヘテ居ル譯デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○議長(島田三郎君) 森田小六郎君

(松田源治君ノ答辯ハドウデスカト呼フ)

○森田小六郎君 此法律ハ明治二十九年第六十三號ト言ハレテ居ル頃カラ、此法律ヲ續行スルノハ憲法上甚ダ面白クナイ、非常ニヤカマシイ議論ガアリマシテ、政府モ之ニ氣付カレタカ早ク此問題ヲ打切りタイト云フノデ、此處ニ舊慣調査會ト云フモノヲ設ケラレタト云フコトヲ記憶致シテ居リマス、此舊慣調査會ナルモノハ、臺灣ニ於テ現ニ行ハレテ居ルトコロノ風俗習慣ヲ取調ベルタメデアリマス、無論是ハ臺灣ノ特別限地的立法ヲ指ヘテ、議會ノ協賛ヲ得ルト云フタメノ豫備行為デアルト本員ハ承知致シテ居リマスガ、此舊慣調査會ノタメニハ數多ノ專門家ガ臺灣ニ渡ラレテ、非常ナル時間ト勞力トヲ費サレテ居ルデアリマス、其後此舊慣調査會ナルモノノ事業ニ就テ、杳トシテ其消息ヲ聞キマセヌ、其成行ハ如何ニナリマシタカト云フコトヲ第一問トシテ御尋スルデアリマス、第二ハ此三十九年法律第三十一號ハ、六三二呼バレテ居ル當時ヨリ初メハ三二年、ツレカラ又三年、後ニ五年、又シテモ五年、今回又々五年繼續スルト云フ案ナノデゴザイマス、政府ハ大正十年十二月三十一日マデ之ヲ續行シテ行カレテ、果シテ臺灣ヲ内地同様に同化スル見込ガ付キテノ上ニ此案ヲ出サレタノデアリマス、從來ノ經過ヨリスレバ恐クハ大正十年十二月三十一日ノ期限ノ切レル前ニ於テ、又五箇年若クハ十箇年ノ繼續案ヲ出サレルトデアラウト想像スルデアリマス、若シ五年ノ間ニ於テ其短時日ノ間ニ於テ、臺灣ヲ内地同様に同化スルコトガ出來スト云フ御考ガ若シ有ツタトスルナラバ、何故ニ之ヲ無期限ヲ以テ出サレナイノデアリマス、現ニ賢明ナル吾々ノ最モ尊敬スルトコロノ政友會ノ總裁デアル原敬君ハ、明治三十九年ニ無期限ヲ以テ此繼續案ヲ出サレタノデアリマス、私ハ原君ノ御考ヲ想像スレバ、臺灣ハナカノ十年ニ二十年ノ短時日ヲ以テ之ヲ同化シ得ラレルモノデナイ、現ニ今一木內務大臣ノ言ハレタ通り、吾々個人ニ取リテハ二十年ト云フノハ非常ナ長期デアルケレドモ、三百萬ノ異人種ヲ包容シテ居ルトコロノ臺灣ニ向ツテ、二十年ト云フノハ短期日デアル、ツレ程ノ御考ガアルナラバ何故ニ之ヲ無期限ヲ出サレナイノデアリマセウカ、現ニ朝鮮ニ於テハ朝鮮總督ニ極メテ廣大ナル律令制定權ヲ、無期限ヲ以テ之ヲ委任シテ居ル、彼ニ無期限ニシテ之ニ有期限デアル、是ハ何故デアルカ、之ヲ第二トシテ伺ヒタイノデアリマス

○議長(島田三郎君) 一木內務大臣

(內務大臣法學博士一木喜德郎君登壇)

○內務大臣(法學博士一木喜德郎君) 森田君ニ御答ヲ申上ゲマスルガ、第一點ハ舊慣調査會ノ經過ノコトデアリマス、舊慣調査會ハ唯今御述べニナリマシタ如ク數多ノ學者ガ之ニ力ヲ盡シマシテ、浩翰ナル報告書モ出來テ居リマス、此材料ハ此調査ニ依ッテ大ニ集マリマシタノデアリマス、此材料ニ基キテ是ヨリ先キ立法シテ參ラナケレバナラスト云フ時機ニナツテ居リマス、ツレカラ此度ノ提案ニ期限ヲ付シタハ何故デアルカト云フ御尋デアリマシタガ、是ハ先程申述ベマシタ如ク、又森田君モ唯今御述べニナリマシタ如ク、此前政府ヨリ提案致シマシタ際ニハ無期限デアリマシタケレドモ、貴族院ノ

修正ニ依ッテ期限ヲ付ケルコトニナリマシタ、其意ハ蓋シ斯ノ如キ特別ノ立法ハ新領土ニ對シテハ必要デアルケレドモ、併シ立法ノ進歩ハ常ニ之ヲ努メナケレバナラヌ、ツレハ五年ノ期限ノ間ニハ十分研究シタラ宜シカラウト云フ趣旨デアッタラウカト想像致スノデアリマス、ツレデ今日ニ於キマシテ五年繼續タラバ、特別ノ制度ノ必要ガ止ムデラウト云フコトハ決シテ想像シテ居リマセヌ、併ナガラ少ナクモ立法ノ進歩ヲ努メルト云フコトハ素ヨリ申スマデモナイコトデアリマス、此期間ニ於キマシテ十分研究ヲ積ミマシテ、若シ是ヨリモ尙一層適當ナル特別制度ガアリマスレバ、ツレニ依ッテ更ニ案ヲ立テ、御協賛ヲ其時機ニ至ッテ仰グコトモアラウカト思フノデアリマス、免ニ角立法ノ進歩ノコトニ付キマシテハ十分努力致ス考デアリマス

(松田源治君ノ後段ノ説明ヲ求メマスト呼フ)

(廣岡宇一郎君ノ質問ヲ質問致シタイト呼フ)

(此時議長々々ト呼ビ發言ヲ求ムル者多シ)

○議長(島田三郎君) 尾崎司法大臣

(司法大臣尾崎行雄君登壇)

○司法大臣(尾崎行雄君) 松田君ノ御質問ニ答ヘマスルガ、文武對等ト云フ主義ハ今日モ尙持ツテ居リマス、但シツレバ如何ナル程度及如何ナル方法ヲ以テ施行スルカト云フコトハ、是ハ御答ヲスル必要ガナイノミナラヌ、元來御問ヒタルベキ答ノモノデハナイノデアル、適當ノ時機ニ於テ適當ノ方法ヲ以テ、常ニ我主義ヲ貫クコトニ努メテ居リマス、併ナガラ今日ハマダツレガ實行セラズニ居ルト云フコトハ遺憾ニ堪ヘマセウケレドモ、是ハ仕方ガナイノデアッデ、世ノ中ハ往々斯ノ如キモノデアリマス(議長々々「裁判所構成法ハドウシタ」ト呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 通告ガアリマス——前川虎造君

(前川虎造君登壇)

○前川虎造君 前ハ松田君ト略、同一ノ質問ヲ致シタイノデアリマス、是ハ重複ニ涉リマス、カラ今ノ答辯ヲ聽置クコトニ致シテ置キマセウ、私ガ此處デ主トシテ當局大臣ニ御説明ヲ請ヒタイノハ、第一ニ大隈總理大臣ガ此案ヲ議會ニ御提出ニナルノニ、奏請ヲ經テ御裁可ヲ得テ之ヲ提出ニナツタト云フコトニナツテ居ル、無論サウアルベキ答デアリマセウ、所ガ大隈總理大臣ガ此案ニ御署名ニナルベキ譯合ノモノデハナイ、又此内閣カラ斯様ナ案ガ現ハレテ出テ來ルトハ吾々ガ寸毫モ豫期シテ居ラヌノデアリマス、ナゼ豫期シテ居ラナカッタト云フト、イロノ、此延期毎ニ議論ガアリマシタガ、一番烈シカッタノハ三十九年ノ延期ノ當時デアリマス、三十九年ノ延期ノ當時ニ大隈伯爵ガ率ヒラレテ居ルトコロノ當時ノ進歩黨、是ガ黨議ヲ以テ此六三問題ノ延期ニ反對ヲ致シタノデアリマス、其結果ト致シマシテ今日ノ文部大臣ヲサレテ居ルトコロノ高田君ハ、其當時議席ニ居ラレマシテ、進歩黨ヲ代表シテ詳細ニ此反對演說ヲサレタノデアリマス、サウシテ其反對ノ演說ハドウ云フ趣意デアッタカト云フト、今松田君ノ質問ヲサレタヤウナ趣意デアッタノデアリマス、サウシテ臺灣ノ事情ハドウナツテ居ルカト云フト、毎年々々幾分ツカ内地同様ニ變化シ來ツテ居ルノデアリマス、三十九年ニ既ニ此法案ガ不必要ナリト唱ヘラレタトコロノ内閣、而モ其内閣ニハドウ云フ人達ガ列セラレテ居ルカト云フト、一木君ハ誠ニ御便利ナル地位ニ立タレテ居ッテ、幸ニ內務大臣デアアルガ故ニ、茲ニ御演說ニナツテモ御願著アリマスマイケレドモ、大隈首相ヲ初メツレカラ武富君、ツレカラ茲ニ居ラル、トコロノ遞信大臣、此等ノ人達、河野君、及皆此内閣員ノ過半数ハ當時進歩黨ニ籍ヲ有セラレテ、頗ル此案ノ延期ノ不必要ナルコトヲ唱ヘラレタ人達ハカリデアリマス

(「ヒヤ」)「拍手スル者アリ」ツレガ今日ニ至テ此委任立法ノ必要ガアルト云フコトヲ茲ニ御述ベニナッテ、サウシテ此延期案ヲ提出サレト云フコトハ私ハ甚ダ奇怪ニ思フノデア
ル、一體今日ノ大臣ハ變説改論ト云フコトハ何トモ思召ニナッテ居ラヌカモ知レナイ、ケ
レドモ是ノ如キニ至ッテハ、既ニ臺灣ト云フモノハ其後ニ千万圓モ掛ケテ、土匪討伐ヲ
ヤツテイロノノ進歩ヲ見テ居ルノデアアル、サウシテ内地ノ商工業者ガ入リ込シテ頻ニ事
業ヲ起シテ居ル、一日々々臺灣ノ進歩ト云フモノハ加ッテ來テ居ル今日デアッテ、二十九
年デスラ必要ノナイト云フ案ヲ此内閣ガ茲ニ提出サレト云フコトニ付テハ、私ハ大隈首
相ヲ初メ此閣員トシテ列セラレテ居ル當時反對ヲ唱ヘラレタ大臣ハ、如何ナル理由ヲ今
日得テ之ヲ必要トスルノデアアルカ、十分ニ御説明ニ相成ルノハ即チ政治上ノ德義アル
ト私ハ思フノデアアルカ、唯無關係ナ大臣カラ——關係ノ無カッタコトコロノ一木内務大
臣ガ、茲ニ起ッテ酒平々々トシテ必要ヲ説カレトコロデ、吾ハ之ニ感服致サヌノデア
ル、ドウカ二十九年ニ論セラレタコトコロノ必要論ト、今日之ヲ必要トスル議論トノ間ニ如何
ナル差違ガアルカト云フコトヲ、總理大臣ガ居ラナケレバ致方ガアリマセヌガ、幸ニ此處ニ
遞信大臣ガ居ラル、カラ箕浦勝人君カラデモ宜イ、當時ノ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス、之ヲ
承ラナケレバ吾ハ贊成ヲシテモ宜イケレドモ、一木君ノヤウニ言ハレタコトコロノ議論ハ、丁度二十九
年ニモ政府ガ述ベラレタ、ツレニ向ッテハ猛烈ニ反對ヲサレタ、甚ダシキハ高田文部大臣
ナドハ、此演壇ニ立ッテ之ニ反對サレタノデアアル、ツレガ閣員ニナッテ左様ナコトニナルハ
ドウ云フ譯デアアルカ、御説明ヲ聽カナケレバナラヌノデアアル、ツレダケノコトヲ箕浦遞信大
臣カラ承リタイ

(拍手起ル)

(遞信大臣箕浦勝人君登壇)

○遞信大臣(箕浦勝人君) 本案提出ノ必要ナルコトハ内務大臣ヨリ説明サレタ通り
デアリマシテ、今日ノ事情必要デアルト云フコトヲ吾ハ認メタ譯デアリマス、今日此臺
灣ニ對スル一箇ノ考トシテハイロノアルデアリマス、併ナガラ今日ノ事情之ヲ必要ト
スルト云フコトヲ認メテ提出サレタヤウナ譯デアリマス(笑聲起ル)司法大臣ノ答辯ヲ望
ミマス(ト呼フ者アリ)

(司法大臣尾崎行雄君登壇)

○司法大臣(尾崎行雄君) 司法權ノコトニ付テハ内務大臣ヨリ一通リ答辯セラレタ
タメニ、本員ハ御答シナカッタデアリマス、尙御問デアレバ御答シマスガ、今日直ニ裁判
所構成法ヲ實施スルト云フコトハ、廟議未ダ決定致シテ居ラヌデアリマス、但私一人
若クハ司法省ノ意見トシテハアリマスケレドモ、ツレハ廟議決定ノ以前ニ於テ茲ニ述ベ
キ筋ノモノデアリマセヌ

(「ヒヤ」)「ト呼フ者アリ」

○議長(島田三郎君) 日程第二、右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト
致シマス——通告ハ既ニ濟ミマシタ

○廣岡宇一郎君 先キカラ發言ヲ求メテ居ルニ何ダ、發言ヲ許サヌノハドウ云フ譯デ
スカ

○議長(島田三郎君) 廣岡君ハドウ云フ發言デスカ——強テ求メラル、ナラバ許サヌ
トモ許ストモ是カラ決シテ宜シイ

○福田又一君 既ニ委員ノ選舉ガ議題トナッテ居リマス

○議長(島田三郎君) 廣岡君ドウ云フ發言デスカ

○廣岡宇一郎君 質問デス
○議長(島田三郎君) 質問ナラバ今宣告致シタ通りニシテ、又質問スル機會ガアルト
思ヒマス
○廣岡宇一郎君 何ノ機會デス、私ハ此機會ヲ適當ナル機會ト思ッテ居リマス
○議長(島田三郎君) マダ質問ノ機會ガ是デ終ッテ譯デアリマセヌ、委員會ニ移リ
尙讀書モアリマス

(「議長々々」議長許シ給ヘ拒ム必要ハナイデハナイカ)「ト呼フ者アリ議場騒然」

○福田又一君 本案ヲ議長指名十八名ノ委員ニ付託シ審議セシメラレムコトヲ望ミ
マス

○議長(島田三郎君) 暫ク御待チナサイ、議長ハ次ノ日程ニ移ッタデアリマス、然ル
ニマダツレハ決シテ居ラヌデアリマス、今廣岡君カラ質問ガアルト云フコトデアリマシタガ、
議長ハ機會ガアルト申シタデアリマス、併ナガラ決シテ其質問ヲ遮ルノデアリマセヌカ
ラ、暫ク——日程第二ニ入ルコトヲ見合セテ、ツレダケノ質問ヲ許シマス——廣岡君

○廣岡宇一郎君 私ハ簡單ニ御尋シタイデスガ、第一ハ一木内務大臣ニ伺ヒタイ、先
刻御述ベニナッテ所ニ依ルト、臺灣ニ於ケル民事令並ニ商事令ハ目下調査中デアルト
云フコトデアリマス、既ニ調査中ナリトスレバ調査ノ結果臺灣ニ特別ナル民事令及ビ商
事令ヲ施行スルノ政府ハ意思デアアルカナイカ、本員ノ信ズル所ニ依レバ殖民地ノ法制ニ
關スル目的ハ、成ルベク之ヲ統一スルノ最後ノ目的デアルト思フ、乃チ此母子國間ニ
於ケル法律ノ共通ハ、殖民地ノ目的デアルト思フデアリマスガ、既ニ今日マデ此方針デ
來テ居ルノデアラウト思フノ、故ラニ臺灣ニ於テ民事令商事令ヲ設ケテ、母國トノ間ニ
特別ナル法律ヲ施行スルコトニ、今日以後即チ二十年ヲ經タル以後ニ於テ、尙特別法
令ヲ設ケント欲スル殖民地ニ於ケル法制ニ付テ、政府ハ如何ナル方針意見ヲ持ッテ居ル
カ、法制統治ノ目的ヲ有シテ居ルカ、若シ母子國間ニ法律ノ共通ト云フモノガ眼中ニ
無ク、母子國間ノ法律ヲ益々今日以後ニ於テ相離隔セシムルノ方針デアアルカ、如何ナル
方針ノ下ニ於テ新ニ民事令商事令ヲ設クルノデアアルカ、殖民地ニ於ケル法制ノ根本ノ
目的ヲ伺ヒタイ、第二ハ裁判所構成法及辯護士法ヲ臺灣ニ施行スル件、並ニ行政
訴訟訴訟願ニ關スル法律ヲ臺灣ニ施行スル法案ニ付テハ、嚮ニ三十一議會ニ於テ此案
ハ提出サレタ當時ニ於テ、司法大臣並ニ時ノ政府委員ハ此案ニ對シテ同意ノ意見
ヲ十分ニ表明致サレテ居ルノデアアル、然ルニ今日ニ於テ尾崎君ガ此席ニ於テ司法大臣
トシテ、並ニ司法省ノ意見トシテ、茲ニ發表スル能ハスト云フノハ司法省ノ以前ノ主
方針ガ變タラデアアルカ、ドウカ、是亦例ノ變説改論ニ基クモノデアアルカ、ヤハリ以前ノ主
義ヲ執ッテ贊成ハシテ居ルケレドモ、閣議ヲ經ネバ明言出來ナイト云フノデアアルカ、司法
省ノ意見トシテハ以前ト變ラヌト云フ意見デアアルカ、之ヲ明カニ承ッテ置キタイト思フ

(内務大臣尾崎行雄君登壇)
○内務大臣(尾崎行雄君) 第一ノ御問ニ對シマシテハ、先刻確カ松田
君ニ對シテ御答ヲ申シタ思ヒマス、此内地ト同一ノ立法ヲ爲シ得ルヤ否ヤト云フコト
ハ事柄ニ依テ違ヒマスガ、民事商事ノ關係ニ付キマシテハ、共通ニシ得ベキ事ハ成ルベク
共通ニ致シタイト思ヒマス、サリナガラ其如何ナル部分ガ共通ニシ得ルヤ、又如何ナル部
分ガ特別ニシナケレバナラヌカト云フコトハ、慎重調査ヲ要シマス、唯今此案ハ調査中デ
アリマスカラ、其内容ハ今日申上兼ネルノデアリマス

(司法大臣尾崎行雄君登壇)
○司法大臣(尾崎行雄君) 三十一議會ニ於テ其當時ノ議院ニアッタ意見、若クハ

法律案ニ全部同意シタト云フコトハ何カノ御間違デアラウト思ヒマス、司法省トシテハ一定ノ意見ガアリ、其意見ハ今モ尙論ヲスト思ヒマスケレドモ、其意見タルヤアナタガ今此處テ述ベラル、通リノ意見デアルヤ否ヤト云フコトハ、疑ヲ存シテ置カナケレバナリマセヌ

○議長(島田三郎君) 日程第二、右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉、之ヲ議題ト致シマス

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○福田又一君 議長指名十八名ノ特別委員ニ付託シ審査セラレンコトヲ望ミマス

(「異議ナシ」聲起ル)

○議長(島田三郎君) 「福田君ノ議ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」聲起ル)

○議長(島田三郎君) 御異議ガ無ケレバ議長指名十八名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマス、日程第三、簡易生命保險法案第一讀會ヲ開キマス

第三 簡易生命保險法案(政府提出)

第一讀會

簡易生命保險法案

簡易生命保險法

第一條 簡易生命保險ハ政府之ヲ管掌ス

第二條 簡易生命保險事業ハ保險會社之ヲ營ムコトヲ得ス

第三條 簡易生命保險ニ於テハ政府カ保險契約者又ハ第三者ノ生死ニ關シ

保險金額ヲ支拂フヘキコトヲ約シ保險契約者カ對價トシテ政府ニ保險料

ヲ支拂フヘキコトヲ約スルモノトス

簡易生命保險ノ種類、被保險者ノ年齡、保險料及被保險者ノ爲ニ積立ツヘ

キ金額ノ計算ノ基礎ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四條 簡易生命保險ノ保險金額ハ三百圓以下トス

同一ノ被保險者ニ付數箇ノ保險契約ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ保險金

額ノ總額ハ前項ノ制限ニ依ル

第五條 簡易生命保險ニ於テハ被保險者ノ身體検査ヲ行ハス

第六條 保險契約ノ申込ヲ承諾シタルトキハ保險證書ヲ作成シ之ヲ保險契

約書ニ交付ス

保險證書ニ記載スヘキ事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第七條 保險契約ノ效力ハ保險證書作成ノ日ニ始マル

第八條 被保險者カ保險契約ノ效力發生後二年內ニ災害又ハ傳染病豫防法

第一條第一項ノ傳染病ニ因ラスシテ死亡シタルトキハ勅令ノ定ムル所ニ

依リ保險金額ノ一部ヲ支拂ハサルコトヲ得

第九條 保險契約者カ保險金額ヲ受取ルヘキ者ヲ指定セサルトキハ被保險

者ヲ以テ保險金額ヲ受取ルヘキ者トス

第十條 保險金額ヲ受取ルヘキ者カ第三者ナルトキハ其ノ第三者ハ當然保

第十一條 保險契約者ハ保險金額又ハ第二十五條ノ規定ニ依ル還付金額ノ

支拂ノ事由發生スル迄ハ保險金額ヲ受取ルヘキ者ヲ指定又ハ變更スルコ

トヲ得但シ保險金額ヲ受取ルヘキ者カ第三者ナル場合ニ於テ保險契約者

カ別段ノ意思ヲ表示シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十二條 保險金額又ハ第二十五條ノ規定ニ依ル還付金額ヲ受取ルヘキ權

利ハ之ヲ讓渡スコトヲ得ス但シ命令ニ別段ノ定アル場合ハ此ノ限ニ在ラ

ス

第十三條 前條ノ權利ハ之ヲ差押フルコトヲ得ス

第十四條 保險契約者ハ被保險者ノ同意ヲ得テ第三者ヲシテ保險契約ニ因

ル權利義務ヲ承繼セシムルコトヲ得

前項ノ承繼ハ政府ニ通知スルニ非サレハ之ヲ以テ政府ニ對抗スルコトヲ

得ス

第十五條 保險契約者又ハ被保險者ノ詐欺ニ因ル保險契約ハ之ヲ無効トス

第十六條 保險契約者ハ何時ニテモ保險契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

前項ノ解除ハ將來ニ向テノミ其ノ效力ヲ生ス

第十七條 保險契約者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ保險契約ノ變更ヲ請求スル

コトヲ得

第十八條 保險契約者保險料ヲ拂込マスシテ命令ノ定ムル所ニ依リ猶豫ス

ル期間ヲ經過シタルトキハ保險契約ハ其ノ效力ヲ失フ

前項ノ規定ハ保險契約者カ前項ノ期間經過後一月內ニ其ノ契約ヲ保險料

拂濟保險契約ニ變更セムコトヲ請求シタルトキハ之ヲ適用セス

第十九條 前條第一項ノ場合ニ於テハ保險契約者ハ保險契約ノ失効後一年

內ニ限リ其ノ復活ノ申込ヲ爲スコトヲ得

第二十條 前條ノ申込ヲ承諾シタルトキハ保險證書ニ保險契約復活ノ旨ヲ

記載ス

復活ノ效力ハ前項記載ノ日ニ發生ス

第二十一條 保險契約復活シタルトキハ始ヨリ其ノ效力ヲ失ハサリシモノ

ト看做ス

第二十二條 第十五條及商法第四百二十九條ノ規定ハ保險契約復活ノ場合

ニ之ヲ準用ス

第二十三條 被保險者カ保險契約復活ノ效力發生後一年內ニ災害又ハ傳染

病豫防法第一條第一項ノ傳染病ニ因ラスシテ死亡シタルトキハ勅令ノ定

ムル所ニ依リ保險金額ノ一部ヲ支拂ハサルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ被保險者カ保險契約ノ效力發生後二年內ニ死亡シタル

トキハ第八條ノ規定ニ依ル

第二十四條 左ノ場合ニ於テハ保險金額ヲ支拂フ責ニ任セス

一 被保險者カ保險契約又ハ其ノ復活ノ效力發生後二年內ニ自殺シタル

トキ

二 被保險者カ決闘其ノ他ノ犯罪又ハ死刑ノ執行ニ因リテ死亡シタルト

三 保險金額ヲ受取ルヘキ者カ故意ニテ被保險者ヲ死ニ致シタルトキ但シ其ノ者カ保險金額ノ一部ヲ受取ルヘキ場合ニ於テハ政府ハ其ノ殘額ヲ支拂フ

四 保險契約者カ故意ニテ被保險者ヲ死ニ致シタルトキ被保險者ノ死亡シタル場合ニ於テ保險契約者及保險金額ヲ受取ルヘキ者カ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ通知ヲ發セサルトキ

第二十五條 第十六條第一項、第十七條、第十八條第一項及前條ノ場合ニ於テハ保險金額ヲ受取ルヘキ者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ被保險者ノ爲ニ積立テタル金額ノ一部ノ還付ヲ請求スルコトヲ得

第二十六條 政府ハ保險契約者ノ請求アルトキハ保險契約ノ解除ニ因リ還付スヘキ金額ノ範圍内ニ於テ命令ノ定ムル所ニ依リ貸付ヲ爲ス

第二十七條 前條ノ規定ニ依リ貸付ヲ爲シタル場合ニ於テ保險金額ヲ支拂フヘキトキハ貸付金及其ノ利息ハ保險金額ヨリ之ヲ控除ス

第二十八條 當該官署カ命令ノ定ムル所ニ依リ保險金額又ハ保險契約者若ハ保險金額ヲ受取ルヘキ者ニ還付スヘキ金額ヲ支拂ヒタルトキハ其ノ支拂ハ之ヲ有效トス

第二十九條 保險契約者又ハ保險金額ヲ受取ルヘキ者カ簡易生命保險ニ關スル事項ニ付政府ニ對シテ民事訴訟ヲ提起スルニハ簡易生命保險審査會ノ審査ヲ經ルコトヲ要ス

第三十條 前條ノ審査ノ請求ハ時効ノ中斷ニ關シテハ之ヲ裁判上ノ請求ト看做ス

第三十一條 簡易生命保險審査會ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十二條 簡易生命保險ニ關スル書類ニハ印紙稅ヲ課セス

第三十三條 簡易生命保險ノ事務ニ關スル郵便物ハ無料ト爲スコトヲ得

第三十四條 商法第三百九十九條、第四百一條、第四百六條、第四百十七條、第四百二十八條、第四百二十八條ノ四、第四百二十九條及第四百三十二條

ノ二ノ規定ハ簡易生命保險ニ之ヲ準用ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(逓信大臣箕浦勝人君登壇)

○逓信大臣(箕浦勝人君) 本案提出ノ理由ヲ一言致シマス、簡易保險ノ問題ハ久シキ以前ヨリ研究サレテ居ル所ノ一宿題デアリマシテ、イロ／＼ナ沿革ヲ持ッテ居リマスガ、明治三十二年ニハ郵便保險法ヲ稱シマシテ、爲替貯金法ノ中ニ加ヘラレテ將ニ議會ニ提出サレントスルマデ運シタコトモアッタデアリマスガ、尙調査ヲ要スル事ガアルト云フデ止メナリマシタ、其後第二十七議會ニ於テハ當時ノ内務大臣平田子爵

ヨリ、又第三十一議會ニ於テハ山本農商務大臣ヨリ議會ニ對シテ簡易保險ノ必要ナルコトヲ言明サレテ居リマス、又三十三年ノ三月ニハ議院カラ建議案ガ提出サレテ居リマス、政府ハ段々其必要ヲ認メマスニ付キマシテ、小口保險制度調査委員會ト云フモノヲ設ケマシテ、段々調査ヲ重ネマシテ一ノ成案ヲ得タ、其成案ヲ公ケニ發表致シマシテ、各府縣ノ長官或ハ商業會議所其他公私ノ各種ノ團體、凡ノ百有餘箇所ニ之ヲ示シマシテ、其意見ヲ尋ネタデアリマス、デ其案ニ對シマシテ各所ヨリ答申案ガアリマシタガ其答申ニ依リマス、案ノ内容ニ付キマシテハ多少ノ修正ノ意見ガアリマスガ、併ナガラ大體ニ於キマシテハ保險事業ニ關係ヲ有スル者ノ外ハ、大抵之ヲ贊成スル、至極適當ナル事柄デアラカラ、速ニ實施サレルヤウナ運ビニ至リタイト云フコトガ多數ノ御答申デアリマス、是ニ於テ政府ハツレヲ修正意見ヲ參酌シテ尙調査ヲ遂ゲ、今日此ニ提出致スト云フ運ビニ至ッタデアリマス、事新シク申スマデモナイコトデアリマスガ、多數ノ下級社會ヲシテ克ク恆ノ產ヲ治メ、秩序アル生活狀態ヲ保タシムルト云フコトハ貧富ノ懸隔ニ伴フテ起ル所ノ各種ノ缺陷ヲ救済シ、社會組織ノ健全ナル發達ヲ圖ル所以デアリマス、其方法トシテハ種々アルデアリマセウガ、今此法案ノ目的トスル所ハ比較的低廉ナル料金ヲ以テ、又簡單ナル手續ニ依リ安全ナル基礎ノ上ニ、保險ノ惠澤ニ多數ノ下級社會ヲシテ浴セシムルト云フコトガ、一ノ緊要ナル方法デアルト信ズルデアリマス、近時此保險ノ傾向ヲ見マスルト、保險金額ハ段々高マルデアリマス、保險金額ノ平均額ガ段々高クナルデアリマス、明治二十九年ニ於キマシテハ、新契約ニ付テ一件當リノ保險金額ノ平均額ハ四百十九圓デアッタデアアル、然ルトコロ年々是ガ増加致シマシテ大正三年ニ至リマシテハ、其新契約ニ係ル保險金額ノ平均額ガ七百三圓ト云フコトニナツテ居ルデアリマス、是ハ自然ノ趨勢デアリマシテ、保險ノ如キハ金額ガ多クテモ少クテモ取扱ノ手續ハ一口ニ對スル取扱ノ手續ハ同ジコトデアアル、故ニ成ベク金額ノ多イ方が利益ガアルデアリマス、故ニ保險業ノ利害カラ申シテモ、成ベク一口ノ金額ノ多イ方が宜イデアリマス、營業上ノ利益カラ申シテ其通り、又一般社會ノ民度ガ發達シテ參リマスルト、モウ小サイ金額ニハ満足シナイ、又多イ金額ノ保險ヲ付ケル餘裕ガ出來テ力ガ付クト、多クナケレバ満足シナイト云フコトニナルト云フ風デアリマスカラ、段々此保險金額ノ平均ガ高マツテ來ルト云フコトハ、是ハ自然ノ趨勢デアルト思フデアリマス、今此法案ノ定メルトコロニ依リマスルト、最高金額ヲ三百圓ト云フコトニ致シテ居リマス、二十圓以上三百圓、斯ウ云フ風ニ小サイ金額ニ限ッテ保險ヲ付ケル、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、此平均ハドノ位ナトコロニナリマスガ、是ハ實際行ッテ見ナケレバ分ラヌ事柄デアリマスガ、先ツ假リニ今日此ノ郵便貯金ニ依テ計算シテ見タデアリマスガ、二十圓以上三百圓以下ノ貯金ノ總額ヲ出シテ、ツレヲ口數ガ割ッテ見タ、サウスルト七十圓ト云フ平均額ガ出タデアリマス、是ハ勿論此保險ノ加入者ト預金者トガ悉ク同一ナモノデアリマスガ、併ナガラ凡ソノ當リハ付クデアリマス、何レニ致シマシテモ極メテ金額ノ少ナイ二百圓以下ト云フモノニ限ッタルデアリマス、段々此餘裕ノ出來タ者ハ到底左様ナ少金額デハ満足スルコトハ出來ナイト、又一ツニハ此簡易保險ノ保險料ハ至ッテ割合ガ高イ、普通ノ保險料ヨリモ割合ガ高イ、凡ソ一割以上高クナツテ居リ

マス、故ニ同シ保險料ヲ拂テ普通保險ニ掛ケルト云フト、餘計ノ金額ヲ保險ニ付ケルコトガ出來ルト云フ割合ニナルノデアリマスカラ、サウシテ自ラ此ノ小サイ小口ノ拵ヒヲスルノト、大キナ拵ヒヲスルノトハ仕組ガ違ハナケレバナラヌノデアリマスカラ、今日ノコロロデ見マスト、ドウシテモ年々此ノ保險金額ガ増シテ參リマスルニ付キマシテハ、此ノ下級ノ多數ノ細民ニ至ッテハ益、保險ノ惠澤ニ浴スル機會カラ遠サカッテ行クト云フ有様デアル、故ニ是等ノ社會ノ爲メニ簡易ナル保險ノ經營機關ヲ拵ヘマシテ、普通保險ノ及バザル所ヲ補フコトガ最モ大切ナコトデアリ、即チ普通保險ノ及バザルコロヲ補フコトデアリマシテ、決シテ普通保險ト競争スルモノデハナイ、ソレデ小口保險——小口ヲ扱フ者ハ小口ヲ扱フ仕組デアル、普通保險ハ普通保險ノ仕組デアラナケレバナラヌ、マルデ仕組ガ違フ、同一ノ仕組デヤッテ競争スルコト云フノデハナクシテ、違ッダ種類デ以テ違ヒ立ッテ兩々相對シテ、竝ビ行ハレテ戻ラズト云フ、即チ兩ナガラ互ニ繁昌シ互ニ發達シ得ル關係ニナッテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ今日ニ於テ此小口保險ト云フコトニ付テハ餘リ多ク異論ガナイヤウデアリマス、唯併ナガラ茲ニ最モ議論ノアリマスノハ何人ガ之ヲ經營スルカ、是ガ最モヤカマシイ問題デアリマス、即チ官營獨占カ或ハ民營競争カ、ドチラニスルカト云フコトガヤカマシイ議論ノ起ルトコロデアリマス、此法案ハ即チ官營獨占ト云フ方ヲ取ッテデアリマス、之ニ付テ聊カ其理由ヲ述ベタイト思フノデアリマス、元來此簡易保險ト云フモノハ獨占的傾向ヲ持ッテデアリマス、小サナ小口ノ金ヲ澤山集メテ、而モ其金ヲ小サナモノヲ尙細分シテ小切ッテ取ル、年ニ一度トカ或ハ年ニ二度トカ云フノデナクシテ、或ハ月ニ一回或ハ一週ニ何回トカ云フヤウニ小切ッテ細分シテ取ルノデアリマスカラ、至極手數ガ掛ル、又向フカラ保險料ヲ持ッテ來ルノデナクシテ、此方カラ取集メル、集金ニ出掛ケテ行クト云フノデアリマスカラ非常ニ手數ガ掛カル、費用ガ掛カル、オ負ケニハ醫者ノ診察ヲシナイノデアリマス、素人ノ目で見ルダケ被保險人ヲ選擇スルト云フ譯デアリマスカラ、言ハバ危險ガ多イ、サウ云フモノデアリマスカラドウシテモ是ハ餘程大仕掛ニ大規模ヲ以テ經營シナケレバヤリ切レナイ、トモ小規模デハ行フコトガ出來ヌ性質ノモノデアアル、故ニ若シ之ヲ民營ノ自由競争ニ放任致シマシテモ、結局一ツカニツノ有力ノ會社ニ獨占サレルト云フ運命ヲ持ッテデアリマス、トコロガ其小口バカリデハアリマセヌ、普通ノ保險ニ致シマシテモ保險事業ハナカノ競争ガ激シイ、殆ド競争ノ弊ニ堪ヘナイト云フ程ノモノデアリマスガ、此小口保險ト云フモノニ至リマシテハ一層競争ガ激シクナルノデアリマス、其弊害モ亦一層甚シイノデアリマス、サウシテ激烈ナル競争ヲ重ネテ、歲月ノ間ニ自然淘汰優勝劣敗ノ作用ヲ經テ或一二ノ會社ニ獨占ヲナサレル、サウスルト其間ニ澤山ノ怪我人ガ出來ル、而モ細民ノ粒々辛苦ニ成ッタコロノモノヲ、此競争ノ犧牲ニスルト云フヤウナコトニナリマシテ、甚ダ慘憺タル悲劇ガ行ハレルト云フコト、是ハ甚ダ面白クナイ、ソレカラ又最後ニ其自然淘汰ヲ經テ、或歲月ノ間ニ一二ノ會社ニ獨占サレタトシマシタトコロカソレデ結局デアルカト云フソレデハ濟ナイ、必ズ一ツノ社會問題ヲ惹起シ、或ハ獨占會社ニ對シテハ非常ニ社會的反對ガ起リ、ソレガ爲メニ種々ナ混雜ヲスルト云フコトニナリマスカラ、殆ド是ハ實際ナキ——今日以後ノ社會ノ狀態ヲ綜合致シテ見マスルト、際限ナキ混雜ヲ生ズルコトニナルノデアリマス、故ニ此本案ニ於キマシテハソレ等ノ中間ノ慘憺ナル悲劇ナドノ幕ヲ省イテ——競争ヲ避ケ

テ、ソレ等ノ中間ノ悲劇ノ幕ヲ省イテ、行キナリニ終局ニ歸著スルコロノ結果ヲ採用シテ、之ヲ官營ノ獨占ト云フコトニ致シタ譯デアリマス、元來前ニ申ス通りニ簡易保險ハ保險料ガ勢止ムヲ得ズ高クナルノデアアル、是ハ甚ダ遺憾ノコトデアリマスケレドモ、普通ノ保險ニ比ベレバドウシテモ保險料ガ高クナル、ナリマスガ併ナガラ此本案ニ依リマスト、比較的保險料ガ安イノデアリマス、歐羅巴ノ各國ノ此簡易保險ニ比較シテ見マスト、彼等ハ經費ガ非常ニ餘計掛カル、其營業費ト云フモノガドレ位ノ割合ニナッテ居ルカト申シマスルト、所謂純保險料ト云フモノニ對シテ六割七割ノ費用ガ掛ルノデアアル、即チ附加保險料ト唱ヘルモノガ六割七割、所ガ此法案ニ依リマスト附加保險料ハ純保險料ノ三割、餘程安クナッテ居リマス、普通ノ保險ニ比ベマスレバ保險料ガ高イ、併ナガラ他ノ民營ノ競争ヲヤッテ居ル他ノ實例ニ比ベテ見マスレバ、餘程此方ガ安クナッテ居ル、ソレハ第一ハ先ヅ此郵便局——全國ニ散布シテ居ルトコロノ七千二百バカリノ郵便局ヲ利用スルノデアリマス、ソレデアリマスカラ非常ニ費用ガ安ク掛カル、建物カラ、人員カラ、ソレカライロノ材料ナリ總テノモノニ付キマシテ割合ニ安ク掛カル、ソレカラ營利的デナイ、儲ケヲスルニ及バヌノデアリマスカラ、株主ニ配當ヲシナケレバナラヌ、或ハ重役ニ賞與金ヲ渡セ、實際費ヲ備ヘルナド、云フコトハナイ、サウ云フ費用ガ省ケマスカラ割合ニ保險料ガ低廉ニ出來ル——比較的低廉ニ出來ルノデアリマス、サウシテ先ヅ安全ノ基礎ノ上ニ之ヲ經營スルコトガ出來マスカラ、ソレガ爲ニ此加入者ニ對シテ非常ニ迷惑ヲ及ボスト云フヤウナ慘憺タル悲劇ヲ繰返スト云フコトハナイト思フノデアリマス、右ノ次第デアリマシテ、先ヅ此方法ニ依リマスレバ多數ノ下級社會ニ向ッテ一ツノ是等ノ幸福ヲ進メルコトニ相成ラウト考ヘルノデアリマス、孰レ隨分ハハイロノ入ッタモノデアリマスカラ、委員會ニ於キマシテハ詳細ニソレノ專門家ヲシテ及ブダケ説明ヲ致ス考デアリマス、何卒御審議ノ上速カニ協賛ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス（拍手起ル）

○議長（島田三郎君） 質問ノ通告ガアリマス、小山松壽君

○小山松壽君 私人質問ハ極メテ簡單デアリマスカラ、當席ヨリ述ベタイト思ヒマス、唯今主務大臣カラ本案ノ由來及其事業ノ概要ノ説明ガアリマシタガ、其大綱ニ付テハ言及サレテ居ラナイヤウデアリマスカラ、此場合ニ於テ御答ヲ願ヒタイト考ヘルノデアリマス、要點ハ三點アリマス、第一ハ本案ノ目的ハ社會中級以下多數人ノ幸福ヲ増進スル必要上制定シタモノデアルト云フコトガ、理由書ニ明記シテアリマスガ、果シテ然ルナラバ其目的ヲ達スル上ニ於キマシテ、ヨリ以上ノ效力アリマスル強制労働保險ヲ將來ニ實施スルノ方針ヲ御持チニナッテ居ルノデアリマス、ドウデアリマス、而シテ工場法ハ將ニ實施サレントシツ、アルノデアリマス、故ニ労働者ノ數ハ近ク判明スルコトデアラウト考ヘルノデアリマスガ、此點ニ付テ明瞭ナル所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス、第二ハ小口保險ト稱セズシテ簡易保險ト稱サレタノハ無診査、其他ノ理由ニ基クモノト信ズルノデアリマスケレドモ、政府ノ眞意ハ本案ノ實施ニ依リマシテ、其事業ノ成績ニ鑑ミテ最高三百圓トアリマス金額ヲ、更ニヨリ以上ニ高額ナラシムルト云フコトノ、將來御意志アリヤ否ヤト云フコトヲ極メテ明瞭ニ聲明シテ戴キタイト考ヘマス、第三ハ此事ニ付テハ主務大臣ハ言及サレナカッタデアリマスガ、簡易保險事業概要トシテ政府ヨリ漏ラサレテ居ルトコロノ一節ニ、資金ハ之ヲ社會政策的ニ放資スルト云フコトヲ記サレテ居ルノデアリマス、

殊ニ唯今大臣ノ御説明ニ依リマスレバ、零碎ナル資金ヲ集ムルモノデアラカラ、其慘害ヲ將來憂慮シナケレバナラヌト云フ御説明ガアリマシタガ、然ラバ其零碎ナル資金ハ如何ナル方面ニ運用セラル、モノデアリマセウカ、是等ノ具體的方針ヲ此場合ニ承リタイト考ヘマス、以上三點デアリマス

（逓信大臣箕浦勝人君登壇）

○逓信大臣（箕浦勝人君） 労働保險ヲ考ガアルカ否ヤト云フコトニ付キマシテハ、無論強制的労働保險ヲ行ヒタイト考ヘマスガ、併ナガラ是ハ財政上ニ大關係ノアルコトデアリマシテ容易ニハ出來マセヌ、先ツ此簡易保險カラ進ミマシテ、行クハ労働保險ノ制ヲ採ルト云フマデ進ムデアリマセウト思ヒマスガ、併ナガラ今日ノ如キ財政ノ状態ニ於テハ容易ニ望ミ得難イコトデアリマス、故ニ將來ハ此希望ハ有ツテ居リマス、併ナガラ今日カラ此方針ヲ定メルト申ストコロニハ參リマセヌデアリマス、是ハ主ニ財政上カラ來タル譯デアリマス——第二ニ何デアリマシタカ

○小山松壽君 第二ニ何デアリマシタカ

○逓信大臣（箕浦勝人君） 最高金額ヲ三百圓以上ニ増加スル考ガアルカ否ヤ、是ハ増加シナイ積リデアリマス、併ナガラ社會ノ状態ガ非常ニ變化致シマスレバ、何年カ或ハ何十年カ遠イ先キニ於テハ或ハサウ云フコトガ出來ルカモ知レマセヌガ、併ナガラ今日ニ於テハ此最高金額ハ嚴重ニ動カサヌ積リデアリマス、明カニ普通保險トノ境ヲ一ツ定メテ置キタイト云フ考デアリマス、是ハ動カサヌ積リデアリマス、ソレカラ第三ノ資金ノ運用ノコトニ付テ御話デアリマスガ、是ハ成ルベク所謂社會政策的ノ事柄ニ使ヒタイト云フ考デアリマス、或ハ産業組合ニ放資シ、或ハ又下級民ニ對シテ家屋ナドヲ供給スルト云フ方法モイロノアルヤデアリマス、是ハ何レソレ等ノ種類ノモノヲ調べマシテ、其最モ急ナルモノ、最モ適當ナルモノニ向ケタイト思ヒマス、今日カラ如何ナル事柄ニ充テルト云フ具體的ノ案ハ今此ニ持ツテ居リマセヌガ、大體ニ於テハ唯漫然ト之ヲ或ハ財政上ノ急ニ應ズル爲メニ使フトカ、或ハ其他ノ事業ノ爲メニ使フト云フコトヲセズニ、所謂社會政策的ノ目的ノ爲メニ使フト云フ考デアリマス

○議長（島田三郎君） 通告ノ質問者武藤金吉君

○武藤金吉君 簡易保險ノ官營ハ甚シク民業ヲ壓迫スル嫌ナキヤ、吾々ガ各方面カラ調査シ、又近イ數字ノ例ニ依テ見マスレバ、大正三年ノ調査ニハ生命保險ニ加入シタル人員ガ百七十萬以上デアリマス、其金額モ十億六千九百九十九萬九千九百九十九圓以下ノモノガ百二十五萬七千、三百圓以下ノモノハ五十九萬九千九百九十九圓ニナツテ居ルデアリマス、而シテ政府ガ此獨占的營業ヲスルニ付テハ、民營ノ既設會社ハドノ位影響スルモノデアリマス、又既設ノ民業會社ニ對シテ政府ハ願慮スルコトモナク之ヲヤツテ行キマシテ、唯今主務大臣ノ御辯明ノ通り、時勢ノ進退ニ依ツテ又三百圓ヲ五百圓ニシ、五百圓ヲ七百圓ニシ、七百圓ヲ千圓ニスルト云フコトニナリマスレバ、殆ド民間ノ既設會社ハ全ク何等罪ナクシテ業ヲ奪ハレ、何等過ナクシテ民業ヲ妨ゲラレル結果ニナリハセヌカト思ヒマス、是等ニ付テ政府ハ既設民業ニ如何ナル影響ヲ及ボシテモ、經濟界ニ何等ノ影響モナイ、構ハナイト云フ御考デアリマス、之ヲ一ツ承リタイ、ソレカラ第二ニハ簡易保險ハ社會政策ノ方ニ向ケルト云フガ如キ唯今御辯明ニナリマシタガ、此

法案其ノモノニ依ツテ見マシテモ、御説明ニ依ツテ見マシテモ、社會政策ノ保險ハナイヤウニ思ハレルデアリマス、又中流以下ノ多數人民ノ幸福ヲ計ルト言ハレテ居リマスガ、是ハ下級社會ノ小口ノ保險ヲ漁テ預カルニ過ギナイ、名ヲ換ヘテ言ハバ郵便貯金ヲ獎勵スルトコロノ——保險ノ名ノ下ニ獎勵スルニ過ギナイ、今ヤ我國ニ於テハ來ル六月ヲ以テ工場法ヲ施行スル、此工場ノ取締リニ付テハ嚴重ナル制裁ガアル、而シテ一面職工ノ數ハ何ボアルカト云フト、我國ノ工場ニ出勤ヲ致シマスル男女工ハ八十万ヲ超ヘテ居ルデアリマス、此八十万ノ男女工ノ衛生状態ニ於テ、其服務ノ状態ニ於テ如何ナル境遇デアリマス、其多クハ肺病者若クハ其他ノ流行病患者、殆ド男女職工ハ結婚スルコトモ出來ナイ、又現ニ病氣ノ爲ニ夫ヲ持ツモノ子ヲ孕マナイト云フ迄ノ極點ニナツテ居ル、一面ニ於テ此悲惨ナル職工ニ對シマシテハ、工場法ヲ制定セラレテ居ルニモ拘ラズ、労働保險ノ制定ハ目下財政状態ノ爲ニヤレナイト云フニ至ッテハ、一面ニ於テ嚴重ニ監督シテ生キテ居ル現在ハドウデアリマス、此保險ノ性質ハ全ク埋葬保險デ、死ナクツテハ此三百圓ハ貰ハナイ、零碎ノ資金ヲ労働者カラ掛ケサセテ、死ナナケレバ貰ヘナイ、歐羅巴亞米利加ニ於テハ日本ノ如ク家族制度ガ整ツテ居リマセヌカラ、死ンデモ屍體ノ引取人ガナイト云フ國ニ於テハ、斯様ナ埋葬保險モ必要カモ知レマセヌガ、我國ノ如キハ家族ガ其組織ノ宜シキヲ得マシテ、死ンデ先キヨリモ現在ヲ救フト云フコトガ急務デアル、何故ニ政府ハ此疾病者或ハ勤務ヲ爲シ得ザル休業者、若クハ老衰病者等ニ對シテ、此工場法施行ト共ニ救済ノ途ヲ講ジナイノデアリマス、少シバカリノ金ノ損失ノ利害カラ見マシテ、財政ノ都合カラ之ヲ眺メル問題デアリマセヌ、實ニ此八十何萬ト云フ男女工ハ我が工業ノ神髓トナツテ働イテ居ル、真正ノ我國力ノ土臺デアリマス、又一面農業ノ方面ニ於テモ小作労働者ニ付テハ何等ノ恩典ガナク、何等救済ノ途ガナイ、斯ノ如キトコロノ此保險ヲスルナラバ、何故ニ百尺竿頭一歩ヲ進メテ労働保險ヲ實施スル勇氣ガ無いノデアリマス、斯ノ如ク郵便貯金ヲ獎勵シテ預カリ、一面ニ社會政策ノ美名ノ下ニ之ヲ行フト云フガ如キハ、名ハ美ニシテ其實ハ甚ダ保險ノ性質ニ副ハナイノデアリマス、假令國家ガ損失ヲ致シマシテモ、更ニ手數ヲ掛ケマシテモ、此方法ハ世界到處ニ行ハレテ居ルデアリマス、政府當局ハ何故ニ一面ニハ民業ヲ壓迫シテ、一面ニ於テハコセノ零碎ノ金ヲ漁ツテ財政ノ端ニスルガ如キ計畫ヲ以テ、社會政策ト見ラレナイト思フノデアリマス、第三ニハ簡易保險ハ官業整理ノ政綱ト矛盾シハシナイカト云フ疑ガアルノデアリマス、現内閣ハ其成立ノ當時ニ於テ官業整理ヲ標榜シ、盛ニ官業整理ヲ爲サント云フノデアリマス、然ルニ今度ハ小口保險簡易保險マデモ官營ニスルト云フノハ何等ノ矛盾デアリマス、現内閣ハ言フ左右ニシテ説ヲ四五ニスルト云フコトハ、敢テ天下公衆ノ怪マナイトコロデアリマス、斯ノ如キ實際問題ニ當ツテモ此説ヲ二三ニ致シマシテ、同志會ノ社會政策官業整理ノ案ト云フモノハ、官業整理ノ現實ヲ來スガ如キハ奇怪千萬デアルト思フ、逓信大臣箕浦君ハ溫厚ノ君子ニシテ、最モ其點ニ付テハ人格ヨリ重キヲナス人デアルニモ拘ラズ、斯ノ如キ曖昧ナル政策ヲ提ケテ此議會ニ此案ヲ出スト云フガ如キハ、果シテ官業整理ノ目的ニ副ハヌデハナイカト考ヘマス、此三點ニ付テ親切ニ明快ナル御答辯ヲ煩ハシタイノデアリマス

（逓信大臣箕浦勝人君登壇）

○逋信大臣(實浦勝人君) 武藤君ノ御答ヲ致シマス、第一ノ民業ヲ顧ミナイカト云フ御尋アリマスガ、最モ民業ヲ顧慮致シタノデアリマス、顧慮致シマシテ民業ヲ是ガ爲ニ妨ゲルト云フコトガ有ルカ無イカト云フコトニ付テハ、非常ニ調査ヲ致シタノデアリマス、攻究ヲ致シタノデアリマス、ソレ故ニ成ルベク民業ニ壓迫ヲ加ヘナイ爲ニ、民業ト同シ方法ヲ用ヒシニ、マルデ仕組ノ違フタ制度ヲ採リマシテ、而モ金額ノ如キハ嚴重ニ三百圓ト云フコトニ定メマシテ、今年ハ三百圓ト定メテ居ルケレドモ、段々五百圓ニ増シ、千圓ニモ増スト云フコトガアリハセヌカト云フ御話アリマシタガ、是ハ左様ナコトハ決シテアリマセヌ、嚴重ニ三百圓ト致シテ居リマス、併ナガラ他日社會ノ狀態ガ變化致シマシテ、増スト云フ場合ニ、政府ハ唯獨斷デ以テ増スト云フコトハ出來ナイノデアリマス、ヤハリ議會ノ協賛ヲ經ナケレバ増ストハ出來ヌノデアリマスカラ、ソレハ今日カラ餘リ御懸念ニナラナクテモ大丈夫デアラウカト思ヒマス、先ヅ三百圓ノ小口ノ小サイモノニ限ッテ取扱フ、其結果トシテ民業ノ及バザル所ヲ補フト云フ趣意デアリマス、決シテ民業ト競争スルモノデアリナイノデアリマス、唯既往ノ統計ヲ段々御舉ゲニナリマシタガ、是ハヤハリ古イ會社ノ統計ヲ取リマスルト、元トハ小サイ口ノ方ガナカク、多カッテ、近來段々其金額ガ多クナルト云フノデアリマスカラ、此趨勢ヲ見ルニハヤハリ新契約ト云フモノヲ押ヘテ行カセレバイカスト思フ、年末ノ調ト云フデナシニ新契約、新契約ト云フモノノ割合ガドウナッテ居ルカト云フコトヲ見ルノガ大切デアリマス、ソレハ先刻チヨット申上ゲマシタ通りニ段々高マデ參リマシテ、大正三年ニ於テハ七百三圓ト云フ平均ニマデ高マデ居ルヤウナコトデアリマシテ、之ヲ今日三百圓以下ト云フコトニシマシタ所デ、大ニ其民業ヲ壓迫スルト云フコトハナイノデアリマス、又其點ニ付キマシテハ例ヘバ小口保險ト云フモノヲ、官營ニ致シマシテモ民業ニ致シマシテモ、普通ノ保險トノ關係ニ於テハ違ハナイノデアリマス、官營ニシレバ民業ヲ壓迫スル、民業ニシレバ民業ヲ壓迫シナイト云フコトハ、マルデ仕組ガ違フノデアリマスカラ其點ハ同ジコトニナルノデアリマス、又何故ニ斯様ナ姑息ノ法ヲ用ヒナイデ、一步ヲ進メテ今日急務ナル所ノ労働保險ヲシナイカ、即チ生存保險各種ノ生存保險ヲシナイカト云フコトハ、實ハ其點ニ付テハ御同感デ、サウ云フ所マデ是非及ボシタイノデアリマスガ、前ニ小山君ニ對シテ御答ヲ致シマシタ通りニ、是ハナカク大ニ財政上非常ナ大關係ヲ持ツコトデアリマシテ、容易ニ決行スルコトガ出來ナイノデアアルノデアリマス、若シ段々財政ノ都合ガ許サウニナリマシタラバ、追々其處ニ至ルデアラウト思ヒマスガ、又今日ニ於キマシテモ出來得ラレル、例ヘバ職工ノ扶助法ト云フヤウナコトニ付テモ、目下調査ハ致シテ居リマスガ、併ナガラ強制的労働保險ト云フモノニ至リマスルマデハ、マデ大分時ガアルカト思フノデアリマス、ソレカラ此官業整理ト云フコトデアリマスガ、目下官業トシテ經營サレテ居ル事務柄デモ、之ヲ民業ニ移ス方ガ利益デアアル、或ハ移シテモ差支ナイト云フモノハ、成ベク民業ニ移シタイト云フ方針デアリマスガ、併ナガラ又官營ニシル方ガ宜シイ、官營ニシル方ガ宜イト云フモノハヤハリ官營ニシルノデアリマシテ、必シモ官營民業トサウ拘泥スル譯ノモノデアリナイ、所謂官業整理ト申シマスノハ全ク何モ角モ官業ヲ止メテ、總テ民業ニ移スト云フ譯デナシ、又此後經營サレル所ノモノハ、一切官業トシテ經營スルコトハナラヌト云フ意味デモ何デモナイ、官業トシテ經營スルガ適當ナルモノハ官營ニシル、民業ニ移スベキモノハ民業ニ移ス、斯

ウ云フ趣意デアリマスカラ、政綱ニハ矛盾シタ事モ何モナイト思フノデアリマス
○相島勘次郎君 政府ハ民業ノ壓迫ト云フコトニ付テ非難ガアルノヲ避ケル爲ニ、斯ウ云フ風ニシタノデモアリマセウカ、其保險ノ割合ガ、他ノ私立ノ保險ヨリモ掛ケテカラノ割合ガ、ヨク出來テ居ラヌト云フコトノ御説明デアリマシタガ、總テ此下層ノ人ト云フモノハ後デ便利ヲ得ルト云フヨリハ、ソレヲ掛ケル時分ニ政府ガ一圓ニ對シテ二十錢ハ保護ヲシテ呉レルト云フヤウナ、サウ云フ點ヲ非常ニ望シテ掛ケルノデアッテ、取ル時ノ場合ハ餘リ考ヘナイト云フコト云フノガ、是ガ労働者或ハ下級人ノ現狀デアアル、ソレ故ニドノ國ノ保險デモ、斯ウ云フコトニ付テ最モ注意ヲ拂ッテ居ルコトハ逋信大臣モ御存ジデアリマセウカ、茲ニ社會政策ノ一トシテ出スニ方ッテ、其割合ガ他ノ私立ノ保險ヨリモ掛ケテカラ取ル割合ガ惡クナッテノハ、民業壓迫ノ非難ヲ恐レテサウ云フコトニシタノデアリナイカ、若シサウ云フコトニシテ尙ホ保險ノ目的ヲ達スルト云フ御見込デアゴザイマセウカ、モウ一ツハ病傷保險、今武藤君モ御尋ニナッテ御返答ガ無イノデアリマスガ、病傷保險ト云フヤウナ風ノ、ツマリ病氣デアルトカ、怪我ヲシタト云フヤウナ時分ニ、途中テ取レル所ノ方法ガ此中ニ含シテ居ラヌノデアリマセウカ、所謂葬式保險ト云フモノハ全ク舊式デアッテ、今日悲慘ナル労働階級ノ上カラ見ルト、死シタ後ハ川ヘ流サレテモ何デモ構ハヌ先キノコトハ構ハヌ、今日病氣中デアルトカ、怪我ヲシタト云フ、サウ云フコトニ悲慘ナル有様デアアルカラ、ソレヲ此保險ニ依ジテ多少デモ救済スル意味ガ含マレテ居レバ、非常ニ此目的ヲ達スル上ニ付テ宜カラウト思ヒマスガ、此保險法ハ全ク死シタ時ノ外取レナイ一點張デ、外ニ融通ノ途ハナイノデアリマスガ、其點ヲチヨット伺ッテ置キタイ

(逋信大臣實浦勝人君登壇)

○逋信大臣(實浦勝人君) 御答致シマスガ、民業壓迫ノ議リヲ避ケルタメニ、殊更ニ保險ノ割合ヲ高クスル、サウ云フコトハナイノデアリマス、是ハ一定ノ專門的ノ技術ヲ以テ——一定ノ計算——計數ヲ定メマシテ、ソレカラ出テ來ル所ノ自然ノ結果デアリマシテ、其間ニ何カ政策略ヲシコトハ一點モ挾ッテ居ナイノデアリマス、併シ出來タ所ノ結果カラ見マスルト、普通ノ保險料ヨリモ割合ガ高クナッテ居リマス、ソレ故ニ若シ餘裕ノアル人ガ一定ノ保險料ヲ拂フ時ニハ、ヨリ以上多額ノ保險ヲ契約スルコトガ出來ルト云フコトニナルノデアリマス、計數上カラ結果ハ自然ノ結果デアリマシテ、左様ナコトヲ豫期シタ譯デモ何デモナイノデアリマス、ソレカラ病傷トカ云フヤウナ、サウ云フコトハ手ガ届カヌノデアリマス、前ニ武藤君ナドニ對シテ御答ヲ致シタ通りデアリマシテ、此保險ハ全ク死亡保險デアリマシテ、御承知ノ通り死亡シナケレバ往カヌノデ(養老モアル)ト呼フ者アリ(無論養老保險モアリマス、ケレドモ先ヅ死亡保險ト是ハ申シテ居ルノデアリマス、其病傷トカサウ云フ生存保險ニ付キマシテハ、此法デケデハ往ケナイノデアリマス、ソレハ別段ノ制度ヲ設ケシケレバナラヌノデアリマスガ、先ヅ此分ハ其點カラ申シマスルト云フト、或ハ十分御満足ニハナリマスマイカ知リマセヌ、ケレドモ併ナガラ是ニ依テ幾分此多數ノ下級民ヲ救済シ、幸福ヲ増進スルト云フコトニナラウト考ヘルノデアリマス
○鈴木萬次郎君 私ハ一言御答辯ヲ得テ置キタイ、此問題ニ付キマシテハ、ナカノ一二三要點デアリナイ多キアリマス——多キアリマスルカラ是ハ委員會ニ於キマシテ細カニ質問ヲ致シマスルガ、要點トシテ一ツダケ大臣ノ意見ヲ——主務大臣ノ意見ヲ確メテ置キタイ

イ、御説明ニ依ツテ見マスル、民業ヲ壓迫シナイト云フ程度ニ於テ云々ト云フ御説明
デアリマス、果シテ誠心誠意デゴザイマス以上ハ、若シ此三百圓ト云フ額が民業ヲ壓迫ス
ルト云フ真正ニ其實が見エシタ以上ハ、之ヲ低下致シテ、或ハ百五十圓トカ百圓トカ云
フコトニセラレト云フ御意見デアアルカドアルカ、實際ハ三百圓ト云フハ甚だ低イ程
度ノヤウニ主務大臣ニ於テハ見テ居ラレカハ知リマセヌガ、三百圓ハ今日日本ニ於テ保
險ニ這入リマスル者ノ普通ノ價額デアリマス、千圓トカ二千圓トカ申シマスルハ中流以
上ノ財產家デ死シテ後願ノ殆ド憂ナシトモ謂フベキ人が這入ル、普通這入ルノハ三百
圓、此三百圓ヲ官營ニ致シマスルト云フコトデゴザイマスル、現在當業者がヤテ居リマス
ル被保險者ノ百人ニ就テ七十五人ト云フモノハ官營ニナルト云フコトデアル、サウ致シマス
ルト民業壓迫ト云フハ甚だ穩和ナル申分デ、民業ノ破壊(ヒヤ)ト呼フ者アリ
リ(民業ノ破壊民業ノ破壊ト云フコトデアルト私ノ如キハ信ジテ居ル、民業ヲ壓迫デモセヌ
ト云フ御趣意デゴザイマスル以上ニハ、調査ノ上ニ真正ニ壓迫ノ嫌ヒガアリマシタナラバ、
之ヲ低下スル、ト云フモノハ幾分此法案ハ社會政策ト云フコトヲ含シテ居ルト云フ意味
ノヤウデアリマス、社會政策ト申シマスル以上ニハ、先程武藤金吉君が御質問ニナリマシ
タ如ク、今日ノ此下等労働者、日給ヲ以テ生活致シテ居リマスル日本ノ労働者、之ニ
病傷保險ヲナケレバナラス、今日ノ有様ヲ以テ見マスル、我帝國ハ工業ノ發達ヲ
大ニ希望シナケレバナラス、圖ラナケレバナラス、其工業ノ手デアル職工、此職工ハ實ハ
死後ニ至リマシテ——死スルト云フコトデゴザイマシテハ、餘リ恐ルベキ社會問題モ惹起
サナシ、其日暮シデアル者ガ半病人ニナツテ生活致シテ居ルト云フノガ最も恐ロシイノデ、
一日八十錢取ル所ノ職工ガ十日間休業致シマスル、最早衣食ノ費用並ニ醫療ノ費
用ガ無イノデアル、ソレデアリマスカラ強イテ此職工共ガ十分ナ療養ヲ爲スコトガ出來ズ
シテ、輕病ハ重病ニナリ、武藤君ノ言ハレル如ク風邪ノ間ニ十分療養致シマスルト恐ル
ベキ肺結核ニ陷ル者ハ少ナイノデ、ソレヲ食フコトガ出來ヌカラ已ムラ得ズ強イテ工場ニ
通フ、其結果ハ輕病者ガ重病者ニナリ、名ノ付ク病ニナリ、傳染病トナルノデ、食ハズ
ニ居ラヌカラ病ヲ推シテ工場ニ通ヒ、病毒ヲ撒布スル、到頭勢力ガ續カズシテ地方ニ
歸ル、地方ニ歸ルカラ近ク各地方ヲ見マスルト云フコト村落ノ間ニ結核ノ蔓延ハ非常ナモ
ノデアル、ソレハ何デアアルカト申シマスル、多クハ紡績工場アトリノ原毒ガ地方ニ入リマ
シテ、村落ノ間ニ撒布スルト云フコトニナル、實ハ人道ヲ外レテ申シマスル、死シマ
フ者ノ方カラ申シマス、死ヌ方ガ或ハ危險ハ少ナイ、半病人ガ努メテ工場ニ通ツテ居ル
ト云フコトガ最も危險ガ多イノデアル、又職工等ガ負傷スル、十分ナ働キガ出來ナイ、
斯様ナ者が食フニ食ハレヌト云フ所カラ恐ルベキ心ヲ懷ク者ガアル、當テ濫淫男爵ノ許
ニ生手ヲ郵便小包ヲ以テ送ツタ者ガアル、是ハ或工場ノ職工ガ怪我ヲシテ手ヲ此處カラ
切ツタ、斯ウ云フコトヲスル者ハ重ニ職工デアル、職工ノ取締ト云フコトハ社會問題トシ
テ重キヲ置カナケレバナリマセヌノミナラズ今日ノ日本ト致シマシテハ力サヘアレバ何處ノ
職工ニモナレト云フモノデナイ、鐵工場デアリマシタ所ガ、紡績工場デアリマシタ所ガ、
必ズ熟練ヲ要スル、此熟練シタ所ノ手ヲ保護スル、國ノ富ヲ作出スト云フ手ヲ保護
スルト云フコトハ工業發展ノ上カラ甚だ必要デアル、サウ云フコトヲ打棄テ、置イテ、サウ
シテ私立ノ會社デヤリ得ルコトヲ今日マデ政府ガ許可ヲ致サヌ、無診査保險ト云フガ如

キハ其處ニ農商務省ノ役人モ居ラレヤウデアリマスガ、吾ミガ十年以前ニ出願ヲシテ
居ル、之ヲ許可シナイ(其通り)ト呼フ者アリ)許可シナイデ、又箕浦君ノ説明ニ依リマ
スルト、大ニ昨年ノ如キ平均額ガ上ツタト云フ、實ハ政府ハ小サイ保險ヲ取ルコトヲ殆ド
禁ジテ居ル、若シ構ハヌデ居ッタヤハリ今日ハ平均致シマスルト一口五百圓未滿ニ付
クノガ當リ前デアル、所ガ政府ガ斯ウ云フモノヲ持出サウト云フ下心ガアルカラ許可ヲシ
ナイ、殊ニ昨年ノ如キ統計ヲ示サレマシタガ、昨年ハ不景氣經濟上ノ逼迫、斯ウ云フ
時ニハ、中流以下ノ者ハ保險ニ入ル程ノ餘裕ガナイ、偶アル者ハ資産家デアアルカラ、昨
年ノ平均額ヲ見マスルト高クナツテ居ルハ當リ前、今日各保險會社ヲ調べ見マスル
トナカク七百圓以上ノ保險額ナド、云フモノハ保テルモノデハナイ、ヤハリ五百圓臺
ガ平均額ニナツテ居リマス、是ハ箕浦遞信大臣ヨリ私ノ方ガ知テ居ルカラ、細カニ此處
デ質問ヲシテ當大臣ヲ苦メル必要モアリマセヌガ、私ハ社會政策トカ云フ美名ノ下ニ出
スノナラバ、併セテ社會政策ト兼テ意ヲ注ガナケレバナラス、工業ノ發展ニ要スルコロノ
手ノ保護ト云フコトモ必要デアリマス、武藤君ノ所謂強制保險、小作人、労働者、職
工、斯ウ云フ者ニ爲サルノガ適當デアラウト私ハ思フ、併シ此事ニ付テハ詳細論ズベキ
場所ニ於テ、十分統計ヲ擧ゲ事實ヲ擧ゲテ論爭スル積リデアリマスシ、又御質問モスル
積リデアリマス、唯一言前來申シマスル通り、若シ此三百圓ト云フコトガ民業ノ壓迫ニ
ナルト云フコトデアラナラバ、モット低下スルト云フ御考デアアルカト云フコトヲ一言御尋致
シマス

〔遞信大臣箕浦勝人君登壇〕

○遞信大臣(箕浦勝人君) 最高三百圓ト云フコトガ、政府ノ見ル所ニ於テハ最も適
當ナリト信ジテ居ルデアリマス、故ニ是ハ動かサヌ積リデアリマス、併ナガラソレヨリ
ロノ調査ノ結果ニ依リマシテ、マルデ變化ヲヌカト言ヘバ左様ナコトハ無論——サウ
云フ非常識ノコトハナイノデアリマスカラ、ソレハ常識ニ依テ御判斷ニナツテ然ルベシト考
ヘマス、今日ノトコロニ於テハ政府ハ三百圓デ差支ナイ、三百圓ガ適當ナリト斯様ニ信
ジテ居ルデアリマス

○高野金重君 私モ一二質問ガアルノデアリマス

○議長(島田三郎君) ドナタデスカ

○高野金重君 高野金重

○議長(島田三郎君) 高野金重君

○高野金重君 私人信ズル所ニ依リマスル、此簡易保險ト稱スルモノハ唯保險金額
ノ小ナル普通ノ保險デアツテ、而シテ唯異ナル所ハ無診査ト云フニアルデアリマス、ソレ
デ保險料ガ唯今大臣ノ御話ノ通りニ非常ニ高イノデアリマスカラ、通常ノ保險ニ比較シ
テハ簡易保險ニ入ル、被保險者ト云フモノハ比較的身體ノ弱イ人が這入ルヤウニナルデ
アリマス、若モ身體ノ健康ナルモノデアツタナラバ簡易保險ニ拂フ程ノ保險料ヲ拂ツタナ
ラバ、民間ノ普通ノ保險ノ四百圓若シクハ五百圓ノ保險ニ入レルノデアリマスカラ、比較
的不健康ナル被保險者ガ簡易保險ニ入ル結果ニナルデアラウト思フノデアリマス、サウス
ルト營利ノ事業デアリマセヌケレドモ、其收支償ハヌコトニナルノハ申スマデモアリマセヌ、
サウ云フ場合ニ政府ハ此費用ガ足ラヌ場合ニハ、簡易保險ニ對シテ國庫ヨリ補助スル

ト云フ御考ガアルノデアリマセウカ、若シ其御考ガアルナラバ其補助金額ノ豫定ハドノ位
アルカト云フコトガ第一ノ質問デアリマス、第二ハ本案ノ施行期日ト云フモノハ勅令ニ
依テ定メルト云フコトニナツテ居リマスガ、ソレハ政府ノ御内意ハ大凡何時頃デアルカ或
ハ三年後デアルカ五年後デアルカ、其點ヲ伺ヒタイ

(遞信大臣箕浦勝人君登壇)

○遞信大臣(箕浦勝人君) 第一ノ御尋ノ要點ハ何デスカ、少シ聴取レマセヌデシタガ
○高野金重君 ツマリ此簡易保險ニハ不健康ナル被保險者ノミ集ル……
○遞信大臣(箕浦勝人君) 國庫ノ補助デスカ
○高野金重君 補助スル積リナラバドノ位ノ金額ヲ御出シニナル積リカト云フコトデア
リマス

○遞信大臣(箕浦勝人君) 是ハ先ヅ二十萬圓ヲ國庫カラ補助スルト云フコトニナツテ
居リマス、御尋ネノ通り是ハナカノ危険ノ多イモノデアリマス、ソレ故ニ先刻モ申上ケル
通り餘程大規模デ、大仕掛デヤラナケレバ平均ガ取レナイ、ソレ故ニ獨占ト云フコトモ此
處カラ出テ居ルノデアリマシテ、ソレニ致シマシテモ初メノ中ハドウシテモ補助ガ無クテハナ
マイ、故ニ先ヅ國庫カラ二十萬圓ヲ補助スルト斯ウ云フコトデアリマス、又施行期限ノコト
ハ大凡六箇月後ニハ行フト云フ考デアリマス、併ナガラソレハ勅令ヲ以テ更ニ適當ナル
場合ニ定メ、大凡六箇月後ニハ施行ガ出來ルト斯様ニ考ヘテ居リマス

○議長(島田三郎君) 次ニ移リマス

○加瀬禮逸君 私モ主務大臣ニ御尋ヲ致シタイ、細カイ事ハ無論此席ニ於テハ遠慮
ヲ致シマス、殊ニ多數ノ方ガイロノ質問ヲサレタガ、唯一點確メテ置キタイノデアリマ
ス、先刻武藤君ヨリノ民業壓迫ノ虞ナキヤノ質問ニ對シマシテ、主務大臣ハ民業壓迫
ノ虞ナシ、故ニ普通保險業者ノヤラザル方法ノ保險ヲスルノデアル、斯様ニ申サレタ、其
意味ハ身體ノ検査ヲ行ハサルコト、竝ニ保險料ヲ徵收スル等ノ手續ニ於テ、普通民業
者ノ爲スヨリモヨリ多クノ手續ヲ厭ハズ、費用ヲ厭ハズヤル、故ニ普通一般ノ業者ハヤリ
得ナイノデアルカラヤルト云フノデアル、此御説明ガ果シテ民業ヲ壓迫スルヤ否ヤハ、更ニ
統計其他ニ付テ之ヲ論ゼバ私ハ直ニ明言ハ致サレマセヌ、隨テ本案ノ贊否ハ俄ニ決ス
ベカラザルモノデアリマスガ、既ニ此案ガ民業壓迫ノ虞ナシト云フ御趣意ノアル以上ハ、
假ニ此案ガ通過スルモノト致シマシタ場合ニ於テ、普通ノ民業者ガ此案ト内容ヲ異ニシ
タル保險、即チ身體検査ヲ爲ストカ其他取立ノ手續、保險ノ種類ノ方法等ニ於テ異
ナルノデアッタナラバ、三百圓以下ノ金額ノ生命保險契約ト雖モ、政府ハ之ヲ締結ヲ爲
サシメル御考デアリマスカドウカ、ツマリ此簡易保險案ト内容ヲ異ニスル保險、言ヒ換ヘ
レバ今日普通ニ行ハレツ、アルトコロノ保險ノ金額、三百圓以下ノモノヲ契約セムトスル
場合ニ於テ、政府ハ之ヲ拒マザルヤ否ヤ、之ヲ伺ヒテ置キマス

(遞信大臣箕浦勝人君登壇)

○遞信大臣(箕浦勝人君) 金額三百圓以內ヲ契約スルコトヲ出願スル者ガアツテ、
許サヤ否ヤト云フ御尋デアッタノデスカ
○加瀬禮逸君 普通ノ保險ナラバ三百圓ノ契約ヲ締結ヲ許シマスガ、聞ク所ニ依レ
バ——尙申上ゲマスガ、先刻武藤君ヨリ民業壓迫ノ虞アルコトヲ證スベキ統計ヲ舉ゲテ

論ゼラレマシタトコロ、主務大臣ハソレハ古キ時代ノ保險契約、即チ三百圓以下ノモノ
ガ籠テ居ルガ、今日ノ新契約ニ於テハ三百圓以下ノモノハ殆ド無イノデアル、保險率ガ
上テ居ルト云フコトデアリマシタガ、實際ノ伺ヘバ明治四十年以來政府ハ三百圓以下
ノ契約ヲ爲スコトヲ當業者ニ許サナイ方針ヲ執ッテ居ッタノデアリマス、故ニ民業壓迫ノ
虞ナシト云フ斷定ナラバ、普通ノ契約ナラバ三百圓以下デモ許シテモ宜イト思ヒマスガ、
此案ト内容ヲ異ニスル普通ノ保險契約デアルナラバ、三百圓以下ノ契約ト雖モ締結スル
ノ自由ヲ許サヤ否ヤ、ソレヲ伺ヒマス

(遞信大臣箕浦勝人君登壇)

○遞信大臣(箕浦勝人君) 農商務省ガ四十何年以來執リ來ッタ方針ト云フノハ、ド
ウ云フ主意ニ基イテ居ルカ能ク分リマセヌガ、多分左様ナ小サイ普通ノ保險ノ組織デア
ルナラバ、左様ニ小サイ金額ノモノヲ取ルト云フコトハ、一般ノ此事業ノ基礎ヲ危ウスル
ト云フヤウナ見解デアラウカト思フ、ソレハ能クハ存ジマセヌガ、多分サウデハナイカト思フ、
是ハ前ニ申シマシタ通りニ小額保險ヲ取ルト云フコトハ甚ダ不利益ノコトデアル、ソレ故
ニ其割ニ合ハヌ故ニサウ云フ割ノ合ハヌモノヲ取ルト、他ノ宜イモノヲ害スルト云フコトニ
ナリマスカラ、ソレ故ニ斯様ナコトヲスレバ即チ其會社ノ基礎ヲ危クスルト云フコトヲ恐レ
テ、會社ヲ保護スル爲ニ許サナカッタラウト思ヒマス、併ナガラ是ハ私ノ推測デアリマスガ
ラ能ク分リマセヌガ、此後モ多方其方針ヲ續ケテ、此以下ノモノハ許サヌト云フコトニナ
ルダラウト思ヒマス

○成田榮信君 本案ハ最も重大ナル問題デアリマスカラ、併シ今日ハイロノ質問モ
アリマシテ、私ハ一二ノ點ヲ質問致シテ置キタイト思ヒマス、第一番ニハ經營上ニ就テハ
射利主義デアルカ、非射利主義デアルカ、言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ利益主義デアルカ、
利益ハ要ラナイノデアルカ、斯ウ云フ主意ニ於テ一ツ伺ヒテ置キタイ、從テ起ル問題ハ、
若シ利益アリトセバドウ云フヤウナル方法ニ於テヤルカ、或ハ被保險者ニ之ヲ割戻スカ、
其方法如何、又餘リニ損ガアルナラバ之ヲ又死亡率ノ上ニ於テモドノ様ナル方法ニ於テ
ヤルカト云フコトヲ伺ヒテ置キタイ、第二ニハ此民間ノ保險會社ト競争スル意味デナ
イ、サウ云フ様ナル此立法ノ精神デハゴザイマスマイガ、事實ノ上ニ於テ此競争ノ姿ニナ
ル、其結果ノ民間ノ四十有餘ノ會社ガアリマスガ、是ガ益衰退ニ赴キ、其結果社會
ニ害毒ヲ流スコト少シトセズ、所謂此會社ガ悉ク倒レルト云フヤウナ危殆ニ瀕シタ時ニ
ハ、政府ハ是等ノ既設會社ニ對シ、如何ナル所見ヲ持テ居ルカ否ヤ、第三番目ニハ附
加保險料ノ計費ハ如何ナル方法ノ意味ニ於テヤルカ、附加保險料ハドノヤウナ見積
立ッテ居ルカト云フヤウナ點ヲ、一二箇條聽キマシテ、後ノ詳細ハ委員會モアリマセウカ
ラ十分ニ承ッテ、吾々ハ贊否ヲ決シタイト思ヒマス

(遞信大臣箕浦勝人君登壇)

○遞信大臣(箕浦勝人君) 利益ヲ加入者ニ分ケルカ分ケヌカト云フコトデアリマスガ、
段々極メテ精密ナル計數ニ基イテアリマスノデ、利益アル場合ハ無論加入者ニ分ケル、
決シテ之ヲ以テ營利ニスルノデアリマセヌカラシテ、非營利ト云フ主義ヲドモデモ貫ク
ノデアリマス、ソレカラ其次ノ御尋ハ何デアリマシタカ
○成田榮信君 競争ヲシナイト云フガ、若シ競争ガ事實ノ上ニ於テ、競争デ既設會社

ヲ倒スト云フヤウナ事實ノ上ニ於テ結果ガ現ハレテ來タラバ、此既設會社ヲ買收スル
ト云フ見込ヲ立テ居ルヤ否ヤ

○逓信大臣(箕浦勝人君) 政府ハ此簡易保險ヲ實行スル爲メニ、ソレガ爲ニ私設
會社ガ倒レルト云フコトハ想像シテ居リマセヌ、又左様ナ想像ハ全ク無イデアリマス

○成田榮信君 若シアリトセバ

○逓信大臣(箕浦勝人君) サウ云フヤウナ想像ハナインデス、又サウ云フコトハ起リ得
ナイト考ヘマス、若シ其會社ガ何カ他ノ原因デ倒レルコトガアルカモ知レマセヌガ、ソレハ
無イト考ヘテ居リマス、ノミナラズ政府ハ一體ニ普通ノ保險ニ對シテハ十分其保險會社
ノ營業ニ就テ、出來得ルダケノ便利ナル事柄ハ、成ルベク力メテヤルト云フ考ヲ持ッテ居
リマス、ソレカラ附加保險料ノコトデアリマスガ、附加保險料ハ純保險料ノ三割、斯様
ニナッテ居リマス

○福田又一君 第四ノ日程ニ入ランコトヲ望ミマス

○田邊熊一君 私ハ極メテ簡單デアリマスガ、必ズ本案ハ委員會ニ於テ十分ニ審議
討論ガ出來ルコト、思ヒマスカラ、其際ニ質問ヲスル筈デアリマスケレドモ、鈴木萬次郎
君ノ質問ニ對シテ逓信大臣ノ御答辯ニ就キマシテ、一言簡單ニ御説明ヲ請ハナケレバ
ナラヌコトガゴザイマス、吾々ハ本案ハ民業ノ發達ヲ阻害スル甚シキモノデアルト斷言スル
ヲ憚ラヌデアリマス、併シ是ハ議論ニナリマスカラ其以上ハ申シマセヌガ、鈴木君及ビ
片岡直溫君ノ如キ、逓信大臣所屬ノ同志會員諸君ガ、本案ハ民業ヲ壓迫シ之ヲ奪
取セントスルハ斷ジテ忍ブ能ハザル所ナリト云フ、此建議案ヲ出サレルト云フコトデ、議員
ノ手許ニ迴ッテ居リマスガ、本案ガ民業ノ發達ヲ阻害スルカ否ヤト云フコトハ……、唯程
度ノ問題デアル、發達シテ居ル、發達ヲ害スルト云フコトハナイト認メテ居ルト思フデア
リマス、私共密カニ漏レ聞ク所ニ依レバ、政府ハ本案ハ開會ノ劈頭ニ提出シテ、而シテ
協賛ヲ求ムル意志デアッタケレドモ、有力ナル反對ノ爲ニ今日マテ議會ニ提出スルコトガ
出來ナカッタト云フ話デアル、而シテ更ニ其内容ハ二百圓ノ限度ノ金額ハ百五十圓若
クハ二百圓ニ低下シテ、之ヲ通過セシムル内意デアルト云フコトヲ或人ニ漏ラシテ、或人
ハ既ニ之ヲ承諾シタト云フヤウナコトヲ聽イテ居リマスガ、委員會ニ於テ果シテ此ノ如ク修
正シテ本案ヲ通過スルト云フコトデアラナラバ、政府ハ自信ナキ案ヲ本議會ニ提出シテ、
内部ニ八百圓ヲ期スルト云フコトデアッタナラバ、賢明ナル逓信大臣ノ面目ヲ如何ニセラ
ル、カ、本員ハ委員會ニ於テスル前ニ、本會議ニ於テ此一言ヲ責任アル吾々ノ尊敬スル
逓信大臣ヨリ御答アランコトヲ望ミマス

(逓信大臣箕浦勝人君登壇)

○逓信大臣(箕浦勝人君) 御尋ノヤウナコトハナインデアリマス、何カ反對論ガアッテ
ソレデ提出ヲ延期致シタト云フコトハナインデアリマス、調査ニ手間ヲ取リマシタケレドモ、
出來上リマシタカラ今日出シタノデ、一向他ニ原因ハアリマセヌ、ソレカラ又委員會ニ於
テ修正ヲ加ヘルト云フヤウナ約束ハ何モアリマセヌ

○議長(島田三郎君) 次ノ日程ニ移リマス、日程第四、右議案ノ審查ヲ付託スヘキ
委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

○議長(島田三郎君) 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○福田又一君 本案ハ議長指名二十七名ノ特別委員ニ付託シ審查セシメラレンコト
ヲ望ミマス

○議長(島田三郎君) 福田君ノ說ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 御異議ガナケレバ福田君ノ說ノ通り議長指名二十七名ノ委
員ニ付託スルコトニ決シマス

○福田又一君 此場合ニ於テ日程ヲ變更致シマシテ、第十一第十二第十三ノ日程
ナル市制中改正法律案、町村制中改正法律案、府縣制中改正法律案、此三案ヲ併
セテ議題ニ供セラレンコトヲ望ミマス

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 日程變更ノ動議デアリマスカ

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 御異議ガアリマセヌケレバ日程ヲ變更スルコトニ致シマス、政府
ノ同意ヲ求メマス——政府ハ同意致シマシタ、依テ日程ハ變更セラレマシタ、即チ第十
一、第十二、第十三ヲ繰上ゲテ一括シテ議題ト致シマス、委員長ノ報告ヲ求メマス——
青木磐雄君

市制中改正法律案(小橋藻三衛君提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

町村制中改正法律案(小橋藻三衛君提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

府縣制中改正法律案(小橋藻三衛君提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

(「青木磐雄君登壇」)

○青木磐雄君 委員會ノ結果ヲ報告致シマス、付託ニナリマシタル案件ハ、府縣制中改正
法律案ト市制中改正法律案ト、町村制中改正法律案ト三ツデゴザイマス、其提案ノ趣
意ハ府縣制中ニ於キマシテ、禁錮以上ノ刑ヲ宣告ヲ受ケマスルト、直グニ縣會議員ノ被
選舉權ヲ失フコトニナッテ居リマス、ソレヲ確定裁判ノ後ニ失ハセタイト云フノガ趣意デゴザ
イマス、ソレカラ市制中及町村制中モ同様ノ意味デゴザイマシテ、禁錮以上ノ刑ヲ宣告ヲ
受ケレバ、公民權モ共ニ喪失サセルト云フコトニ兩方共ナッテ居リマスカラ、是モ裁判確定
ノ後ニ公民權ヲ停止サセタイト云フノガ提案ノ趣意デゴザイマス、就キマシテハ府縣制ノ第
三十七條ノ一項ニアリマス「禁錮以上ノ刑ヲ宣告ヲ受ケタル者」ト云フヲ改メマシテ
「禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者」ト改メタイト云フノト、ソレカラ市制及町村制中ノ同
「禁錮以上ノ刑ヲ宣告ヲ受ケタル者」トアリマスノヲ市制ニハ即チ第十一條ノ二項、又
町村制デアリマスト其九條ノ二項、此二項ノ「刑ヲ宣告」ト云フヲ改メマシテ刑ニ處
セラレタルトキハ公民權ヲ停止スル、斯ウ云フコトニ致シタイト云フノデゴザイマス、其理
由ハ極メテ簡單デゴザイマシテ、裁判ノ宣告ヲ受ケタメニ直ニ此貴重ナル公民權ヲ失
ハセ、又ハ停止スルト云フノハ今日ノ他ノ法律ニ照合ハセマシテモ、亦今日ノ總テノ人
權暢達ヲ圖ラナケレバナラヌト云フ上カラ申シマシテモ、此儘ニ置ケナイト云フニアルノ

アリマス、即ち確定シテ裁判ナケレバ何時如何ナル變化ガ起ルカ分ラヌカラ、是非確定シタモノニシタイト云フノアリマス、ソコニ此付託ニナリマシタ案中ニ、齋藤隆夫君カラ御提出ニナリマシタ「裁判確定後」トナッテ居リマスケレドモ、小橋君カラ御提出ニナリマシタル「處セラレタル者」ト云フ方ニ委員會ハ一致シタ「デゴザイマス、ト云フノハ其處セラレタルト申シマスノモツマリ裁判確定ト云フ意味ヲ含マレテ居ル積リデゴザイマスガ、他ノ法律ニ於キマシテ總テ「處セラレタル」ト云フ文字ヲ使ッテ、裁判確定ト云フ意味ニ通ジテ居リマスカラ、ヤハリソレニ一致ノ歩調ヲ取ラタメニ此改正案モ「處セラレタル」ト云フニシタ「デゴザイマス、現ニ衆議院議員選舉法ニ於キマシテモ、其百一條百二條アタリニヤハリ處セラレタルト云フ文字ガ使ハレテ居ッテ、裁判確定ト云フ意味ガ含シテ居リマスノデゴザイマス、此ノ如ク總テノ法律ニ於テ處セラレタルト云フ文字ガ、裁判確定ト云フ意味ヲ持ッテ居リマスカラ、ソレト一致ノ歩調ヲ取ラタメニ小橋君ノ提案ノ如ク「處セラレタル者」ト云フ文字ニ改メテ、前段申シタ如ク此ニツノ法律ヲ此ノ如ク改正シタ趣意デゴザイマス、サウ致シマシテ委員會ハ全會一致ヲ以テ之ヲ可決シタ「デゴザイマス、唯政府委員ハ之ニ向ッテ不同意ヲ唱ヘテ居ラレマシタケレドモ、其理由ハ頗ル薄弱ト認メマシタノデ、委員會ハ之ヲ採用致シマセヌカッタ「デゴザイマス、此段御參考ノタメニ附加ヘテ御報告致シテ置キマス、ドウカ本會ニ於キマシテモ委員會ノ通リ可決アラント希望致シマス

○議長(島田三郎君) 別ニ發議ガナイト認メマス、此三案ニ付テ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(島田三郎君) 異議ナイト認メマス、依テ第二讀會ヲ開クコトニ致シマス

○福田又一君 直ニ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略致シマシテ委員長ノ報告通リ可決確定セラレンコトヲ望ミマス

市制中改正法律案

町村制中改正法律案

府縣制中改正法律案

○議長(島田三郎君) 福田君ノ議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(島田三郎君) 委員長ノ報告通リト云フ福田君ノ議ノ通リニ決シマス、確定致シマシタ、日程第五、北海道會法中改正法律案、第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長金子三郎君

第五 北海道會法中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

〔金子三郎登壇〕

○金子三郎君 北海道會法中改正法律案ノ委員會ノ經過結果ヲ御報告申上ゲマス、本案ノ議員ノ任期ヲ延長致シマスコト、決算報告ヲ一年繰上ゲマスト云フコト、其他ハ府縣制ト條文ヲ同クスト云フコトノ改正アルノデアリス、總テ其任期延長

ノコトナドモ、府縣制ニアリマスコト、同様ナコトデアリマシテ、大體ニ於テ多クノ異議ナシデアリマスガ、唯此八條中「禁錮以上ノ宣告ヲ受ケタル者ヲ除クノ外」斯様ナ條文ガデゴザイマシテ、此事柄ニ付キマシテハ、唯今此處デ御決議ニナリマシタ府縣制市町村制等ニアリマス此改正案ガ本院ニ提出サレテアリマスカラ、若シ此三案ニシテ本院ガ確定スルト云フヤウナコトガアリマスレ、ハ此原案ト相違ヲ來スヤウナコトニナリマス、又是ガ果シテ其以前ノ二案ガ本院ヲ通過致シマスカドウカハ、ハ別ノ問題ト致シマシテモ、若シ他日此刑ガ確定致シマシタモノヲ、所謂宣告ヲ受ケタト云フ宣告主義デナシニ、確定主義ノ立法例ガ出來タトキハ、之ヲ改正スルト云フコトニ付テ、委員カラ政府ニ質問ヲ致シマシタコロガ、政府ハ左様ナ場合ニ於テハ此條文ヲ改メルトニ付テモ吝ナラヌ、斯様ナ答辯ヲ得テ居リマス、故ニ唯今府縣制ノ改正案ガ通過致シマシタニ付テハ、此原案其儘デアリマシテハ院議ガ二ナリマスカラ、定メシ是ハ議場ニ於テ修正意見ノ出ルコトデアラウト信ジマスケレドモ、委員會ニ於テハ既ニソレ等ノコトヲ考慮シテ意見ヲ述ベ、且ツ政府ノ答辯等モ得テ置キマシタヤウナ次第デアリマスカラシテ、此條文ガ改マルコトニナリマシテモ、委員會ノ意見ハソレニ相反シテ居ラヌト云フコトヲ此處ニ附加ヘテ申シテ置キマス、又本法改正スルニ當ッテハ豫テ北海道會ニ於テハ種々改正ノ希望ヲ以テ屢々決議シタ事ガアリマスルデ、ソレ等ニ付テハ此改正ヲ致スニ當ッテ、何故ニ政府ハソレ等ノ事ヲ改正シナカッタカ、又政府ガソレ等ノ事ニ付テ改正スル意志ガナカッタカ、斯様ナコトヲ委員會デ尋ネマシタコロガ、政府ハ此他ニ於テモ府縣制ト同一ナラシメル意味合ノ上ニ於テ改正スルベキコトガアラウト思フ、ケレドモソレハ十分ニ研究ヲシナケレバナラヌト思ウテ居ルシ、免モ角モ此本法ノ任期延長ノコトハ、本年八月道會議員ノ選舉ニ當ッテ居リマスカラシテ、之ヲ總テ研究スル爲メニ時日ヲ長クシテ置クコトガ出來ナイ、故ニ先ヅ取敢ズ此差掛ッタ必要ノ事柄デケラ提出シタノデアル、斯様ナコトデ、併シ其又道會デ決議ヲ致シマシタ事ノ中ノ最も重大ナル一ノ事柄ハ、水産稅納入者ハ同道有權者デナイ、北海道會法ノ上ニ於テハ資格ヲ與ヘテ居ラレナカッタ、故ニ此本法ノ改正スル場合ニ當ッテ、必ず水産稅納入者ニ向ッテモ權利ヲ與ヘルト云フコトヲ此法文ノ中ニ加ヘテ貰ヒタイ、必ず加ヘラレンコトヲ希望スル、斯様ナ希望ヲ全會一致ヲ以テ述ベテ置キマシタ次第デ、右申上ゲマスルヤウナ次第ヲ以テマシテ、本案ハ總ベテ原案ノ通リニ全會一致可決致シマシタ次第デゴザイマス、此段御報告致シマス(拍手起ル)

○議長(島田三郎君) 本案ニ付テハ第二讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(島田三郎君) 第二讀會ヲ開クコトニ決シマシタ

○福田又一君 直ニ第二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

○議長(島田三郎君) 福田君ノ説ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(島田三郎君) 直ニ第二讀會ヲ開キ議案全部ヲ議題ニ供シマス、通告ガアリマス、齋藤隆夫君

北海道會法中改正法律案

第二讀會

(齋藤隆夫君登壇)
(拍手起ル)

○齋藤隆夫君 原案ニ對シテ簡單ナル二箇ノ修正ヲ提議致シマス、第一ハ「第五條中第二號及第三號ヲ左ノ如ク改メ第四號ヲ第五號トシ以下順次繰下ク」斯ウアリマス、第二號第三號及第四號ヲ左ノ如ク改ム、斯様ニ修正ヲ致シマス、此修正ハ如何ナルコトアルカト云フト、第五條ハ道會議員ノ選舉權及被選舉權ノ無資格者ヲ列記シテ條文アリマス、其第四號ニ於キマシテ「禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタルトキヨリ其ノ裁判確定ニ至ル迄ノ者」ト云フ條項ガアルノデアリマス、之ヲ削除スルト云フノガ修正デアリマス、第二ハ第八條中「禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタル者」斯様ニアリマス、之ヲ「禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者」ト斯様ニ改ムルノデアリマス、是ハ第五條ノ修正ノ結果トシテ當然起ルベキ所ノ修正デアリマス、修正ノ理由ハ申上ケルマデモゴザイマス、先程可決セラレマシタル所ノ市制、町村制、府縣制ノ改正理由ト同一デゴザイマス、ルカラシテ、願クハ諸君ノ御賛成ヲ得マシテ、此修正案ノ成立スルコトヲ希望致シマス

(贊成々々「ト呼フ者アリ拍手起ル」)

○議長(島田三郎君) 定規ノ贊成ガアレバ議題ト致シマス

(贊成々々「ト呼フ者アリ」)

○議長(島田三郎君) 定規ノ贊成ガアルト認メテ修正案ヲ議題ト致シマス、別ニ異議ガナケレバ採決致シマス

(異議ナシ「ト呼フ者アリ」)

○議長(島田三郎君) 異議ガナシト認メテ齋藤隆夫君ノ修正ニ決シマス、其他ノ部分ニ付テハ委員長報告ノ通り決定致シテ異議アリマセヌカ

(異議ナシ「ト呼フ者アリ」)

○議長(島田三郎君) 異議ナシト認メテ左様ニ決シマス

○福田又一君 直ニ第二讀會ヲ開カレ、第二讀會決定ノ通り可決確定セラレムコトヲ望ミマス

○議長(島田三郎君) 福田君ノ說ニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ「ト呼フ者アリ」)

北海道會法中改正法律案

第三讀會

○議長(島田三郎君) 直ニ第二讀會ヲ開キ、第二讀會決議ノ通り可決確定致シマス、日程第六、砂鑛法中改正法律案第一讀會ヲ開キマス、提出者戸叶薫雄君

第六 砂鑛法中改正法律案(戸叶薫雄君提出)

第一讀會

砂鑛法中改正法律案

砂鑛法中左ノ通改正ス

第一條第一項ヲ左ノ如ク改ム
本法ニ於テ砂鑛ト稱スルハ砂金、砂白金、砂錫、砂鐵、砂重石及其ノ他ノ砂鑛ヲ謂フ

第四條但書中「砂金」ヲ「砂鑛」ニ改ム

第六條第一項及第二項中「砂金」ヲ「砂鑛」ニ改ム

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(戸叶薫雄君登壇)

○戸叶薫雄君 私ハ砂鑛法中改正法案ニ關シ提出ノ理由ヲ極メテ簡單ニ申上ケ、併セテ諸君ノ御賛助ヲ請フ積リデゴザイマス、近來鑛山事業ノ益、隆盛ニナルニ伴レマシテ、此砂鑛界ノ發展モ著シキ進步ヲ見テ居リマス、殊ニ歐洲ノ動亂ノ結果、我鑛業界ハ非常ニ活氣ヲ呈シ來リ、尙將來ニ於テモ此盛況ヲ持續シ得ルコトヲ期待シテ居リマス、此理化化學工業ノ發展スル同時ニ、此砂鑛界ハ從來ニナク將來ニ於テ亦非常ナル發展ノ見込ガゴザイマス、當業者トシマシテモ此機會ヲ利用シ此氣運ニ乘ジマシテ大ニ發展ヲ熱望シテ居ルノデアリマス、然ルニ我砂鑛法ハ明治四十二年ノ發布ニ係ルモノデ制限的ニ規定シテ居リマス、即チ第一條ニ「本法ニ於テ砂鑛ト稱スルハ砂金、砂鐵及砂錫ヲ謂フ」此三種ヲ規定シテ居リマス、此以外ノ砂鑛ハ實際ニ於テ現ニ之ヲ採鑛若クハ採掘致シツ、アリマスケレドモ、本法ニ所謂砂鑛ト認メナイ爲メニ、法ノ適用ヲ爲スコトヲ得ズシテ當業者ハ勿論、此砂鑛ノ關係者モ非常ナ不便ヲ蒙リ居リマス、ソレノミナラズ一般鑛業界ノ上ニ於テモ此進步ノ上ニ阻害ヲ致シテ居リマス、ハ甚ダ遺憾ニ堪ヘマセヌ、故ニ此第一條ヲ左ノ如ク改正致シタイノデス「本法ニ於テ砂鑛ト稱スルハ砂金、砂白金、砂錫、砂鐵、砂重石及其ノ他ノ砂鑛ヲ謂フ」即チ從來ノハ砂金、砂錫、砂鐵トアツタノ砂白金、砂重石其他ノ砂鑛ヲ謂フ、此三種ヲ入レタイノデゴザイマス、是ハ何等政治上ノ問題デモゴザイマス、此當業者ノ便宜ヲ計リ、且工業界ノ將來ノ發展ヲ期待スベク是非共此三項ヲ入レテ戴キタイト云フ單純ヲ希望ニ過ギマセヌ、説明ハ甚ダ簡單デアリマシテ且詳細ニ至リマシテハ委員會デ尙説明ヲ致ス積リデアリマス、宜シク諸君ノ御審議ノ上御賛成アラフコトヲ希望致シマス(拍手起ル)

○福田又一君 本案ヲ議長指名九名ノ委員ニ付託シ審査セシメラレムコトヲ望ミマス

(異議ナシ「ト呼フ者アリ」)

○議長(島田三郎君) 御異議ガナケレバ議長指名ノ九名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマス、日程第七、實用新案法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス——津末良介君

第七 實用新案法中改正法律案(津末良介君外三名提出)

第一讀會

實用新案法中改正法律案

實用新案法中左ノ通改正ス

第九條第二項ヲ左ノ如ク改ム

前項ノ期間ハ三年間之ヲ延長シ更ニ四年間之ヲ延長スルコトヲ得
第十四條第二項ヲ左ノ如ク改ム

實用新案權存續期間ノ延長ヲ請求スル者ハ每件登錄料トシテ第一回ノ延長ニ在リテハ金二十圓、第二回ノ延長ニ在リテハ金八十圓ヲ納付スヘシ

(津末良介君登壇)

(拍手起ル)

○津末良介君 私ハ實用新案法ノ改正法律案ヲ提出ヲ致シマシタカラ、其提出者ノ一個ト致シマシテ茲ニ其提案ノ理由ヲ説明ヲ致シマス、其以前ニ當リマシテ此提出シテ居リマス第十四條ノ第二項ノ一番末葉ニ「金八十圓ヲ納付スヘシ」トアル、此八十圓ハ六十圓ノ誤リデゴザイマスカラ、此ニ之ヲ訂正致シマス、現行ノ實用新案法ノ第九條ニ依リマスレバ、其第一項ニ三箇年ノ期間ヲ認メ第二項ニ於キマシテ三箇年之間ノ延長スルコトヲ許シテ居リマスガ、此前後ヲ通ジテ六箇年之間ノ新案權保存期間ガ短キニ失スルノデアリマスデゴザイマスカラシテ、此ノ立法ノ目的ヲ十分ニ貫徹スルコトハ出來ナイノデアリマス、故ニ此條文ヲ尙四年間ダケ更ニ延バスコトニ致シマシテ、新案權者ノ權利ヲ保護シタイト云フコトガ提案ノ目的デゴザイマス、ツレカラ第九條ノ改正ニ伴ヒマシテ、當然同法ノ第十四條ノ第二項ヲ改正スル必要ガアルノデ、十四條ノ第二項中ニハ第一回ノ三箇年之間ノ延期ヲスル時ニ於キマシテ、登錄料金三十圓ヲ納付スベシト云フ規定ニナッテ居リマス、デゴザイマスカラシテ更ニ之ヲ四年間延長スルコトニ致シマスレバ、之ニ對シテ或ル登錄料ヲ納付セシムル必要ガアルノデ、ツレ故ニ此第二回ノ延長ニ付キマシテハ、六十圓ノ登錄料ヲ納付セシムル所ノ規定ヲ拵ヘタノデゴザイマス、デ私ハ今此改正案ノ理由ニ付キマシテ説明致シテ見タイト思ヒマス(「簡單々々」ト呼フ者アリ)現行法ノ存續期間ハ餘リ短ク致シマシテ、發明者ノ保護ノ目的ヲ達スルコトハ出來ナイノデゴザイマス、此新案品ハ獨占的ノ事業デゴザイマスカラシテ、定メテ利益アルダラウト世ノ中ノ人ハ思フテ居リマスガ、事實ハ之ニ反シテナカ(「其取路ヲ收メルト云フコトガ困難デゴザイマス、我國民性ト致シマシテ新シイ物ニ風向スルト云フコトヲ極メテ嫌ウノデゴザイマス、又此商賣人モ問屋業者クハ小賣業者ヲ營ンテ居ル所ノ者ガ、此新シイ所ノモノヲ歡迎スルト云フコトガ極メテ少イノデアリマス、ツレ故ニ此取路ヲ求メルト云フコトガ頗ル困難ナノデアリマス、デ最初ノ三箇年之間位ハ大抵利益ナシニ過ギテシマフノデアリマス、後ノ延長ノ三箇年之間位ハ多少ノ取路ハ得ラレルト云フヤウナ實狀ニナッテ居ルノデアリマス、デ我國ノ此發明者ハ大抵無資産ノ者ガ多イノデゴザイマス、デ資産資金トノ聯絡ガ極メテ國狀ハ惡イノデ、ツレ故ニ多クハ或ル收益ノアルコトヲ發明ヲ致シマシテモ、之ヲ實地ニ應用スルト云フコトニ付キマシテ、多クノ歲月ヲ要スルノデアリマス、左様ナ次第デゴザイマスカラシテ、ドウモ發明者ノ苦心ヲ十分救済シ保護スルコトガ不十分デアリノデアリマス、殊ニ最モ著シク感ズルノハ、外國ノ市場ニ取路ヲ求ムル所ノ新案品ハ最モサウ云フ感シガアル、是ハ現ニ當局者モ其必要ヲ認メテ居ルヤウニ思ヒマス、第二ノ理由ト致シマシテハ此特許權ト新案權トノコトニ付キマシテ比較ラシテ見マスルト云フト、法ガ保護スル上ニ於テ非常ナ差異ガアルノデアリマス、其特許ト云フモノハ創業的ノ新案新規發案ニ係ル所ノモノヲ保護スルコトヲ法律デアリマス、又既存品ニ或ハ施設改良ヲ施ス物ニ付キマシテ保護スル法案ガ即チ此新案法デゴザイマス、而シテ其保護ノ意味ニ就キマシテハ其性質ト同ジデアリマス、然ルニ拘ラズ兩者共ニ發明獎勵ノ目的トシテ

居ルノニ、我國ノ現在ノ立法ヲ見マスレバ、一ハ即チ特許權ニ於キマシテハ最長二十五年ニナッテ居リマス、新案權ハ僅ニ六年デゴザイマス、其間ニ非常ナ差異ガアルノデアリマス、又此意匠ト新案ノ現行法ヲ比較シテ見マスレバ、意匠法ハ十年ニナッテ居リマス、然ルニ新案法ハ六年ニナッテ居リマス、意匠ト申シマスノハ申スマデモアリマセカ、此或ル物品ニ美術的ノ裝飾ヲ施シマシテ、サウシテ人類ニ美感ヲ感ゼシムル所ノモノデアリマス、今ノ新案法ノ方ノモノハ物品ヲ改良シテ實用の價值ヲ進メル所ノモノデアリマス、ツレデゴザイマスカラシテ其方ハ新案法ノ方ニ重クシテ、而シテ意匠法ニ輕クシテ思フノデアリマス、然ルニ現在ノ立法ノ狀態ハ全ク是ガ轉倒致シテ居リマス、是等ノ諸種ノ他ノ類似法典ニ比較ラシテ見マスレバ、ドウモ此六年ト云フモノハ短キニ失スルノデアリマス、殊ニ此我國實用法案ハ獨逸ノ法案ニ模倣シタノデ、獨逸ハ既ニ吾ミト同ジ感シラシタモノト見エマシテ、數年前ニ此獨逸ハ四年間延長バシテアルノデアリマス、然ルニ我國ニ於キマシテ屢、此必要ヲ感ジタモノト見エマシテ、請願ナリ或ハ法律ノ改正案ノ形式ニ於キマシテ、屢、帝國議會ニ提出サレタノデゴザイマス、デゴザイマスカラシテ此案ハ我國ニ於テ最モ改正ヲ必要トスル案デアルト云フコトハ、既ニ世人ガ認メテ居ルノデアリマス、政府當局モ定メテ御贊成デアラウト思ヒマス、數年前ノ帝國議會ニ於キマシテハ、既ニ此衆議院ヲ通過致シマシテ貴族院ノ委員會モ通過シタノデアリマス、併シ會期ガ盡キタ爲ニ遂ニ本會議ニ於テ議了スルニ至ラナカッタ、甚ダ遺憾ナ次第デアリマス、次ニ此六十圓ト云フ金額ヲ登錄料トシテ定メタカト云フ問題デゴザイマスガ、是ハ既ニ第一ノ三箇年之間位ニ於テ六十圓ニナッテ居リマス、今年ハ四年間延長スルノデアリマス、而シテ此第二回ノ延長ヲスルノハ比較的社會ニ需用ガ多イ、而シテ社會ノ人ガ歡迎スル實用物品トシテハ(優等ノ成績ノモノガ殘ルノデゴザイマスカラシテ、之ニ多少ノ重イ登錄料ヲ課スルト云フコトハ當然ノコトデアアル、然ラバ幾ラノ限度ニスレバ宜イカト云フコトハ、他ノ特許法ナドノ其延長スル例ニ鑑ミマシテ、一箇年ヲ十五圓トシ、四箇年ヲ六十圓ト云フ計算ニ致シタノデゴザイマス、之ヲ要スルニ此改正案ハ非常ナル必要ナル問題デアリマシテ、苦心慘憺ノ結果發明シタコロノ者ナドハ、此權利保護ノ期間ノ短イノデ、其爲ニ非常ニ失望シテ居ル者モアル、極端ナル例ハ非常ナル財力腦力等ヲ費シテ、發明ノ結果期間ガ短イ爲ニ、特ニ保護ヲ受ケルコトガナナイヤウニナリマシテ、而シテ癡癲病、精神病等ニ罹ッタ者モ多クアルノデゴザイマス、此等ノ人ヲ救済スル上ニ於テハ、一刻モ早く本案ヲ上下兩院ヲ通過セシムルノ必要ガ迫ッテ居ルノデアリマス、成ベク早く本案ニ付キマシテハ御審査ノ上可決確定アラムコトヲ希望スル次第デアリマス

(拍手起ル)

○福田又一君 議長

○議長(島田三郎君) 福田又一君

○福田又一君 本案ヲ九名ノ議長指名ノ委員ニ付託シ審査セラレムコトヲ望ミマス

(「贊成々々」ノ聲起ル)

○議長(島田三郎君) 御異議ガナイト認メテ福田君ノ發議ノ如ク決シマス——日程第八、第九、第十、是ハ同一委員ニ付託シタル同一ノ議案デアリマス、一括シテ議題ト致シタイト思ヒマス、御異議アリマセカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(島田三郎君) 一括シテ議題ト致シマシテ一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長村松龜一郎君

(拍手起ル)

第八 軍人恩給法中改正法律案(高木正年君外十名提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第九 軍人恩給法中改正法律案(木津太郎君外二名提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十 軍人恩給法中改正法律案(柏原文太郎君外一名提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

〔村松龜一郎君登壇〕

○村松龜一郎君 諸君、軍人恩給法中改正法律案ノ三案ニ對シマシテ委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告致シマス、三ツノ案ハ殆ド同一ノ案デアリマシテ、唯施行期限ガ一ツ違フ居リマス、一ツハ大正六年四月一日ヨリ施行スト云フノガ一案、ツレカラ一案ハ大正五年四月一日ヨリ施行スト云フノガ一ツ、ツレカラ高木正年君カラ提出セラレマシタ案ノ中デハ屯田兵ノコトガ 他ノ二案ト違フテ屯田兵ノコトガ入ッテ居リマス、ツレカラ入ッテ居リマシテ後ノ二案ト大抵同一ニナッテ居リマス、ツレカラ此委員會ヲ開キマシタ、其委員會ニ於キマシテ陸海軍ノ政府委員ガ出席セラレマシタガ、未ダ具體的ニ確定シタモノデハナイガ、陸海軍省ニ於テモ是レノ改正ヲ希望シテ居ッテ、其希望ヲ文書ニ綴ッテ、丁度法案ノ體裁ヲ成シタモノガアル、是ハハマダ成案ニナッテ居ルモノデハナイガ、斯ウ云フヤウナ意見ヲ有ッテ居ルト云フノデ、其案ヲ委員會ノ方ニ貰受ケマシタモノガアルノデス、サウ致シマスルト丁度四ツノ案ニナリマスノデスカラ、之ヲ統一シテ一ツノ案ニ之ヲ纏メルト云フコトノ必要ヲ生ジマシタメニ、委員會ニ於キマシテハ其十八名ノ委員中ヨリ更ニ九名ノ特別委員ヲ選ビマシテ、特別委員ニ於テイロノ審査ヲ致シテ一ツノ案ヲ作ルコトニ致シマシタ、陸海軍省ノ方デ綴ラレタコトノ案ニ依リマスルト、少シ各員ノモト違ヒマシテ、名譽進級ノ者フ此中ニ含メテアッタノデアリマス、所ガ特別委員會ニ於キマシテハツレヲ入レルコトヲシナイ方ガ宜イト云フコトデ、其事ヲ削リマシテ、更ニ其特別委員會會起キマシタ問題ハ、軍人恩給法中ノ第十條第一項ノ第一號、ツレカラ第十條四條中ノ賑恤金ニ關シマスルトコロ、ツレカラ第二十七條此中ニ「戰闘ノ爲メ」ト云フコトガアルノデゴザイマスルガ「戰闘ノ爲メ」ト云フコト「公務ノ爲メ」ト云フコト區別シテアル、即チ戰闘ノ爲メ戰死シ、又ハ負傷シタル者ノ救助ノ方法ト恩給ノ方法ト公務ノ爲メニ死傷シタル者ノ手當ノ方法ガ大變テ差額ガアルノデアリマス、特別委員會ニ於キマシテハ、成程「公務ノ爲メ」ト云フコト「戰闘ノ爲メ」ト云フコトノ間ニハ多少ノ區別アルト云フコトハ致方ガナイガ、併シ縱令公務ノ爲メ雖モ戰闘ニ準ズベキモノガアルノデアル、例ヲ舉ゲテ見マスルト飛行機若クハ潜水艇ニ於テ死傷シタル者ノ如キ、若クハ前年青森縣下ニ於テ起リマシタ雪中行軍ノ際、天候ト戰死傷シタルモノ、如キ、現ニ生存シテ廢兵トナッテ居リマスル其人ヲ見ルニ、全ク兩足ノ無イ人、或ハ兩手ノ無イ人、甚ダシキニ

至ッテハ兩足兩手共ニ無イト云フヤウナ人ガアルデアル、斯ノ如キモノヲ唯公務ト云フダケニ之ヲシテ戰闘ト區別スルト云フコトハ、ドウモ其理由ガ無イノデアルカラ、戰闘ノ爲メト云フコトコロ「戰闘」ト下ニ「又ハ之ニ準ズベキ公務ノ爲メ」ト云フコトヲ入レテ、斯ノ如キ廢兵死傷者ヲ救フコトガ必要アルト云フノデ、其事ヲ入レルコトニ特別委員會會テ致シタノデアリマス、ツレハ第十條、第十四條、第二十七條ノ三箇條中ニ「戰闘」ト云フ下ニ「又ハ之ニ準ズベキ公務」ト云フ文字ヲ入レルコトニ致シマシタ、ツレカラ施行期限ニ付キマシテハ大正五年ト云フノト六年ト云フノガアリマスガ、大正五年ト申シマスレハ間モノイコトデアリマシテ、到底是ハサウ云フ法律ヲ作リマシテモ不可能アルト云フ考ヨリ、大正六年四月一日ヨリト云フコトニ致シマシタノデス、ツレカラ高木君ノ御提出ニナリマシタ案ノ中ニ此屯田兵ノコトガアルノデス、是ハ從來屢々議會ニ請願ガアッタモノデサウデアリマス、ツマリ屯田兵村ノ監視又ハ屯田兵部隊付ト云フガ如キモノニナッテ、軍隊ノ常務ニ服シタルモノハ、ヤハリ此服務ノ期間ヲ恩給法中ニ加算スルト云フコトデアリマス、是等ノ條項ニ依テ一ノ案ヲ作り、ツレカラ附則ハ是ガ最モ問題ニナルノデアリマスガ、現行法ニ據リマスルト明治四十四年四月一日以前ノ人ニハ、此恩給法ノ恩典ニ浴スル譯ニ往カナイトニナッテ居リマス、ツレガ即チ今度各案ノ提出セラレマシタ所ニ以テ、前議會ニ於テ本院ヲ通過致シマシタモノツレデアッテ、即チ其區別ヲ取ッテ明治四十四年四月一日以前ノ人デモ軍人恩給法中ノ恩惠ニ浴セシメル、即チ前後ニ依テ恩惠ニ厚薄ヲ置カナイ、斯ウ云フノガ即チ此提出ノ精神ニナッテ居リマスカラ、其附則ヲヤハリ其通りニ改メマシタ、以上申シ述ベマシタコトハ諸君ノ御手許ニ迴ッテ居リマスル通りノ案デゴザイマス、之ニ付キマシテ政府ハドウ云フ意見アルカト申シマスルト、此「戰闘」ト下ニ「又ハ之ニ準ズベキ公務」ト云フコトヲ加ヘテハ、法ノ解釋上殆ド實行ガムスカシイ、如何ナルモノガ之ニ準ズベキ公務アルカト云フコトハナカノ「容易ニ之ヲ實行スルニ困難アルト云フコトデアリマシタ、トコロガ委員會ニ於テハ先刻申述ベマシタ通りノ事柄ヲ、特ニ此本會ニ於ケル速記ノ上ニ明記シテ、サウシテ如何ナルモノガ「又ハ之ニ準ズベキ公務」デアルカ、サウ云フコトノ類例ヲ此處ニ示シテ置ケバ、解釋上敢テ差支ナイモノデアルト斯ウ認メテ、政府ノサウ云フ反對ガアルニ拘ラズ、唯今御報告致シタ通りニ致シタノデアリマス、實ニ之ニ付テ適當ナ文字ヲ頻リニ考ヘマシタノデアリマスガ、ドウモ今ノ事ヲ言ヒ現ハスベク具體的ニ之ヲ列舉致シマシタナラ免ニ角、列舉シナイノデ「一」音シテ此意味ヲ言ヒ現ハスベキ文字ハ、ドウモ適當ノ文字ヲ如何ニモ見出し難キデアリマス、已ムラ得ズ、之ニ準ズベキ公務ト云フ文字ヲ加ヘテ、サウシテ其意味ハ飛行機或ハ潜水艇若クハ雪中行軍ノ如キ場合ニ、天候ト戰死傷シタル死傷シタルト云フ如キモノハ、總テ之ニ準ズベキ公務デアルト云フコトヲ速記ノ上ニ明記シテ其標準ヲ示シテ置ク、斯ウ云フコトニ委員會ハ決シマシタ、ツレカラ屯田兵ノコトニ付キマシテハ、是ハカリナラバ五六名ノ人サウデアリマシテ、金額モ甚ダ輕少ナモノデアルカラ、政府ハ別ニ之ニ對シテ異議ハ言ハヌト云フコトデアリマシタ、併シ是レバカリ改正スルト云フコトナラサウデアリマセウガ、牽聯シテ居ルノデアリマスカラ、議案全體ニ對シテハ反對ヲ表シテ居リマス、ツレカラ最モ其反對ヲ表シタルハ附則中ノ改正明治四十四年四月一日以前ノ人ニモ、此軍人恩給法ノ恩惠ニ浴セシムルト云フコトハ、其金額ガ凡ソ三百万圓前後ノモノデアッ

テ、ナカ／＼大金デ、今日ノ財政上之ヲ承諾スル——贊成スルト云フコトハ、財政ノ上カラ甚ダ困難ナル、新舊ニ依テ恩惠ヲ異ニスルト云フコトハ甚ダ面白クナイカラ、此改正ノ主義ニハ贊成ヲ表スルケレドモ、財政上實施ノ出來ヌモノナルカラドウシテモ承諾スル譯ニイカナイ、贊成スル譯ニイカナイ、斯ウ云フ理由ヲ以テ反對ノ意思ヲ表示サレタノデアリマス、併ナガラ委員會ニ於テハ假令政府ノ右様ノ反對アルニ拘ラズ、如何様ニカ此金額ヲ求メテ、サウシテヤハリ新舊同一ノ恩惠ニ浴セシムルコトガ甚ダ相當ナコトデアラカラ、是非此法律ヲ唯今御報告シタ通りニ決定シタイ、斯ウ云フノデ、委員會ニ於キマシテハ政府ノ反對ガアルニ拘ラズ、全會一致ヲ以テ可決致シマシタノデアリマス、ドウカ本會ニ於キマシテモ、十分御討議ノ上ニ御贊成アラムコトヲ願ヒマス、委員會ノ經過ハ概略右ノ通りデアリマス

○議長(島田三郎君) 高木正年君——宜シウゴザイマスカ

○高木正年君 宜シウゴザイマス

○議長(島田三郎君) 柏原文太郎君

○柏原文太郎君 私人ハ極ク簡單デアリマスガ、二讀會ノ場合ニ於テ云フコトニ……

○議長(島田三郎君) 通告ニハ左様ニナツテ居リマセヌガ……

○柏原文太郎君 二讀會ヲ開カレタ場合ニ於テ云フ意味デアリマス

○議長(島田三郎君) サウデスカ、ソレデハ別ニ御發議ハナイト認メマス 第二讀會ヲ開クコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(島田三郎君) 異議ナシト認メテ第二讀會ヲ開クコトニ決シマシタ——次ノ日程ニ移リマス、十二、十三ハ既ニ決シマシタ、日程第十四、大阪臨港鐵道速成ニ關スル建議案、之ヲ議題ト致シマス、委員長ノ報告ヲ求メマス——委員長石橋爲之助君

第十四 大阪臨港鐵道速成ニ關スル 建議案(金澤 委員長報告)

(石橋爲之助君登壇)

○石橋爲之助君 極メテ簡略ニ報告致シマス、本委員會ハ數回ニ亙リマシテ慎重審査ヲ致シマシタ、委員何レモ熱心ニ質問セラレマシテ、半バニ於テハ政府委員トノ間ニ速記ヲ停止シテ懇談ヲモ致シマシタ結果、全會一致ヲ以テ可決致シマシタ次第デアリマス、而シテ此ニ至リマシタ經過ヲ少シバカリ申上ゲタイト思ヒマスガ、大阪ノ樂港ニ對シテハ世間動モスレバ誤解ガアリマシテ、是ハ失敗デナイカト云フヤウナ誤モアリマスノデ、提案者ハ先ヅ此點ニ向テ統計上カラ年々此樂港ガ利用セラレ、出入船舶並ニ著獲貨物ノ増進シテ居ル趨勢ヲ説明セラレ、且ツ鐵道院總裁モ先達テ御大禮ノ際ニ京都ニ在ッダ際、多忙ノ中ヲ繰合シテ其實地ヲ視察致シタ所、決シテ世間ニ申スガ如キモノデナクシテ、實際大ニ利用セラレツ、アル有望ノ港灣デアルコトヲ認ムトノ説明モアリマシタ、然ル所此樂港ハ既ニ十八年ヲ經過シテ約二千五百萬圓ノ工費ヲ投シ、其中ノ三分ノ一ハ國庫カラ補助シタト云フヤウナ、誠ニ重大ナル關係ノアル工事デアリマスガ、今ヤ既ニ其九分通りヲ了リマシテ、豫定工事中殘ル所ノモノハ二箇ノ船渠、即チ繫船岸壁ヲ餘スノミデアリマ

ス、然ルニ大阪市ノ財政ガ許シマセヌ所カラ今殘ッテ居ル所ノ工事ヲ暫ク延期シテ、五年ノ後ニ延バスト云フコトノ決定ヲ市會ニ於テ爲シマシタ、サウシテソレノ許可ヲ內務省ニ願出テ居ルト云フコトノ今日ノ實際デアリマス、然ル所此問題デアリマス、臨港鐵道ハ未ダ何等著手サレマセヌモノデスカラ、樂港ハ斯ノ如ク九分通り完成シタニ拘ラズ、海陸連絡ヲ缺クガ爲ニ、當初ノ目的ヲ達スルコトガ出來ヌト云フ狀態デアリマスガ故ニ、此建議案ガ出タ譯デアリマスガ、何故今日マデ此工事が——此鐵道工事が遅延シタカト云ヒマス、既ニ去年明治四十年ニハ此鐵道ヲ架設スルト云フコトガ議會ノ協賛ヲ得テ居ルデアリマス、然ルニ其後二年ヲ經テモ尙ホ架設セラレマセナカラシテ、明治四十二年ノ二十五議會ニ速成ノ建議案ガ出テ、ソレガ滿場一致ヲ以テ通過致シタノデアリマス、其後二三箇月中ニハ著手スルト云フ答辯ヲ其委員會デ得テ居リマシタニ拘ラズ、ソレガ今日マデ著手セラレズニアルノデアリマスガ、何故著手サレヌカト云ヒマス、其後其線路ヲ敷設スル計畫ニ付テ二ツノ説ガ現ハレテ、一方ハ北カラ梅田ヨリ敷設スルト云フ説ト、一方ハ南ノ舊關西線カラ分岐シテ敷設スルト云フ二ツノ説ガ現ハレマシテ、所謂南北線ト云フモノデ競争ノ形ニナツタノデアリマス、北ノ線ヲ敷設致シマスレバ經費ハ九百七十萬圓ヲ要シ、南ノ線ヲ敷設スレバ五百五十萬圓ヲ要スル、所デ鐵道院ハ經費ノ少クテ宜シイ所ノ南線ヲ敷設シタイト云フ考デアリマシタ、ケレドモ陸軍ノ當局者ハ軍事上ノ見地カラシテ、ドウシテモ北線ヲ採ラネバナラヌト云フ主張デアリマシタ、サウ云フヤウナコトノ爲ニ調査々々以テ段々延期シテ、遂ニ今日ニ至ッテ居ルノデアリマス、然ル所本年ノ豫算ニ於テ鐵道院ガ其將來ニ於ケル鐵道計畫ノ一班ヲ表ニ現ハシテ豫算委員會ニ示サレマシタ、此計畫ニ依ルト此鐵道線敷設ハ大正十一年度ヨリ著手シテ、六箇年度ニ亙ル繼續費ト云フヤウナコトニナツテ居ルノデアリマス、甚ダ以テ今日デスラモ遅延シテ居ルノニ、尙ホ五年先マデ之ヲ延バスト云フヤウナ狀態デアリマスカラ、ドウシテモ斯ノ如キ事ヲ默認スル譯ニ行キマセヌ、故ニ此案ガ出タ、是モ一ノ理由デアリマスガ、併ナガラ今敷設スルト云フ其鐵道線路ノ案サヘ定マレバ——ソノ方法ヲ採ルカト云フ案サヘ定マレバ、何モ十一年度先キマデ延バス考ハナイノデアアデ、ソレヲ線路上ゲテ來テ直ニ著手スルコトモ出來ルノデアルト云フ答辯ヲ得タノデアリマス、ソレ故ニ陸軍當局者ヲ委員會ニ招キマシテ、陸軍ノ當局ハ如何ナル考デアルカト云フコトヲ問ヒ質シマシタ所、從來ハ北線デナケレバ南ナラヌト固執シテ居リマシタ陸軍當局者ハ、此海陸連絡ハ一日モ早く出來ルコトヲ希望スルト云フ點カラ致シマシテ、最早北線ト云フコトヲ固執致サナイ、其邊ハ鐵道院ノ決定スル所ニ從テ、ソレニ服從スルト云フ意見ヲ述ベラレ、餘程其點ガ都合好クナリマシタ、ソコデ又一面內務省ノ政府委員ヲ招キマシテ內務當局ノ見ル所ヲ聽キマシタ所ガ、內務當局ニ於テモ此鐵道ノ必要缺クベカラザルコトヲ認ムルコトハ、昔モ今モ渝ラヌノデアアル、併ナガラ今內務省ニ出テ居ル所ノ二箇ノ船渠、即チ繫船岸壁此工事ヲ五年間延期スルト云フ願ガ出テ居ルカラ、斯ウ云フコトガナカツタナラハ內務省トシテハ尙ホ一層此點ニ對シテ熱心ナル同情ヲ表スル答デアルト云フヤウナ意味ヲ申サレタノデアリマス、所ガ段々之ヲ漸ク詰メテイロ／＼問答致シマシタ結果、事實ハ斯ウ云フ點ニ歸著致シタノデアリマス、大阪市會ガ右ノ如キ決議ヲ致シマシタケレドモ、

ソレニハ一ツノ附帶條件が付イテ居ルト云フコトガ委員ノ説明ニ依テ明カニナリマシタ、即チ附帶條件ト云フハ此船渠ノ築造ヲ五年間延期スルコト云フ願ヲ出シテ居ルケレドモ、若モ鐵道が直ニ敷設セラル、ト云フコトアルナラバ、鐵道が敷設サレルナラバ市ハ如何ナル方法ヲ取ツデモ、此ノ船渠即チ繫船岸壁ヲ築造スル考デアルト云フ附帶條件ガアルト云フコトヲ、事實證明セラレタノデアリマス、トコロガ鐵道院ノ當局ノ言フトコロハ、要スル鐵道院ノ方デハ其ニ箇ノ船渠即チ繫船岸壁ガ出來ルナラバ鐵道ヲ其處ニ敷カウ、斯ウ云フ話ニナツタノデアリマス、ソコデマルトコロ水掛論デアッテ、市ノ方ハ鐵道院サハ線路ヲ敷イテ呉レルナラバ船渠即チ繫船岸壁ハ格ヘヤウ、鐵道院ハ市ガツラ格ヘルナラハ線路ヲ敷カウト云フ、此ニ於テ孰レヲ先キニ孰レヲ後ニスルカト云フコトガ結局ノ問題デアリマシテ、斯ク意見ガ分ツテ參リマスル以上ハ、茲ニ調和點ヲ見出スコトハムツカシクハナイノデアリマス、即チ此ノ兩當局ノ間ニ胸襟ヲ披イテ意思ノ疎通ヲシテ、サウシテ協議シ、此ノ工事ヲ始メルト云フコトニ纏リマシタナラバ、同時ニ著手シテ同時ニ成功スルト云フコトハ決シテムアカシイコトデアリマセヌ、サウ云フ點ニ微光ヲ認メマシタ故ニ、即チサウ云フ事柄ニ向ツテ從來ノ如ク内務當局或ハ陸軍當局或ハ鐵道院或ハ大阪市ト斯ウ云フ風ニ分レノニナツテ、サウシテ思ヒノニ考ヘテ事ヲ爲スト云フヤウナ方法デアッテハ、到底何時迄經ツテモ此ノ事業ハ出來ル見込ガナイノデアリマスカラ、今後ハ此點ニ向ツテ總テノ機關ガ協議シテ、サウシテ共ニ相談ノ上デ一日モ早ク出來ル方法ヲ探ツテ實ヒタイト云フコトヲ注意致シマシタトコロ、鐵道院當局モ其說ニ對シテハ大ニ贊同ヲ表セラレタ次第デアリマス、サウシテ今日鐵道院デ考ヘテ居リマスルトコロハ南線北線ト云フモノハ非常ニ經費ヲ要スルガ故ニ、其以外ニ於テ第三案トシテ目下研究シテ居ルモノガアルト云フコトデアリマス、ソレ故其方法如何ハ是ハ今申上ゲタヤウナ工合ニ、各方面ノ當局ガ寄ツテ相談シテ極メテ費フコト、致シマシテ、吾々委員會ハ兎モ角モ其處ニ一道ノ光明ヲ認メタノデアリマスカラ、其趣旨ニ依ツテ一日モ早ク此ノ工事が完成シテ、サウシテ國家ガ莫大ニ補助ヲ與ヘテ、國家ノ最モ重大ナル任務ヲ盡サセル其目的ニ適フヤウニ、早ク著手セムコトヲ希望スルト云フ趣意デ、此ノ建議案ヲ全會一致ヲ以テ可決致シタ次第デアリマス、願クハ當會議ニ於キマシテモ、全會一致御贊成アラムコトヲ希望シマス

○福田又一君 本案ハ委員長報告ノ通り決定アラシコトヲ望ミマス

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(島田三郎君) 御異議ガナイト認メマス、委員長報告通り決定致シマス、次ハ日程十五、海洋調査及研究機關整備ニ關スル建議案(議長定足數ガアリマスカ)又ハ「アル」ト呼フ者アリ小西和君

第十五 海洋調査及研究機關整備ニ關スル建議案 (委員長報告)

〔小西和君登壇〕

○小西和君 極メテ簡單ニ御報告申シマス、關係各省ノ政府委員モ來テ貴ヒマシテ、

ソレノ質問致シマシテ、其結果關係各省政府委員モ此ノ必要ヲ皆認メテ居ルト申スコトデアリマス、而シテ特別委員ニ於キマシテハ海洋ノ調査並ニ研究機關ヲ整備スルト云フコトハ、帝國ノ地位並ニ世界ノ趨勢ニ鑑ミマシテ極メテ必要ナル、斯ウ云フヤウナ理由ヲ以テ滿場一致ヲ以テ可決致シタ次第デアリマス、此ノ段御報告申シマス

○福田又一君 本案モ委員長報告通り決定アラムコトヲ望ミマス

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(島田三郎君) 御異議ガナイト認メテ委員長報告通り決定致シマス、次ハ日程第十六、第十七ハ同一委員ニ付託シタ議案デアリマスカラ、一括シテ議題ニ供シマス、委員長ノ報告ヲ求メマス、森田茂君

第十六 大阪、堀川兩監獄移轉ニ關スル建議案(石橋爲之助君外四名提出)

第十七 京都監獄移轉ニ關スル建議案(森田茂君提出)

(委員長報告)

○森田茂君 日程ノ第十六第十七ハ、個人的ノ關係カラ云ヒマスレバ左程必要ナ問題デアハアリマセヌケレドモ、國家的ノ見地カラ見マスレバ殊ニ重大ナル問題デアリマス、暫クノ間諸君ノ御清聴ヲ煩ハシタイト思ヒマス、委員ニ於キマシテハ此兩案トモ可決スベキモノデアル、斯ウ云フ決議ニナリマシタ、司法當局ニ於キマシテモヤハリ提案者ノ意見ト同様デアリマシテ、必ズ此監獄ハ他ニ移轉セザルベカラザルモノデアル、斯ウ云フ意見デアッタノデアリマス、唯經費ノ都合カラ致シマシテ、今直ニ之ヲ實行スルコトガ出來ナイ、斯ウ云フコトニ司法當局ノ意見ハ歸著スルノデアリマス、故ニ必要ハ認メマシテモ唯經費ノ上カラシテ問題ガ時ノ問題ニ繫リ居ルト云フコトニ歸著致シマス(「定數ヲ缺キマスカラ簡單ナラ聽キマス」ト呼フ者アリ)定數ヲ缺クト如何トハ簡單ト否トニ關係致シマセヌ(「默テ居テハイケマセヌ數ハテ見タラドウデス」ト呼フ者アリ)既ニ時期ノ問題ニ相成ツテ移轉ノ必要ガアルト云フ事柄ヲ知リマシタル以上ハ、吾々ハ進シテ此時期ノ促進ニ努メルト云フ事柄ヲ必要ト考ヘマス、此意味ニ於キマシテ所要ノ經費ヲ大正六年度ノ豫算ニ計上シテ實ヒタイト云フ希望ノ下ニ於テ(「議長々々」ト呼フ者アリ)本案ヲ可決致シタヤウナ次第デアリマス、マダ暫ク述ベタイ積リデアリマシタケレドモ、定數ヲ缺クト云フ虞モアリマス故ニ、是デ止メテ置キマス、ドウカ皆サン御贊成アラシコトヲ希望致シマス(廣岡宇一郎君「ドウデス此邊デ止メテハ定足數ヲ缺イテ居リマスカラ」ト呼フ)

○福田又一君 本案ハ委員長報告通り決定セラレシコトヲ望ミマス

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(島田三郎君) 委員長報告通り決定致シマス——請願ダケ殘ツテ居リマスガ……(定足數ヲ缺イテ居ル)ト呼フ者アリ(日程第十八ヨリ第二十四マデ)(ソレ決議ガ出來マスカ有效ナル)ト呼フ者アリ(調ベマス——加藤彰廉君)

第十八 (特別報告第二十九號) 日露戰役ニ於ケル擊沈船損害救恤ノ請願 (委員長報告)

第十九 (特別報告第三十號) 在外國賣淫婦取締法制定ノ請願 (委員長報告)

第二十 (特別報告第三十一號) 按摩業ヲ盲人ノ專業ト爲スノ請願 (委員長報告)

第二十一 (特別報告第三十二號) 蠶種検査手數料廢止ノ請願 (委員長報告)

第二十二 (特別報告第三十三號) 森林法改正ノ請願 (委員長報告)

第二十三 (特別報告第三十五號) 小坂鑛山鑛毒ニ關スル請願 (委員長報告)

第二十四 (特別報告第四十號) 鳥取地方裁判所元米子支部復舊ノ請願 (委員長報告)

第二十五 (特別報告第四十八號) 稻垣村ニ登記所設置ノ請願 (委員長報告)

第二十六 (特別報告第四十九號) 浦幌村ニ登記所設置ノ請願 (委員長報告)

第二十七 (特別報告第五十號) 葛生町ニ登記所設置ノ請願 (委員長報告)

第二十八 (特別報告第五十一號) 土別村ニ旭川區裁判所出張所設置ノ請願 (委員長報告)

第二十九 (特別報告第五十二號) 小學校教員ニ衆議院議員被選舉權附與ノ請願 (委員長報告)

第三十 (特別報告第五十四號) 田島町若松驛間ニ輕便鐵道敷設ノ請願 (委員長報告)

第三十一 (特別報告第五十五號) 川之江西條間鐵道速成ノ請願 (委員長報告)

第三十二 (特別報告第五十六號) 益田萩間及萩下關間鐵道敷設ノ請願 (委員長報告)

第三十三 (特別報告第五十七號) 山形縣下長井町西村山郡間輕便鐵道延長並速成ノ請願 (委員長報告)

第三十四 (特別報告第五十八號) 舊步入會社誤納金還付ノ請願 (委員長報告)

特別報告第二十九號

請願文書表第九八號

日露戰役ニ於ケル擊沈船損害救恤ノ請願 朝鮮仁川寺町三丁目二十六番地ノ一平民運送業堀力太郎呈出(紹介議員大橋松二郎君)

右請願ノ要旨ハ朝鮮東海岸ノ航路ハ日露戰役ノ際危險ニ瀕シタレトモ請願人ハ他ノ同業者ト異リ航海ヲ繼續シタリ當時元山領事大木安之助ヨリノ依頼ニ依リ所有

汽船救之浦丸ヲ以テ城津在留民ノ引揚ヲ全ウシ爾後救之浦丸及五洋丸ヲ以テ右航路ニ充テ釜山北緯ノ連絡ヲ保チ在留民ノ急需ニ應ジタリシ明治三十七年四月二十五日突然露國浦鹽艦隊ノ來襲ニ遭ヒ五洋丸ハ元山港内ニ於テ救之浦丸ハ咸鏡道前津港沖ニ於テ孰レモ擊沈セラレ船員二十四名ハ捕虜トシテ二年間敵國ニ囚ハレタリ其ノ他幸運丸及泰盛號ハ各相當ノ任務ヲ全ウシ汽船慶尙號ハ臨湖津ヨリ軍用品ヲ搭載シテ靑津港ニ向テ航行中敵艦ノ襲撃ニ遭ヒテ大破損ヲ蒙リ船長以下三名敵彈ニ斃レタリ斯ノ如クシテ私產ノ大部ハ敵艦ノ爲滅盡セラレ祖先來ノ海運業ヲ廢絶セサルヲ得ザルノ不運 陷リタリ依テ當局ニ向テ再三救恤ヲ出願ストモ未タ何等ノ恩典ニ接セザルヲ以テ以上ノ事情洞察ノ上速ニ採納アリタシト謂フニ在リ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第三十號

請願文書表第六六三號

在外國賣淫婦取締法制定ノ請願 東京府東京市赤坂區沼池三番地婦人矯風會長矢島指外千二百七名呈出(紹介議員齋藤宇一郎君)

右請願ノ要旨ハ我カ國婦女ニシテ海外諸國ニ至リ最嫌焉スヘキ賣淫ノ醜行ヲ敢テスルモノ愈蔓延シツツアリト聞ク帝國ノ體面ヲ汚ス是ヨリ甚キハナシ而シテ是等婦女中ニハ誘拐者ノ奸策ニ因リテ餘儀ナクセラレタル者アリト云フニ至リテハ彼等ノ境遇實ニ悲然ニ堪ヘサルモノアリ是レ畢竟其ノ取締方法宜シキヲ得サルニ基因スト謂フヘシ依テ速ニ適當ノ法律ヲ制定シ嚴重ナル取締アラムコトヲ請願スト謂フニ在リ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第三十一號

請願文書表第六五〇號

按摩業ヲ盲人ノ專業ト爲スノ請願 東京府荏原郡品川町字北品川新宿六十二番地平民按摩業齊田重藏外百三十三名呈出(紹介議員高木正年君)

右請願ノ要旨ハ按摩業ハ盲人ノ專業トシテ發達シタルニ近世ニ至リ常人ノ斯業ヲ營ム者多キニ至リ爲ニ盲人ノ業ヲ奪フト同時ニ却テ技術ノ拙劣ヲ來ス斯業ノ發達ヲ阻害スルニ至レリ之ヲ以テ屢是ヲ盲人ノ專業ト爲サレムコトヲ請願シ幸ニ採擇セラレシコトアルモ未タ其ノ實現ヲ見ス盲人ノ窮狀實ニ甚シキモノアリ依テ速ニ其ノ實現セラレムコトヲ請フト謂フニ在リ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第三十二號

請願文書表第五〇號

蠶種検査手数料廢止ノ請願 福井縣大野郡福井縣大野郡蠶種同業組合
組長林彦一外三名呈出(紹介議員名村忠治君外四名)

右請願ノ要旨ハ明治四十四年三月發布ノ蠶絲法ハ蠶種ノ検査ヲ強制シ不合格蠶種ニ對シテハ無償ニテ之ヲ燒棄スルニ拘ラス其ノ検査手数料ヲ徵收スルカ如キハ手数料ノ性質トシテ不合理ノ最甚シキモノナリ依テ蠶種製造業及蠶絲ノ改良發達ヲ計ル爲現行法令ヲ改正シ蠶種検査手数料ノ徵收ヲ廢止セラレタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第三十三號

請願文書表第六三二號

森林法改正ノ請願 群馬縣群馬郡室田町大字榛名山町十七番地榛名山

保護土工森林組合長佐藤顯三外四名呈出(紹介議員小林丑三郎君)

右請願ノ要旨ハ森林組合ハ森林法第六十六條ノ規定ニ據リ組合員タル資格ヲ有スルモノノ三分ノ二以上ノ同意アル場合ハ之ヲ設立シ得ルモノニシテ一度之カ設立セラレタル以上ハ假令其ノ設立ニ不同意ノ者ト雖同法第六十七條ニ據リ組合ニ加入スルノ義務アリ從テ其ノ者ハ組合ノ費用分擔ヲ喜ハサルヲ以テ之カ納入ヲ滯滞スルニ至ル是レ自然ノ情勢ナルノミナラス他ノ組合員亦之ニ倣フノ風アリテ漸次組合費滯納者ヲ増シ組合事務ノ整理上頗ル困難ヲ感セリ依テ此ノ弊ヲ矯正スル爲森林法ヲ改正シ畜産組合法第十三條ノ規定ヲ設ケ以テ組合費用ノ徵收ヲ容易ナラシメラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第三十五號

請願文書表第七七三號

小坂嶺山鑛毒ニ關スル請願 秋田縣鹿角郡毛馬内町毛馬内二百二十五

番地士族農内藤練八郎外一千百三十九名呈出(紹介議員井上廣居君外五名)

右請願ノ要旨ハ秋田縣鹿角郡小坂町所在小坂嶺山附近ハ鑛山ノ煤煙及精煉所ノ毒水ノ爲耕地山野共ニ荒廢シ逐年其ノ度ヲ増進シ今年ノ如キハ天候比較的良好ニシテ四民豐饒ヲ謳歌スルニ拘ハラス請願人等ハ凶歉ニ泣クノ悲境ニ沈淪セリ依テ右ノ窮境ヲ救済スル爲政府ニ於テ爲シタル鑛毒煙害調査ノ結果ヲ發表シ鑛業者ニ對シ速ニ除害ノ設備ヲ命令セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第四十號

請願文書表第六四一號

鳥取地方裁判所元米子支部復舊ノ請願 鳥取縣西伯郡米子町立町二丁目六十七番地辯護士三谷水哉外二十二名呈出(紹介議員西谷金藏君)

右請願ノ要旨ハ鳥取地方裁判所米子支部裁判事務ノ復舊ニ付再三請願シ幸ニ採擇セラレシト雖未タ其ノ實施ヲ見サルハ遺憾ナリ元來鳥取地方裁判所ハ其ノ位置縣ノ東部ニ偏在シ舊米子支部ノ管轄區域タル西伯、日野ノ兩郡ヨリ二十里乃至四十里ノ距離ヲ存シ交通不便ナルヲ以テ勞費ヲ要スルコト多大ナルノミナラス支部所在地タル米子町ハ縣下第一ノ商業地ニシテ訴訟事件多ク年々増加ノ傾向ヲ示シツツアリテ同支部廢止ノ結果同地方民ノ蒙ル不利不便實ニ謂フヘカサルモノアリ依テ鳥取地方裁判所元米子支部ヲ復舊セラレタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第四十八號

請願文書表第六四六號

稻垣村ニ登記所設置ノ請願 青森縣西津輕郡稻垣村長内長五郎呈出

(紹介議員菊池良一君)

右請願ノ要旨ハ青森縣西津輕郡稻垣村ハ廣大ナル地域ヲ有シ一箇年ノ登記件數一千ヲ算スルニ拘ラス村内ニ登記所ノ設置ナク所轄登記所ニ至ルニハ其ノ距離三里ヲ下ラス殊ニ有名ナル山田川ノ難所アリテ交通不便且冬期ハ吹雪甚シク交通全ク杜絶ス而モ不動產ノ賣買ハ冬季ニ行ハルハ慣例アリ爲ニ村民ノ苦痛忍フヘカラス既ニ明治三十九年以來數次請願シ其ノ都度幸ニ採擇セラレタルモ未タ其ノ設置ヲ見サルハ遺憾ナリ依テ稻垣村ヨリ廳舍ニ充ツヘキ見積價格金二千圓ノ土藏付土地建物ヲ寄附スヘキヲ以テ速ニ稻垣村ノ全部及出精村ノ内出野里、善積、兼館ノ三大字ヲ管轄區域トシテ稻垣村ニ登記所ヲ設置セラレタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第四十九號

請願文書表第六六八號

浦幌村ニ登記所設置ノ請願 北海道十勝郡浦幌村長東郷重光呈出(紹介議員小池仁郎君外一名)

右請願ノ要旨ハ北海道十勝郡浦幌村ハ面積廣ク移民年年激増シ登記件數多數ナルニ拘ラス村内ニ登記所ナキハ村民ノ不利不便大ナルヲ以テ速ニ浦幌村ニ登記所ヲ設置セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第五十號

請願文書表第六七三號

萬生町ニ登記所設置ノ請願 栃木縣安蘇郡萬生町長清水千勝外二名呈出(紹介議員戸叶薫雄君)

右請願ノ要旨ハ栃木縣安蘇郡萬生町ハ近時其ノ發展著シク登記事項從テ多キニ拘ラス未ダ登記所ノ設置ナク其ノ所管タル田沼出張所ニ至ルニハ交通不便ニシテ距離遠ク町民ノ遺憾トスル所ナルヲ以テ速ニ萬生町、常盤村及氷室村ヲ管轄區域トシテ萬生町ニ登記所ヲ設置セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第五十一號

請願文書表第六七四號

土別村ニ旭川區裁判所出張所設置ノ請願 北海道天鹽國上川郡土別村平民農菅原太吉外十四名呈出(紹介議員樋口秀雄君外二名)

右請願ノ要旨ハ北海道天鹽國上川郡多寄村ノ内字多寄及同郡土別村、劍淵村並土別村ヲ管轄區域トスル旭川區裁判所出張所ヲ設置セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第五十二號

請願文書表第六〇八號

小學校教員ニ衆議院議員被選舉權附與ノ請願 山口縣下關市宮田町第三百三十六番地平民教員西部德太郎呈出(紹介議員伊東知也君外一名)

右請願ノ要旨ハ衆議院議員選舉法第十二條ニ依リ小學校教員ニ被選舉權ヲ與ヘサルハ立憲國タル我カ制度上ノ一大缺陷ニシテ歐米諸國ニ於テハ斯ル立法例少ク加之今ヤ立憲思想ノ涵養ハ教育上益緊要ナルノ時ニ當リ之カ責任者タル小學校教員ニ衆議院ノ議事ニ參與スルノ權ヲ與フルハ普通教育普及上其ノ效果大ナルヲ以テ帝國ノ小學校教員タル男子ニシテ滿二十歲ヲ超エタル者ニハ衆議院議員被選舉權ヲ與ヘラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第五十四號

請願文書表第六二五號

田島町若松驛間ニ輕便鐵道敷設ノ請願 福島縣南會津郡田島町長鈴木弘二外十名呈出(紹介議員鈴木寅彦君)

右請願ノ要旨ハ福島縣下南會津郡若松驛間ニ輕便鐵道敷設ノ請願 福島縣南會津郡田島町長鈴木弘二外十名呈出(紹介議員鈴木寅彦君)

田島町ヨリ岩越線若松驛ニ至ル間ニ輕便鐵道ヲ敷設セラレタシト謂フニ在リ 衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第五十五號

請願文書表第六四九號

川之江西條間鐵道速成ノ請願 愛媛縣新居郡泉川村百三番戶平民農高橋慶三郎外千九百九十九名呈出(紹介議員武内作平君)

右請願ノ要旨ハ川之江西條間ノ鐵道ハ大正五年度ヨリ同九年度迄ニ竣成セシムヘキ豫定ノ如クナルモ同線ハ私設豫線ト連絡シ多度津松山間ヲ貫通スル四國鐵道中最重要ナルモノニ屬シ物資ノ集散旅客ノ乘降繁多ニシテ交通運輸ノ機關トシテ必須缺クヘカラス殊ニ沿海ヲ利用スル能ハサル東洋人民ハ同線路ノ速成ヲ望ムノ情切ナルモノアリ依テ明年三月ヲ以テ竣成スル多度津川之江線ニ引續キ速ニ川之江西條間ノ鐵道ヲ竣成セシメラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第五十六號

請願文書表第六五九號

益田萩間及萩下關間鐵道敷設ノ請願 山口縣阿武郡萩町長内田一心外八名呈出(紹介議員山根正次君)

右請願ノ要旨ハ島根縣益田ヨリ山口縣下關ニ至ル北海岸ハ人口多ク物資ニ富ムヲ未ダ鐵道ノ敷設ナキ爲メ麥薪炭等ノ陸產物及日本海ノ豐饒ナル水產物ノ輸送ハ一ニ水運ニ依ラサルヘカラスモノアルニ拘ラス同地方ノ海面ハ風浪荒ク殊ニ冬期ノ如キハ航海全ク杜絶スルコトアリテ是等ノ物資ハ徒ニ堆積セサルヲ得ス然ルニ幸ニシテ同地方ノ中益田萩間ノ鐵道院ニ於テ既ニ第一期豫定線中ニ加ヘラレシモ未ダ其ノ敷設ノ實施ヲ見サルハ甚ダ遺憾ナルヲ以テ速ニ同線路ノ竣成ヲ計リ且更ニ進ムテ萩下關間ノ線路ヲ第一期豫定線ニ加ヘラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第五十七號

請願文書表第六六五號

山形縣下長井町西村山郡間輕便鐵道延長並速成ノ請願 山形縣西置賜郡荒砥町大字石那田千八百五番地土族農丹繁藏外二千八百九十五名呈出(紹介議員江口勝之助君外一名)

右請願ノ要旨ハ山形縣下ノ輕便鐵道ハ奥羽線赤湯驛長井町間ノ開通ヲ見タルモ利源ハ寧ロ其ノ以北ニ多クシテ同地方民ハ其ノ產業發展ノ上ヨリ交通機關ヲ要望スルコト切ナルヲ以テ該鐵道ヲ延長シ長井町東根村及荒砥町ヲ經西村山郡ニ至ル線ヲ速成セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第五十八號

請願文書表第八〇七號

舊步入會社課納金還付ノ請願 熊本縣飽託郡本庄村九十六番地土族無業當時神奈川縣横濱市青木町五百二十七番地故大田黒一貫相續人大田黒哲堂外一名呈出(紹介議員原田十衛君外一名)

右請願ノ要旨ハ舊白川縣廳ニ於テ舊白川縣物產步入所拂下代金ヲ徵收スルニ當リ當時ノ步入會社社長大田黒一貫ヨリ金十五万九千七百六十九圓餘ヲ過剩ニ徵收シ大藏省ハ其ノ送付ヲ受ケ原簿ニ照合シ其ノ過剩タル事實ヲ認メナカラ漫然之ヲ收納シタルモノニシテ右ハ政府ニ於テ人民ノ財産ヲ不法ニ沒收シ不當ニ利得セシモノナルヲ以テ爾來請願人ハ前記過剩金ノ還付ヲ請フ爲司法裁判ヲ仰キ又哀願ニ次クニ哀願ヲ以テ終ニハ非常請願ヲ爲スニ至レリ然モ猶政府ハ之ヲ還付セサルノミナラス全ク相關知セサルモノノ如キ觀アリ 請願人ハ敢テ誤拂戻ヲ主張スルニアラス其ノ名義ノ如キハ救恤補償其ノ如何ハ問フ所ニアラサルヲ以テ 請願人ノ窮境ニアルヲ慰諒シ過剩金ヲ還付セラレタシト謂フニ在リ 衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

〔加藤彰廉君登壇〕

〔廣岡宇一郎君〕是デ決議が出来マスカト呼フ

○議長(島田三郎君) 今調べ居リマス、以前ヨリ減タトハ思ヒマセヌ(廣岡宇一郎君)ソレハ無理デス調べガ濟マヌモノヲ何デ始メルデスト呼フ前ニ調べテソレヨリ減タトハ認メマセヌ(廣岡宇一郎君)ソレハ議長ガ惡イ調べ結果ハドウシタデスト呼フ

○加藤彰廉君 日程第十八ヨリ(調べ結果ハドウシタデス)ト呼フ者アリ(三十四ニ至リマス)トコロノ請願ノ件ノ中デ、十八ヨリ二十三及二十九(廣岡宇一郎君)無効デスト呼フ、竝ニ第三十四ノ日程ハ性質ハ各異シテ居リマスケレドモ、議會ノ度毎ニ請願ガ出テ居リマシテ其度ニ院議決定ラシテ居ルノデアリマスカラ、其内容ノ説明ハ略シマス、其以外ノ日程ニ於キマシテハ前例ニ依リマシテ、即チ裁判所復讐鐵道ノ敷設(廣岡宇一郎君)議長議長ト呼フ、是ハ前例ニ依リマシテ採擇ニ決シタノデゴザイマス、斯ノ如クニシテ悉ク採擇ニナリマシタノデゴザイマスカラ報告ヲ致シマスカラ何卒御採擇ヲ願ヒマス

〔賛成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(島田三郎君) 御異議ガナケレバ委員長報告ノ通り採擇ニ決シマス——次會ノ議事日程ハ公報ヲ以テ御通知ヲ致シマス、今日ハ是デ散會致シマス 午後五時四十一分散會

衆議院議事速記録第十八號正誤

頁 段 行 誤 正
三七三 上 三九 議員 有權者

